

# 綾川町地域公共交通計画

令和5（2023）年2月



綾川町



## 目 次

1. はじめに	1
1-1. 背景と目的	1
1-2. 計画の位置づけ	1
1-3. 計画の区域	1
1-4. 計画の期間	1
2. 綾川町の現状	2
2-1. 上位・関連計画における公共交通の位置づけ	2
2-2. 公共交通に係る基礎データの整理	8
2-3. 綾川町公共交通機関等の現状等	18
2-4. 町民ニーズ、関係事業者等の意向把握	35
3. 地域公共に関する課題の整理	68
3-1. 現状まとめ	68
3-2. 公共交通を取り巻く課題	70
4. 綾川町地域公共交通網形成計画が目指すもの	71
4-1. 本町における地域公共交通の目指す将来像・基本理念	71
4-2. 本町における地域公共交通の基本方針	72
4-3. 望ましい公共交通ネットワークのあり方	73
4-4. 目標達成のために実施する事業	75
4-5. 計画の目標値	76
4-6. 基本方針に関連する具体的な取組	79
5. 計画の進捗状況の評価と進行管理	86
6. 資料編	87
6-1. 地域公共交通会議	87



# 1. はじめに

## 1-1. 背景と目的

住民の生活様式や生活圏の変化などにより公共交通の利用が減少傾向にある一方、高齢化の進展が一層深刻化し、移動手段を持たない交通弱者の増加が予想される中、町中心部への買い物や医療機関への通院など、住民生活を維持するための移動需要にどのように対応するかが最大の課題となっている。

そのような中で、公共交通の課題や利用に係る需要を的確に分析し、地域にとって望ましい公共交通の持続・確保を図るため、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律（令和2年11月27日施行）」に基づき、公共交通網の再構築へ向けたマスタープランとして綾川町全域を対象とした「綾川町地域公共交通計画」を策定する。

## 1-2. 計画の位置づけ

本計画では、本町のまちづくりの最上位計画となる「綾川町第2次総合振興計画」のほか、「綾川町都市計画マスタープラン」や「第2期綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「第2期綾川町人口ビジョン」の方針を反映させることとする。また、移動に関連する各種計画等とも連携を図るものとする。

## 1-3. 計画の区域

綾川町全域を対象とする。

## 1-4. 計画の期間

本計画の期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とする。

## 2. 綾川町の現状

### 2-1. 上位・関連計画における公共交通の位置づけ

#### (1) 綾川町第2次総合振興計画【平成29(2017)年度～令和8(2026)年度】

将来像	いいひと	いいまち	いい笑顔	～住まいる	あやがわ～
基本理念・基本目標					
公共交通に関する基本目標と施策(部分抜粋)	<p><b>基本目標7 住みよい明るいまち（生活基盤）</b>  <b>施策2 道路・公共交通</b></p> <p><b>施策の方向性</b></p> <p>①幹線道路網の整備促進          ○綾川町内各域に広がる、国道・県道網について、地域基盤としての利便性の向上、活用促進を図るため、さらなる整備を促進していきます。          ○府中湖スマートインターチェンジの利用促進による高松自動車道の充実を促進し、広域交通ネットワーク上の立地特性の向上を目指します。</p> <p>②町道の維持・整備          ○住民の日常生活に密接な関わりを持つ生活道路である町道については、利便性の向上や安全対策、景観などの快適性の向上に留意しながら、計画的な維持・管理に努めます。          ○「綾川町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋梁の修繕を計画的に実施します。</p> <p>③自転車道・散策道の整備          ○河川沿いの自然環境や観光資源などを巡り、町内外の人が楽しく通れる綾川町の管理道路を利用し、自転車道・散策道の整備を検討します。また、歩行者や自転車などの交通弱者にやさしい道路環境づくりを目指します。</p> <p>④バリアフリーの道づくり          ○高齢者や障がい者、子どもなど、誰もが気軽に安心して利用できるよう、段差の解消、案内設備などの充実によるバリアフリーの道づくりを目指します。</p> <p>⑤町営バスなどの利便性向上          ○高齢者や学生などの貴重な交通手段である町営バスについては、公共施設をはじめとする主要施設へのアクセス改善や、鉄道の駅への接続を考慮するなど、利便性の向上に努めます。          ○デマンドタクシーを効果的に運用することで公共交通空白地域の利便性の向上に努めます。          ○状況に応じた路線の見直しを検討し、高齢者などの移手段の確保に努めます。</p> <p>⑥鉄道輸送の利便性向上の要請          ○住民にとって身近な交通手段として利用されている鉄道輸送の利便性の向上を、事業者である「ことでん（高松琴平電気鉄道）」に対し要請します。</p>				

(2) 綾川町都市計画マスタープラン【平成 25 (2013) 年度～令和 4 (2022) 年度】

<p>基本理念</p>	<p>いきいきと 笑顔あふれる 定住のまち あやがわ</p>
<p>基本目標</p>	<p>誰もが住みたいまちづくり（集約型都市構造）</p>
	<p>○近隣自治体と商業機能や観光・文化機能などの都市機能を連携、分担。 ○医療・児童福祉サービス、教育環境の充実を図るとともに、子どもの遊び場の創出や通学路の安全性の向上。 ○町役場及び綾川駅周辺には、集約型都市構造に基づき都市機能を集積させるとともに、「住」「商（買い物）」「医療・福祉施設」などが近接し、高齢者や若者世代にとって利便性の高い土地利用の複合化の推進。</p>
	<p>人と環境にやさしいまちづくり（環境）</p>
	<p>○高齢者や障がい者の方も安心して暮らし、気軽に外出できるように道路、公園、公共施設などのバリアフリー化の推進。 ○住民同士の交流を深める空間の創出。 ○集約型都市構造に向けた拠点・市街地の形成、公共交通の利用促進、自然環境の保全、緑化の推進、再生エネルギーの活用などによる環境にやさしいまちづくりの推進。 ○過度に自動車に依存しない、歩いて暮らせるまちづくりを目指す。</p>
	<p>支えあい、協働によるまちづくり（防災）</p>
	<p>○地震、台風や水害に対する防災環境の向上。 ○自助「共助」「公助」に基づく、地域住民による自主防災組織の形成や産官民の協働。 ○住民、NPO、企業などと行政による協働のまちづくりの推進。 ○協働のまちづくりに対する理解の浸透、まちづくり参加機会の創出。</p>
<p>見慣れた風景が心なごむまちづくり（景観）</p>	
<p>○身近に感じ、人々の心をなごませる自然環境の保全。 ○地域に残る歴史的景観や伝統行事などを伝承し、郷土愛の育成。 ○地域の特色に応じたきめ細やかな景観政策への主体的な取り組み。</p>	
<p>将来都市構造図</p>	<div data-bbox="343 1220 718 1512"> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画区域</li> <li>中心拠点</li> <li>生活拠点</li> <li>交流拠点</li> <li>産業拠点</li> <li>保健・医療拠点</li> <li>スポーツ・レクリエーション拠点</li> <li>公共交通</li> <li>広域交通</li> <li>地域交通</li> <li>水と緑の軸</li> <li>市街地ゾーン</li> <li>田園環境保全ゾーン</li> <li>自然環境保全ゾーン</li> </ul> </div> <div data-bbox="734 1220 1436 1400" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>拠点：まちづくり活動の中心的な場となり、各機能が集積される都市を構築していく上で中心となる場を拠点とします。 軸：都市の骨格的な役割や交流・ネットワークを担う道路や河川などを軸とします。 ゾーン：地域を面的な広がりとして捉えて、概ねの機能毎に区分した土地のまとまりをゾーンとします。</p> </div> 

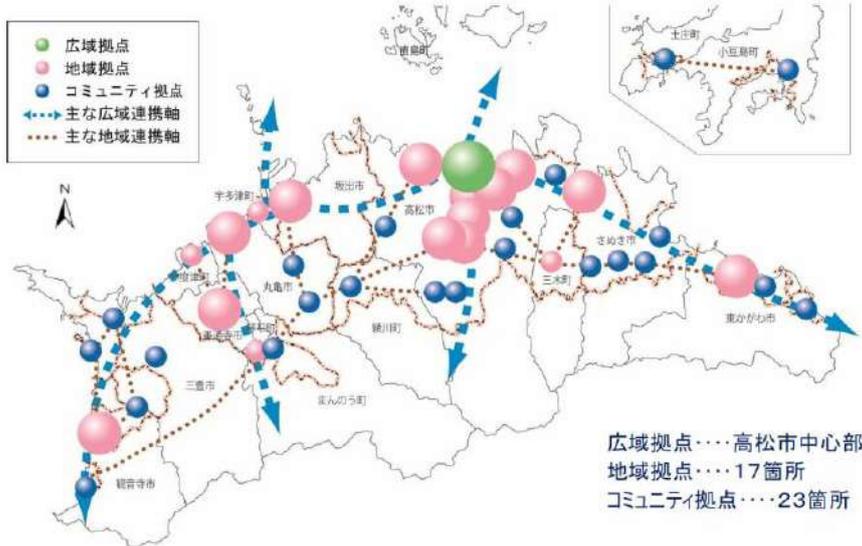
**(3) 第2期綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略【令和2（2020）年度～令和6（2024）年度】**

<p>基本目標・ 基本施策</p>	<p>①働きやすい環境を整え、誰もが活躍できるまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の振興、地域産業の活性化、誰もが働きやすい職場環境の整備、移住者に対する就労支援の強化</li> </ul> <p>②移住先として選ばれるまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 綾川町の魅力発見と発信、教育環境の充実、移住の促進</li> </ul> <p>③結婚・出産・子育てが楽しいまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出会いの場の創出、希望を抱いて出産できる環境の構築、安心して子育てできる環境の構築</li> </ul> <p>④末永く住み続けられる、持続可能なまちへ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間の環境保全・防災意識の向上、コンパクトで暮らしやすいまちづくりの推進、持続可能なまちづくりの推進（SDGs）</li> </ul>																								
<p>公共交通に関する 基本目標・ 基本施策 (部分抜粋)</p>	<p>基本目標④ 永く住み続けられる、持続可能なまちへ</p> <p>基本的方向：近隣の自治体との連携を図りつつ、コンパクトなまちを志向し、持続可能な地域計画を遂行します。(部分抜粋)</p> <p><b>施策2：コンパクトで暮らしやすいまちづくりの推進</b></p> <p>○コンパクトなまちづくりに向けて市街地の拡散を防ぎ、計画的で合理的な土地利用を推進します。</p> <p>○住民にとって日常的に利用しやすい公共交通となるよう、「高松琴平電気鉄道」で導入されている非接触式ICカードシステムを町営バス等にもリンクさせ、さらに、パーク＆ライドの駐車台数の増設による乗継の利便性向上及び交通結節点の機能向上を図ります。</p> <p>○公共交通については、高齢者からこどもまで、誰もが安心・安全に利用しやすいよう、バリアフリー化や利用環境の改善に努めます。</p> <table border="1" data-bbox="336 1435 1441 1832"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>目標値（R6）</th> <th>基準値（H30）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町営バスの利用者数</td> <td>37,400人</td> <td>31,174人</td> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅の利用者数</td> <td>495,000人</td> <td>480,432人</td> </tr> <tr> <th>実施事業</th> <th colspan="2">事業区分</th> </tr> <tr> <td>Iruca（イルカ）カード利用促進事業</td> <td colspan="2">継続</td> </tr> <tr> <td>パーク＆ライド推進事業</td> <td colspan="2">拡充</td> </tr> <tr> <td>ことでん地域公共交通バリア解消促進事業</td> <td colspan="2">新規</td> </tr> <tr> <td>町営バス等の利用促進事業</td> <td colspan="2">新規</td> </tr> </tbody> </table>	KPI	目標値（R6）	基準値（H30）	町営バスの利用者数	37,400人	31,174人	ことでん綾川駅の利用者数	495,000人	480,432人	実施事業	事業区分		Iruca（イルカ）カード利用促進事業	継続		パーク＆ライド推進事業	拡充		ことでん地域公共交通バリア解消促進事業	新規		町営バス等の利用促進事業	新規	
KPI	目標値（R6）	基準値（H30）																							
町営バスの利用者数	37,400人	31,174人																							
ことでん綾川駅の利用者数	495,000人	480,432人																							
実施事業	事業区分																								
Iruca（イルカ）カード利用促進事業	継続																								
パーク＆ライド推進事業	拡充																								
ことでん地域公共交通バリア解消促進事業	新規																								
町営バス等の利用促進事業	新規																								

#### (4) 綾川町過疎地域持続的発展計画【令和3(2021)年度～令和8(2026)年度】

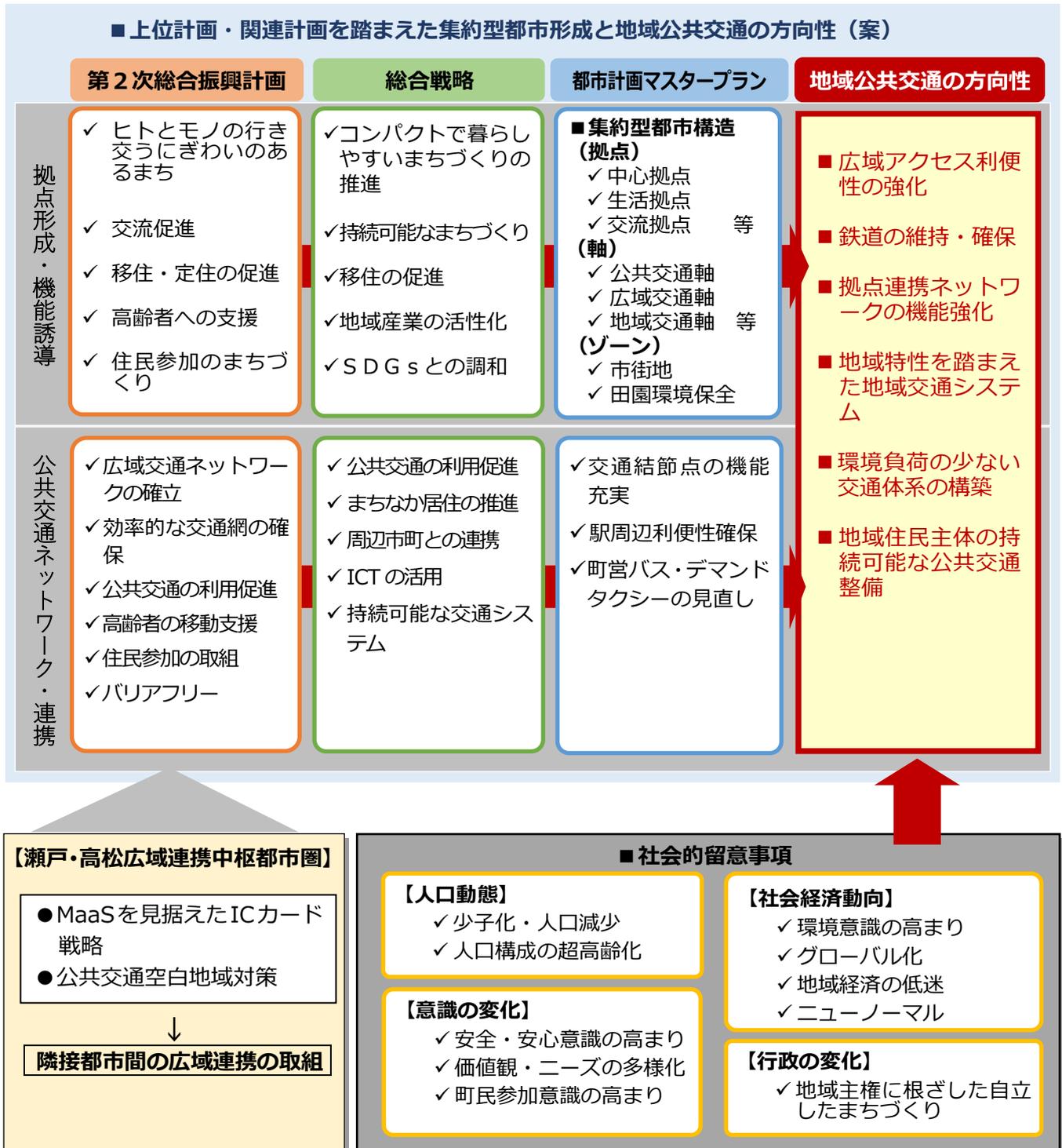
<p>基本方針</p>	<p>水とみどりにあふれる豊かな自然環境や地域資源を活かし、少子・高齢化などの時代背景を踏まえたまちづくりを進め、「いいひと いいまち いい笑顔 ～住まいるあやがわ～」の実現に努める。そのためには、多様化するライフスタイルに的確に対応していくことが必要であることから、より積極的に住民と行政による協働のまちづくりを進める。その中で、自然や歴史・景観・生活環境などの保全、快適な生活空間の確保、機能性に優れた中心拠点の形成、農業、工業、商業などそれぞれの特性に応じた産業基盤や広域的なネットワークを形成する交通体系の確立、光ファイバーによる情報通信基盤の活用などについて、ハード、ソフトの両面から総合的な取組みを推進し、地域の活性化・自立化を図る。</p>
<p>基本目標</p>	<p>綾川町は、香川県の県庁所在地である高松市の中心部から自動車及び電車で30分程度とアクセスが良好な都市部と、堤山や綾川等の自然が残る農村部が共存しており、くらしの環境としては恵まれている。この魅力ある自然環境などの強みを活かして、県外も含めた他市町からの移住促進を図るとともに、若い世代に関心の高い教育環境を更に充実させ、若者に選ばれ、定着してもらえらる町を目指す。</p> <p>また、少子化は、結婚や出産に対する意識、若い世代などの所得の伸び悩み、女性の就労継続の困難さ、子育て世代の男性の長時間労働などが原因とされている。さらに、ライフスタイルの多様化から、子育て環境を取り巻く課題は常に変化しており、これらに対応することが求められている。そこで、「結婚・出産・子育てが楽しいまちへ」とし、若者が新たな未来に向け、結婚への第一歩となるための環境づくりや子どもを産み育てたいと願う人々に対して、その願いのもとに力強い未来が描けるような支援を行う。</p>
<p>公共交通に関する対策 (部分抜粋)</p>	<p>交通施設の整備、交通手段の確保</p> <p>①町道の整備</p> <p>広域交通網の整備方針等を踏まえた上で、より一層便利で安全な社会生活と円滑な産業活動を確保し、地域間相互の有機的連携を強化するため、幹線道路や生活道路について計画的な整備を図る。</p> <p><b>対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村道・農道・林道の改良</li> </ul> <p>②交通確保対策</p> <p>住民福祉の向上はもとより、地域外からの交流客などの交通手段を確保するためにも、町営バスのみならず、福祉バス、スクールバスなどの在り方についても、その利用状況を勘案しながら、住民にとってより利便性の高い交通施策について総合的な検討を行うとともに「綾川町地域公共交通計画」を策定し、交通手段の確保・充実に努める。</p> <p><b>対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町営バス運送事業</li> <li>○デマンドタクシー運送事業</li> </ul>

(5) 高松広域都市圏都市交通マスタープラン【平成 24 (2012) 年度～令和 14 (2032) 年度】

<p>基本理念</p>	<p>○持続発展の可能なまちづくりを目指します。 ○安全・安心で快適な、生活の質の高い都市の構造を目指します。 ○効率的で地域の特性を活かした都市構造の実現を目指します。</p>																
<p>基本目標</p>	<p>都市機能の集約と融和による、生活の質が高く、環境持続性のある都市づくり</p>																
<p>公共交通に関する施策 (部分抜粋)</p>	<p><b>拠点間連携軸の強化</b> ○拠点間を結ぶ公共交通について、移動に要する時間の短縮化に寄与する施策を展開していく。</p> <p><b>拠点（交通結節点）へのアクセス性向上</b> ○拠点内の交通結節点へのアクセス交通（鉄道の端末交通）の利便性の向上に資する交通サービスの向上を図っていく。</p> <p><b>拠点内周遊環境向上</b> ○拠点内の周遊環境の向上にあたっては、拠点が徒歩で可能な広さであることから、徒歩または自転車での移動を基本とし、それらの移動が安全・快適になるような施策を展開していく。 ○また、高齢者等の移動制約者に関しても、不自由なく移動することが可能となるよう、移動経路のバリアフリー化や交通安全対策の充実など、それらの移動をサポートする交通施策を展開していく。</p> <p><b>公共交通利用促進</b> ○種々の公共交通のサービスレベルを向上する施策の実施と合わせ、県民一人一人の力により、公共交通を守っていくという意識醸成（公共交通の利用促進）を図っていく施策を展開していく。</p>																
<p>実現すべき集約型都市構造 (部分抜粋)</p>	 <p>広域拠点……高松市中心部 地域拠点……17箇所 コミュニティ拠点……23箇所</p> <p>(コミュニティ拠点の要件)</p> <table border="1" data-bbox="354 1608 1442 1944"> <tr> <td>区域</td> <td>都市計画区域内かつ、役場・支所を含む区域</td> </tr> <tr> <td>公共交通</td> <td>鉄道駅又はバス停が存在する</td> </tr> <tr> <td>都市基盤</td> <td>2車線以上の国道・県道が2ルート以上存在する、または見込まれる</td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>警察署又は交番・駐在所、消防署又は駐屯所が3つ以上</td> </tr> <tr> <td>文教</td> <td>小・中学校が3つ以上</td> </tr> <tr> <td>厚生</td> <td>5科目以上の診療所、または一般病棟20以上の病院が3つ以上</td> </tr> <tr> <td>経済</td> <td>金融機関（郵便局、銀行）が3つ以上</td> </tr> <tr> <td>商業</td> <td>近接する30以上の小売・サービス業の店舗（商業統計調査）、または業態がスーパーの店舗面積 1,000 m<sup>2</sup>以上</td> </tr> </table>	区域	都市計画区域内かつ、役場・支所を含む区域	公共交通	鉄道駅又はバス停が存在する	都市基盤	2車線以上の国道・県道が2ルート以上存在する、または見込まれる	行政	警察署又は交番・駐在所、消防署又は駐屯所が3つ以上	文教	小・中学校が3つ以上	厚生	5科目以上の診療所、または一般病棟20以上の病院が3つ以上	経済	金融機関（郵便局、銀行）が3つ以上	商業	近接する30以上の小売・サービス業の店舗（商業統計調査）、または業態がスーパーの店舗面積 1,000 m <sup>2</sup> 以上
区域	都市計画区域内かつ、役場・支所を含む区域																
公共交通	鉄道駅又はバス停が存在する																
都市基盤	2車線以上の国道・県道が2ルート以上存在する、または見込まれる																
行政	警察署又は交番・駐在所、消防署又は駐屯所が3つ以上																
文教	小・中学校が3つ以上																
厚生	5科目以上の診療所、または一般病棟20以上の病院が3つ以上																
経済	金融機関（郵便局、銀行）が3つ以上																
商業	近接する30以上の小売・サービス業の店舗（商業統計調査）、または業態がスーパーの店舗面積 1,000 m <sup>2</sup> 以上																

## (6) 上位関連計画での交通計画の位置づけ

- 高齢化と人口減少が進む中で、新たな移住・定住人口や交流人口を掘り起こすため、周辺都市間移動や地域住民の生活を支える公共交通をいかに効果的・効率的に維持・確保していくかが重要な課題となる。
- 関連計画から導かれる公共交通に係る方針との整合を図りながら、地域公共交通計画を踏まえ、地域公共交通利便増進事業の実施によって公共交通の持続可能性を担保する。



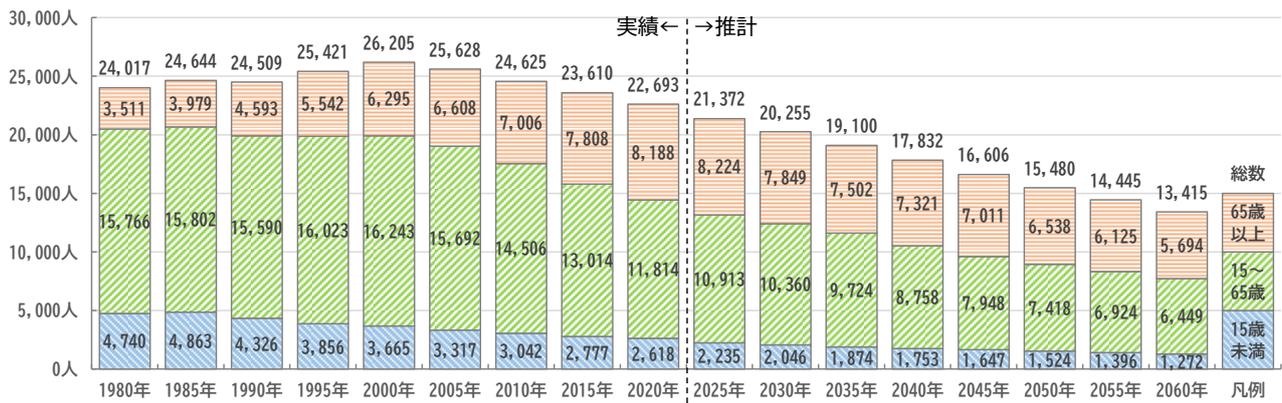
## 2-2. 公共交通に係る基礎データの整理

### (1) 人口・世帯数

#### ① 年齢3区分別の人口推移・推計

- 人口総数は平成2（2000）年以降減少が続いており、推計値である令和7（2025）年以降も減少が予想される。
- 特に年齢3区分のうち、「15～64歳（生産年齢人口）」の人口減少が著しく、占める割合が大きく減少することが予想される。

[年齢3区分人口の推移]

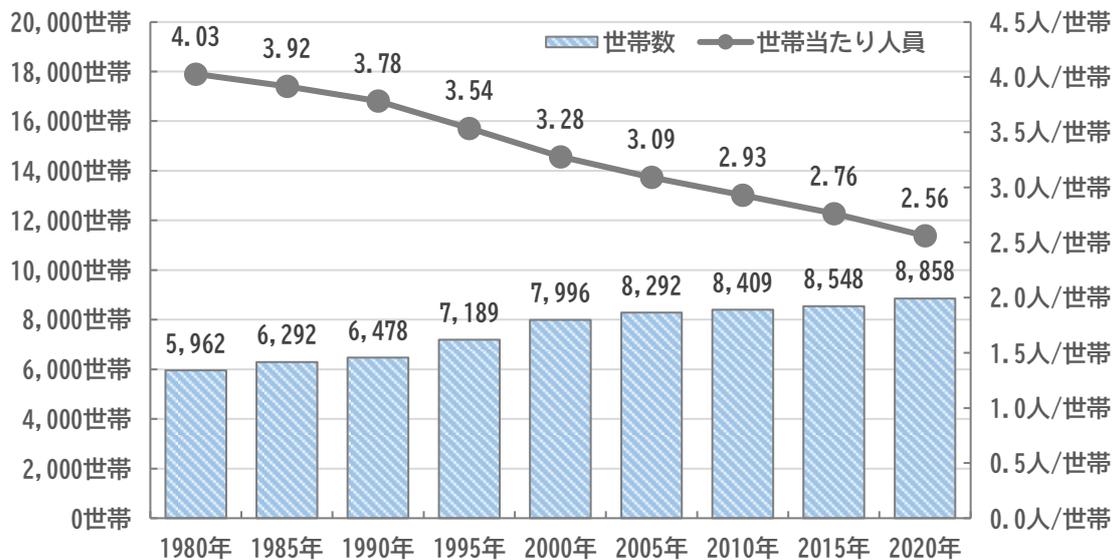


資料：昭和55(1980)～令和2(2020)年 国勢調査(総数には不詳含む)  
令和7(2025)～令和42(2060)年 国立社会保障・人口問題研究所

#### ② 世帯数と世帯当たり人員

- 世帯数は、1980年以降増加しているが、一方で、世帯当たり人員は減少している。

[世帯の推移]

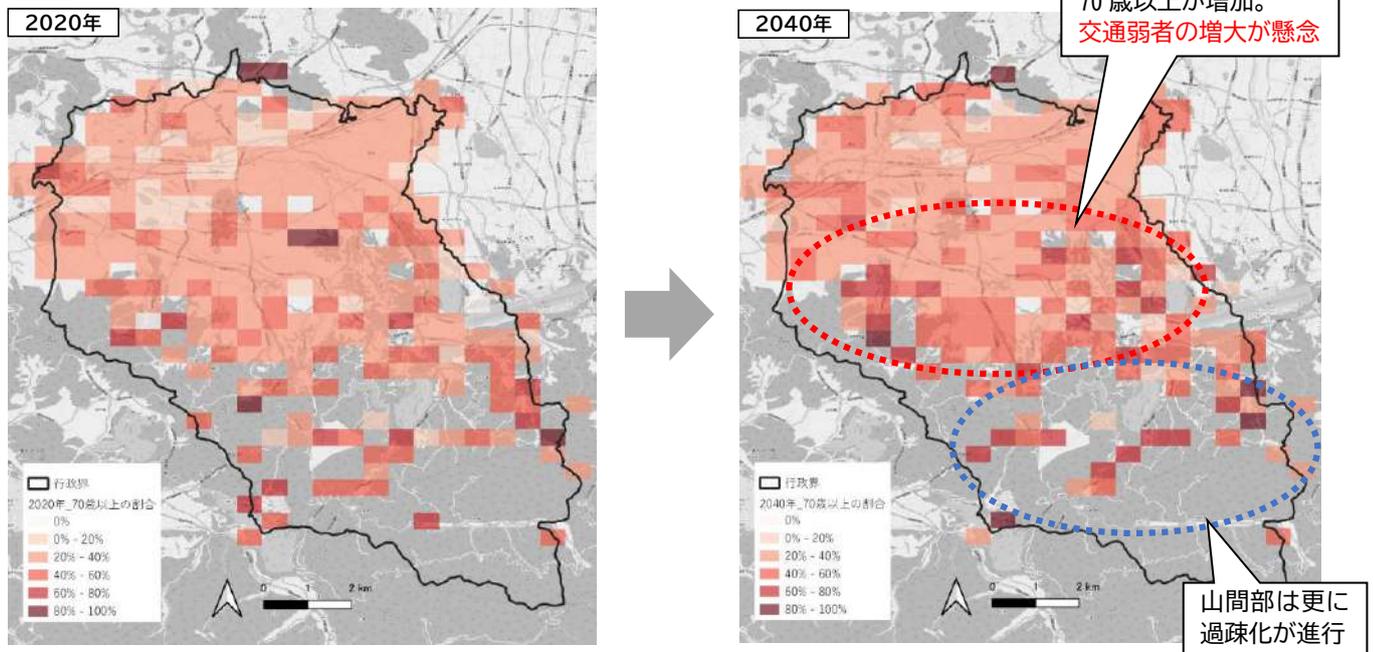


資料：国勢調査

### ③ 70歳以上の人口分布状況

- 令和 22 (2040) 年では令和 2 (2020) 年と比較して、全体的に人口分布状況の集積が進行し、70 歳以上の人口割合が増加すると予想される。
- 山間部では過疎化が進行することが予想される。
- また、中心部においても、70 歳以上の人口増加が予想されており、交通弱者の増大が懸念される。

[交通弱者 (70 歳以上) の分布予測]

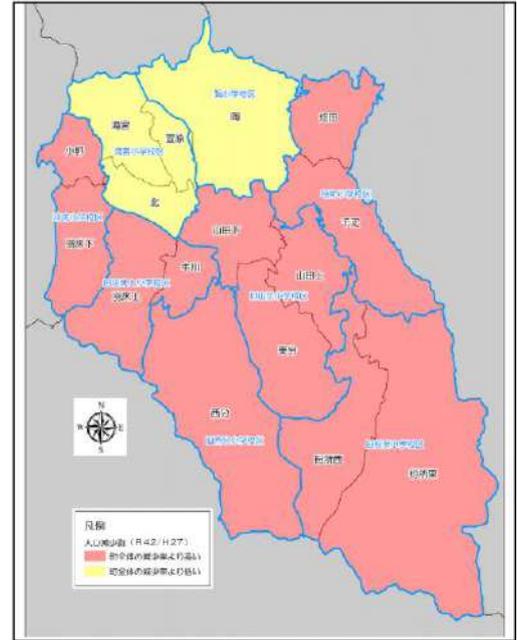


資料: 国土数値情報

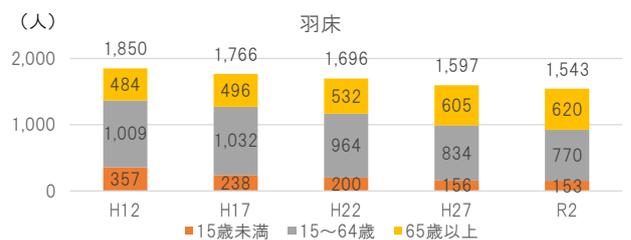
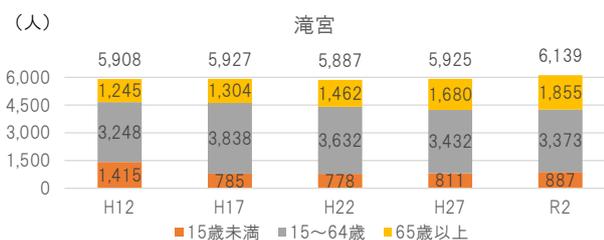
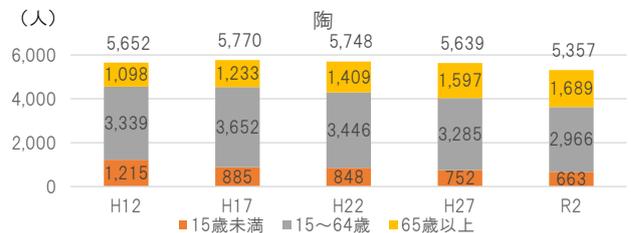
#### ④ 地区別人口の推移

- 65 歳以上の人口割合は全地区で増加している。
- 滝宮地区では、平成 12(2000)年から令和 2(2020)年までに 610 人の高齢者が増加している。
- 最も 65 歳以上の割合が高いのは西分地区 (52.5%、15 歳未満 4.3%)
- 15~64 歳 (生産年齢人口) が高いのは陶地区 (55.4%) となっている。

[小学校区別の将来推計の状況]



[小学校区別の将来推計の状況]



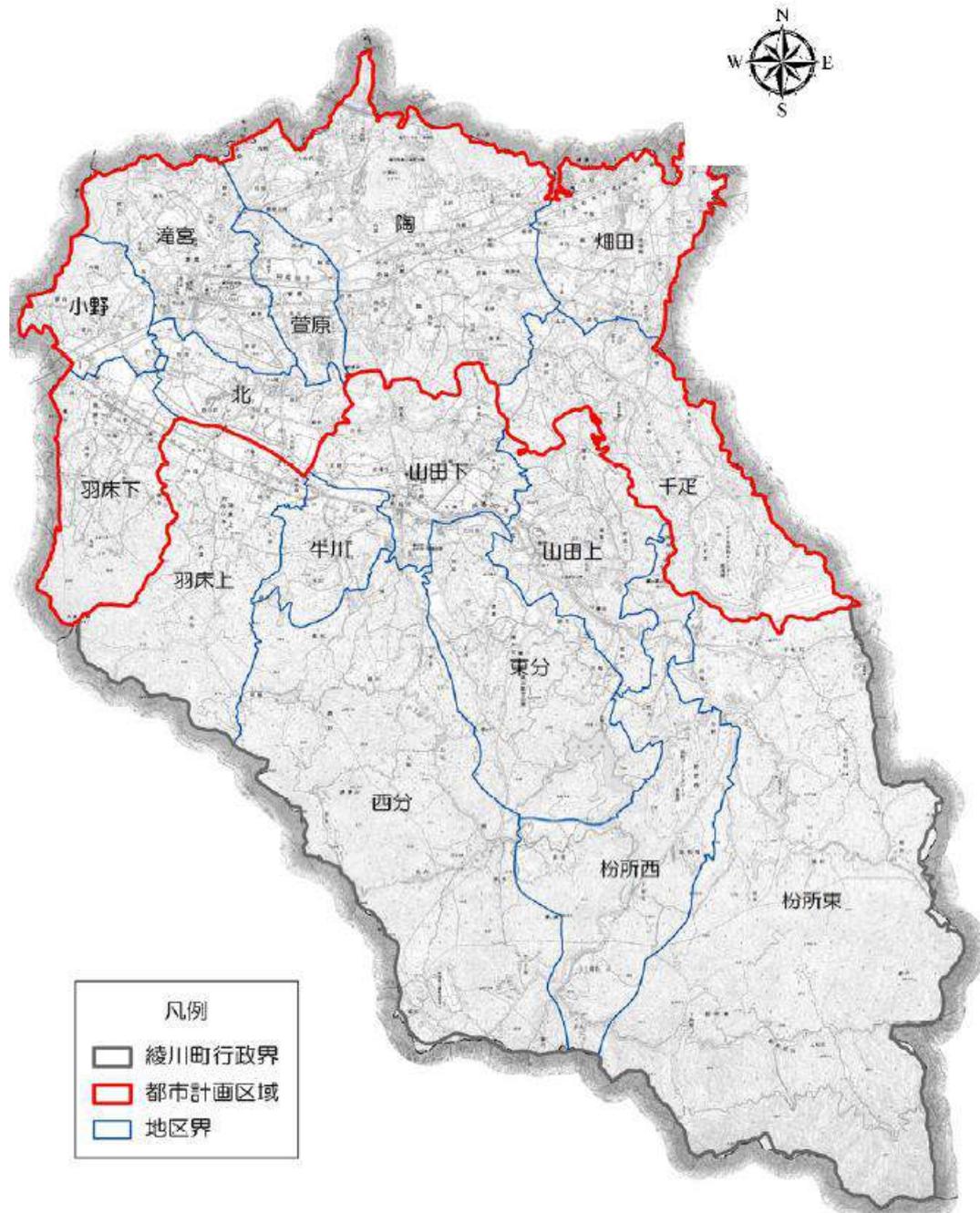
資料: 国勢調査

## (2) 都市計画区域・用途地域

### ① 都市計画区域

- 都市計画区域は、市北部に 38.47 km<sup>2</sup>指定され、綾川町全域面積の約 35%を占める。
- 綾川町の計画区域内において、市街化区域および市街化調整区域はない。

[都市計画区域]



資料：綾川町都市計画マスタープラン

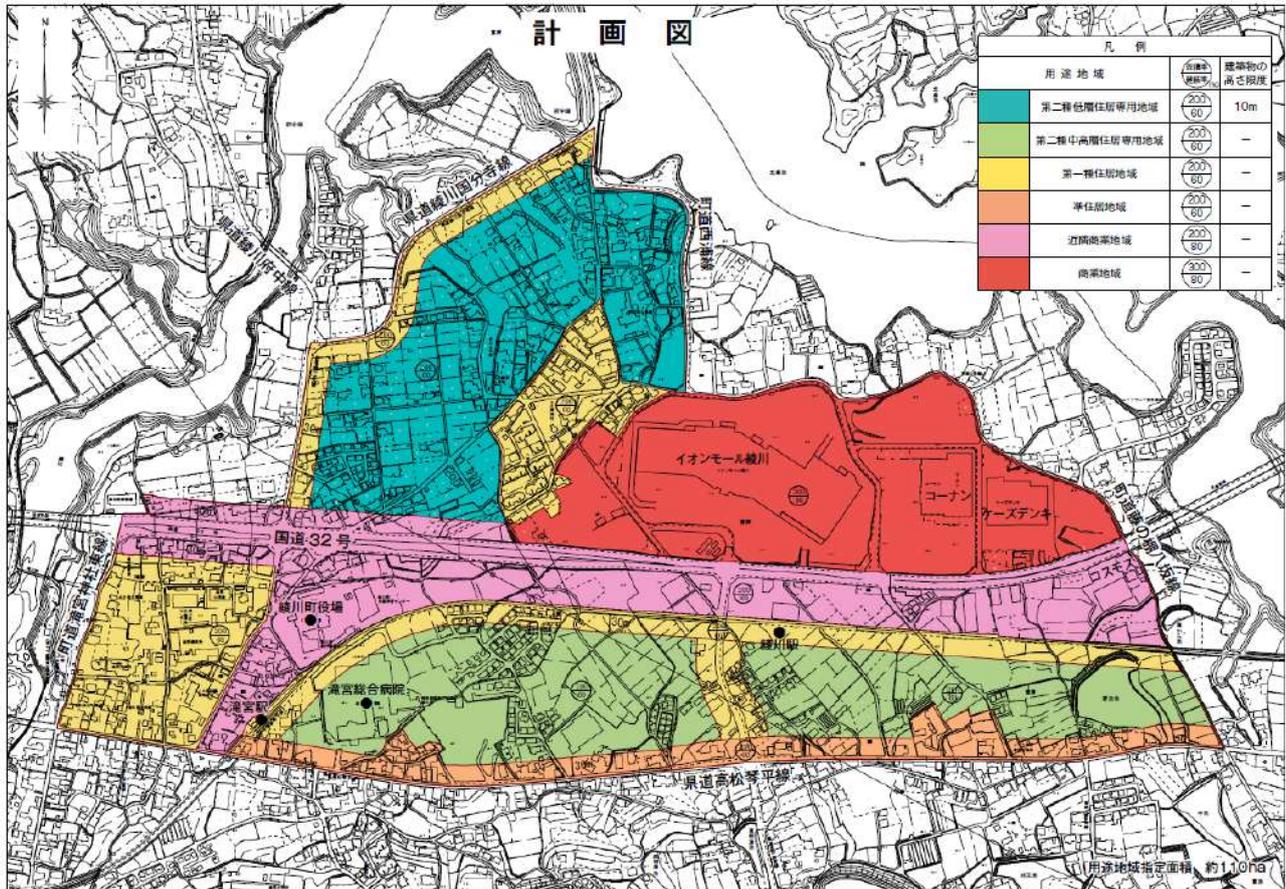
区分	面積 (km <sup>2</sup> )	面積割合 (%)	人口 (人)	人口割合 (%)
綾川町全域	109.75	100	22,693	100
都市計画区域内	38.47	35.0	17,799	78.4

資料：面積は令和3年全国都道府県市区町村別面積調(7月1日時点)  
人口は令和2年度国勢調査

## ② 用途地域

- 用途地域は綾川町役場やイオンモール綾川、ことடன்綾川駅がある中心地域において、合計で約110ha 指定されている。

[用途地域]



凡例	用途地域	面積 (km <sup>2</sup> )	建蔽率 (%)	容積率 (%)	前面道路による 容積率の制限	建築物の 高さ限度
	第二種低層住居専用地域	約0.19	60	200	0.4	10m
	第二種中高層住居専用地域	約0.21				—
	第一種住居地域	約0.22				—
	準住居地域	約0.065				—
	近隣商業地域	約0.21	80	200	0.6	—
	商業地域	約0.21	80	300		—
	合計	1.105	—	—		—

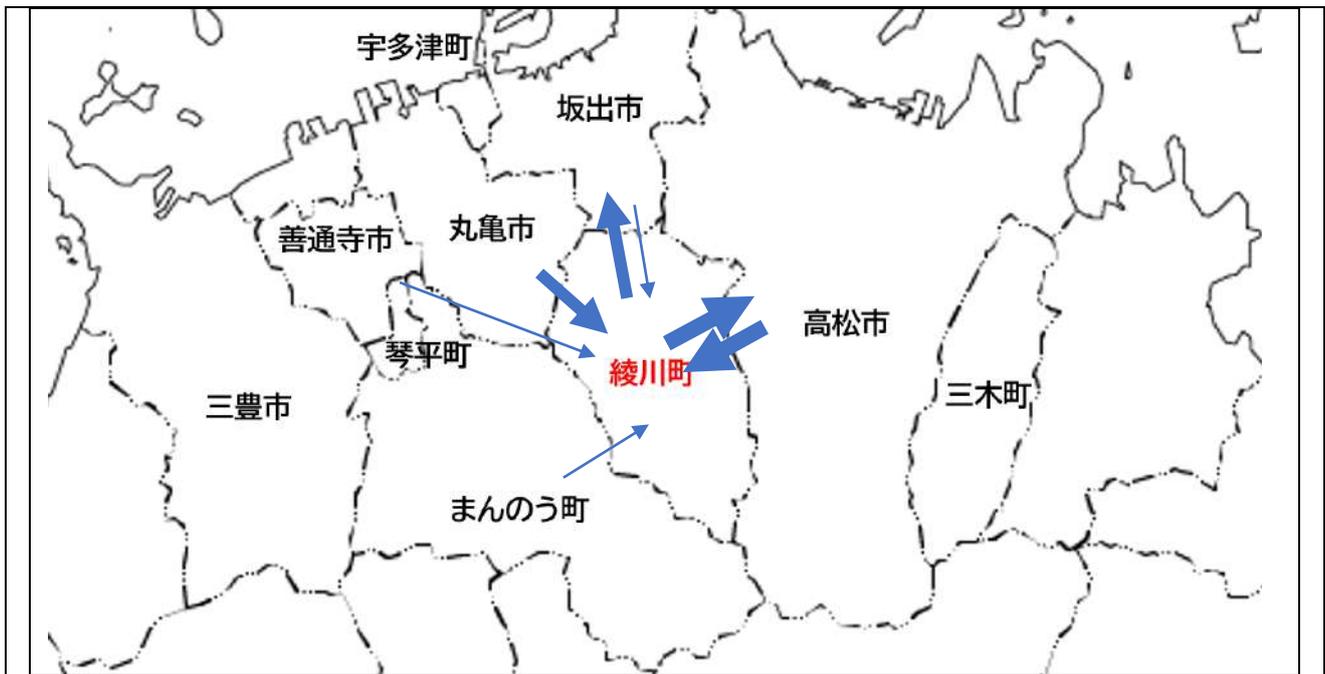
資料：都市計画法による用途地域の指定について  
都市計画について(綾川町ホームページ)

### (3) 交通流動特性

#### ① 通勤・通学流動

- 町内在住の就業者は 10,867 人で、その内、他市町で就業している人は 5,964 人 (54.9%) となっている。通学者は 923 人で、その内、他市町で通学している人は 702 人 (76.0%) となっている。他市町で就業・通学している人の内訳は、高松市が最も多く、ともに約 6 割を占めている。
- 一方、本町にて就業している人は、10,400 人で、その内、他市町在住の人は 5,400 人 (51.9%) となっている。通学者は 380 人で、その内、他市町在住の人は 141 人 (37.1%) となっている。他市町在住で就業・通学している人の内訳は、高松市が最も多く、ともに約 5 割を占めている。
- 以上のように他市町に住み本町で働いている就業者・通学者数（流入就業者・通学者）より、他市町で働いている就業者数・通学者数（流出就業者・通学者）の方が多くなっている。

[通勤・通学流動]



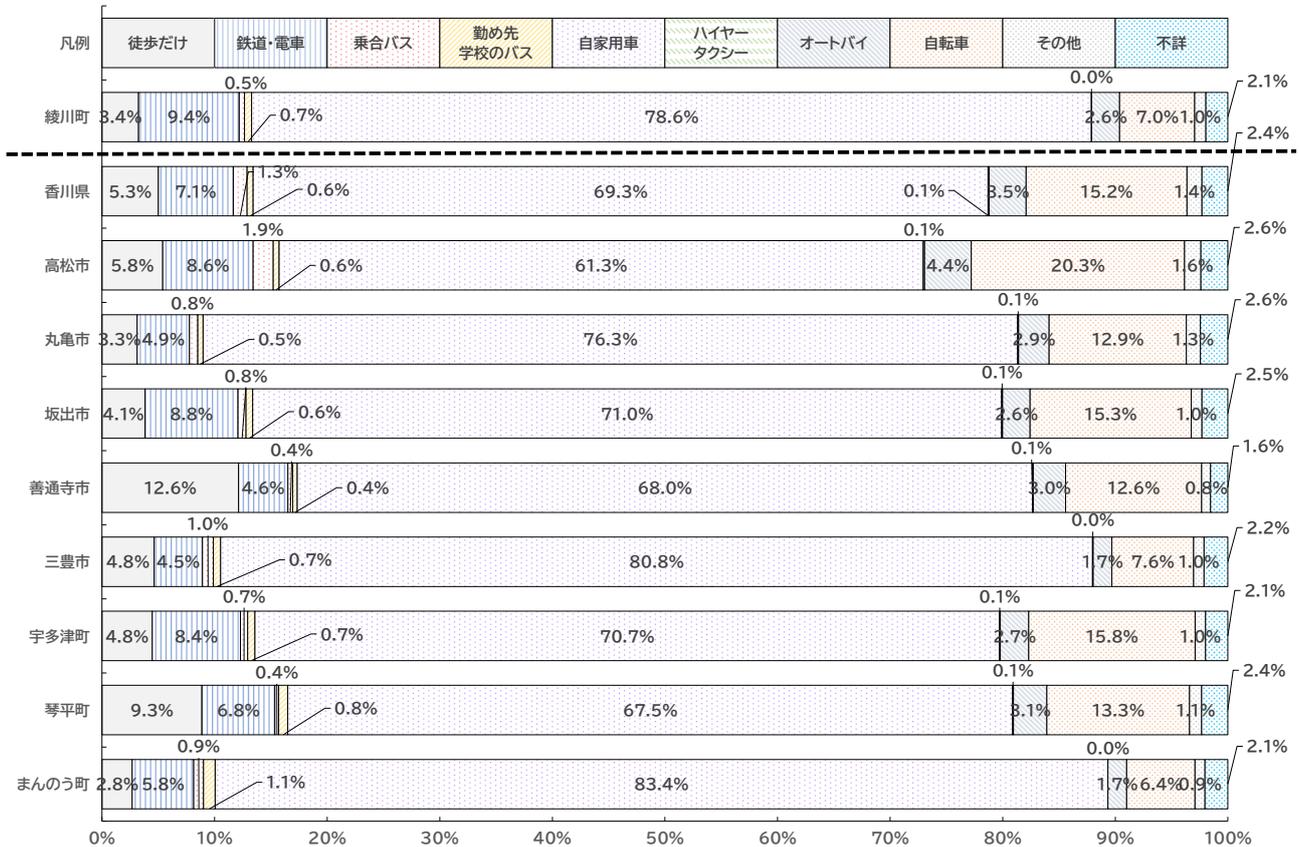
区分		就業者 (人)		通学者 (人)	
綾川町に住む就業者数・通学者数			10,867		923
他市町で働いている 就業者数・通学者数 (流出就業者数・通学者数)	1位	高松市	3,713	高松市	467
	2位	坂出市	629	琴平町	47
	3位	丸亀市	623	丸亀市	43
	4位	善通寺市	137	坂出市	26
	5位	宇多津町	124	善通寺市	25
	その他		738	その他	94
	計		5,964	計	702
綾川町で働く就業者数・通学者数			10,400		380
他市町に住み綾川町で 働いている就業者数・通学者数 (流入就業者数・通学者数)	1位	高松市	2,889	高松市	85
	2位	丸亀市	1,018	丸亀市	14
	3位	坂出市	396	まんのう町	12
	4位	まんのう町	274	坂出市	9
	5位	善通寺市	148	三豊市	7
	その他		675	その他	14
	計		5,400	計	141

資料: 令和 2(2020)年度国勢調査

② 利用交通手段（9区分：常住地による15歳以上自宅外就業者・通学者数）

- 「自家用車」の占める割合が最も多く、香川県では69.3%であるのに対して、綾川町では78.6%となっている。
- 近隣市町と比較すると、「鉄道・電車」の占める割合が高く、9.4%となっている。

[利用交通手段]



※小数第2位四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある  
資料：令和2年度国勢調査

③ 自動車保有台数

- 乗用軽四輪車の保有台数が最も多く、7,554台、総保有台数の33.8%を占める。
- 乗用の普通車・小型車・軽四輪車の合計は、15,761台で総保有台数の70.5%を占める

[自動車保有状況]

(単位：台)

	合計 台数	貨物用				乗合用		乗用			特种 (特殊) 用車両	二輪車
		普通車	小型車	被牽引車	軽自動車	普通車	小型車	普通車	小型車	軽四輪車		
綾川町	22,360	854	870	13	3,754	3	42	3,791	4,416	7,554	422	641
総保有台数に 対する割合		3.8%	3.9%	0.1%	16.8%	0.0%	0.2%	17.0%	19.7%	33.8%	1.9%	2.9%

※小数第2位四捨五入のため、合計が100%にならない場合がある  
資料：令和2年度香川県統計年鑑

#### (4) 都市基盤整備状況

##### ① 道路・交通量

- ことでの線路に並行するように、都市計画区域の東西方向に国道32号が走る。
- 主要地方道3路線は主に南北方向に走り、一般県道とともに町の骨格道路網を形成。
- ことでの線路沿いの交通量が多く、混雑度も高い場所が多い。

[道路の状況]

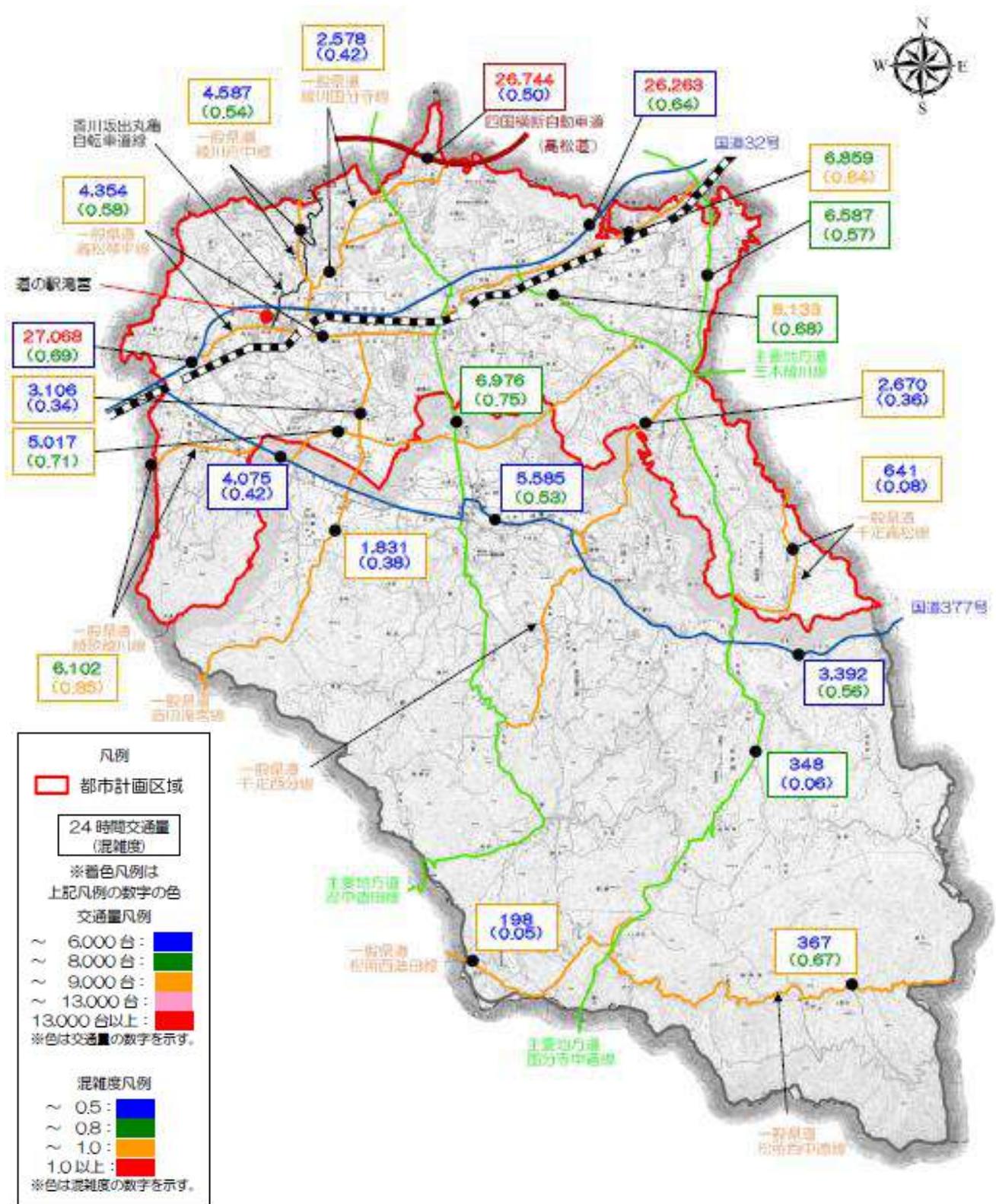
区分	路線数	主要路線名	延長 (km)	改良済		舗装済	
				延長 (km)	改良 (%)	延長 (km)	舗装 (%)
高速自動車国道	1	四国横断自動車道（高松道）	0.9	0.9	100	0.9	100
一般国道	2	国道32号（高松広域都市計画道路3・2・103錦町国分寺綾南線の綾川区間）	20.1	19.4	96.5	20.1	100
		国道377号					
主要地方道	3	主要地方道三木綾川線	32.0	28.8	90.2	32.0	100
		主要地方道府中造田線					
		主要地方道国分寺中通線					
一般県道	10	一般県道粉所西中徳線	50.6	42.3	83.6	50.3	100
		一般県道千疋高松線					
		一般県道千疋西分線					
		一般県道綾川国分寺線					
		一般県道綾川府中線					
		一般県道造田滝宮線					
		一般県道粉所西造田線					
		一般県道綾歌綾川線					
		一般県道高松琴平線					
		一般県道香川坂出丸亀自転車道線（自転車専用道路）					
町道	542		331.2	217.9	65.8	326.3	98.5

※平成25年4月1日現在

資料：綾川町都市計画マスタープラン

- 主要な道路における混雑度※（平成 22 年度道路交通センサス）は、1.0 以下の値を示しており、大きな混雑はないと言える。

[道路網図]

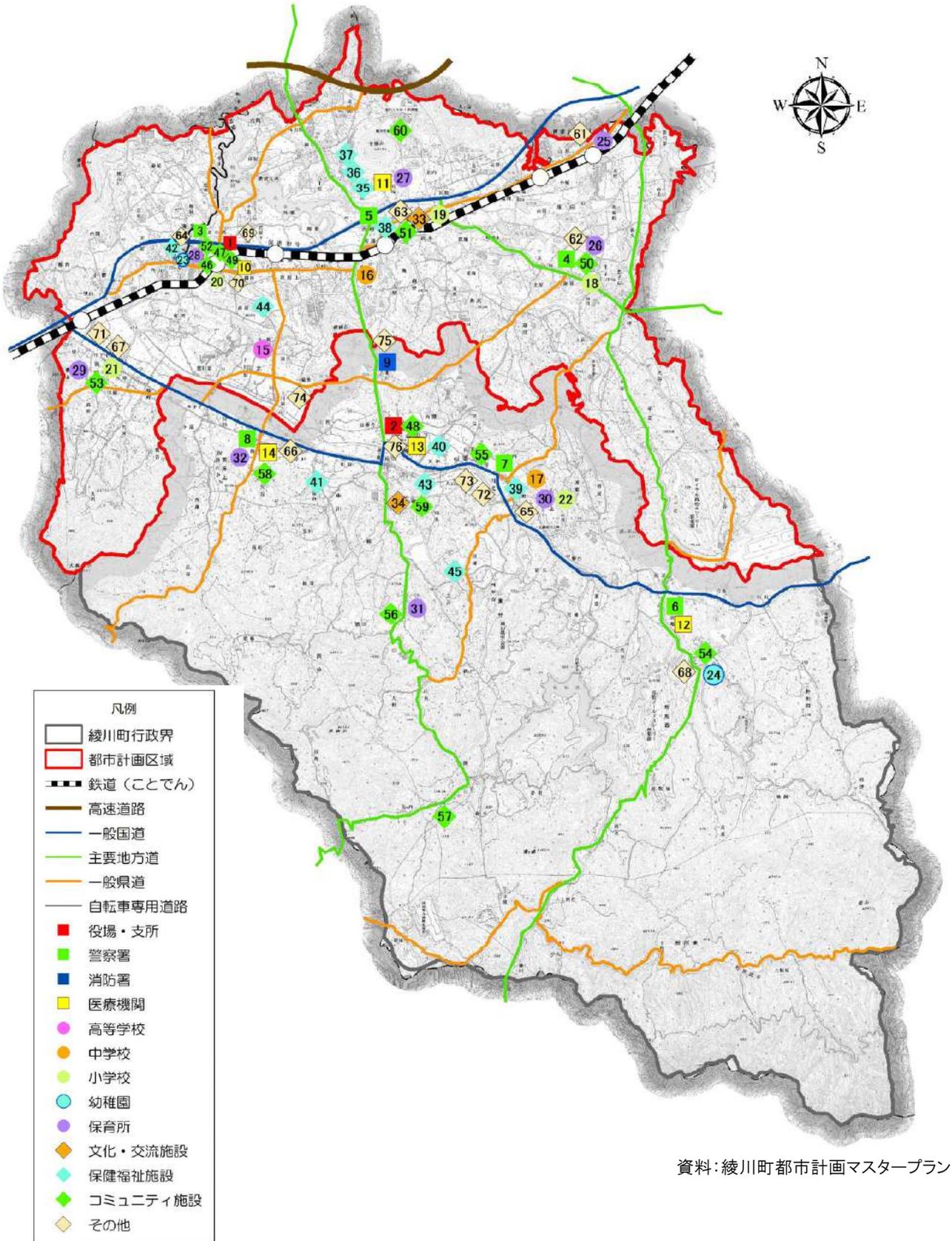


資料:綾川町都市計画マスタープラン

## (5) 施設立地・生活圏

### ① 行政・教育機関・保健福祉など主たる公共施設

- 本町における行政、教育機関、保健・福祉といった主たる公共施設などは以下のとおりとなっている。
- コミュニティ施設が 15 施設あり充実している。次いで、保健福祉施設が多くなっている。
- 公立病院：2病院（滝宮総合病院、陶病院）



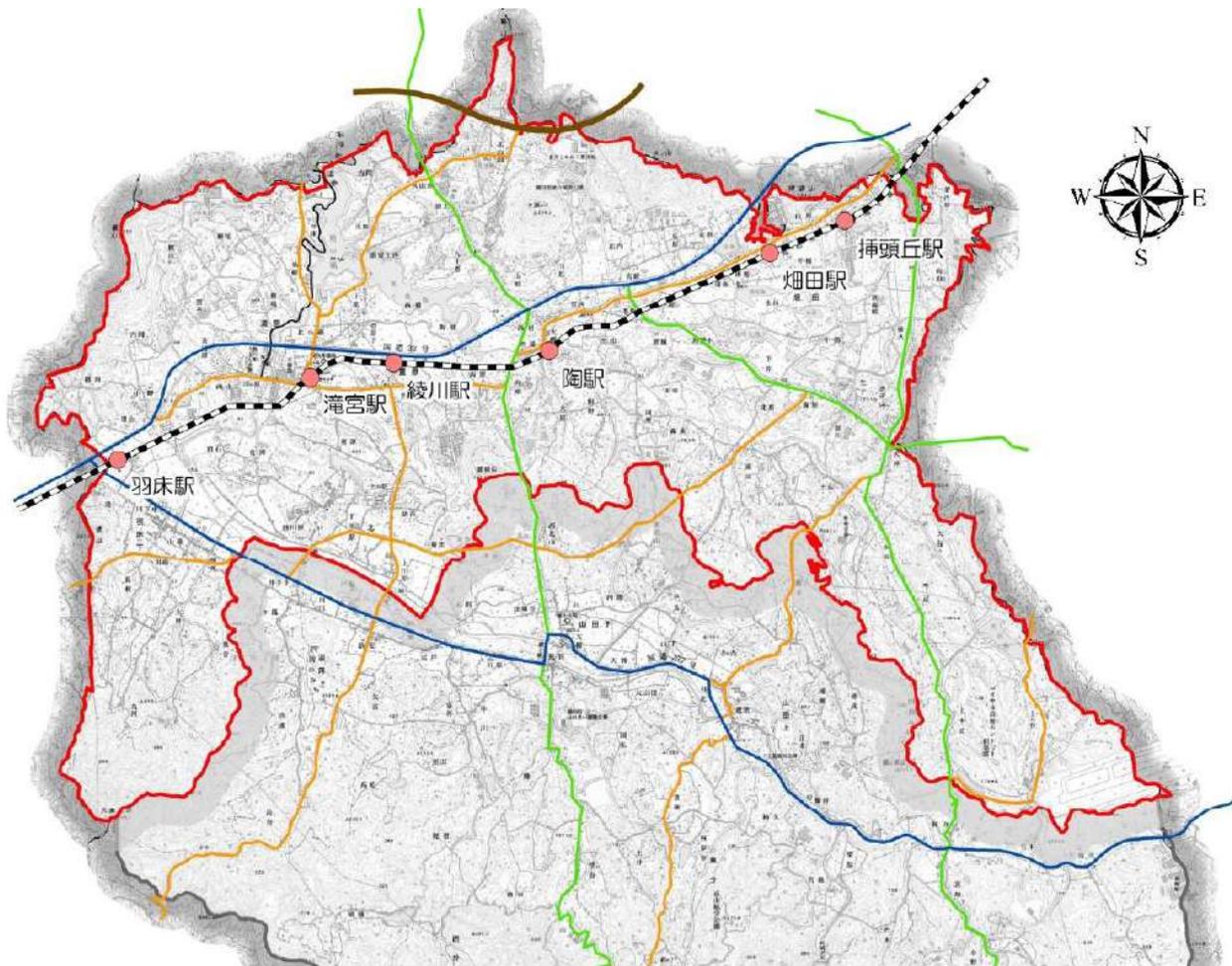
## 2-3. 綾川町公共交通機関等の現状等

### (1) 町内公共交通機関の種類及び整備状況の把握・整理

#### ① ことでん（高松琴平電気鉄道琴平線）

- 綾川町内では都市計画区域内をことでん琴平線が東西に走り、挿頭丘駅・畑田駅・陶駅・綾川（イオンモール綾川）駅・滝宮駅・羽床駅の6つの駅が存在する。
- 綾川駅はバス・タクシーの駐車スペースや一般車両の乗降場、待機場及びパーク&ライドの駐車場を備えている。

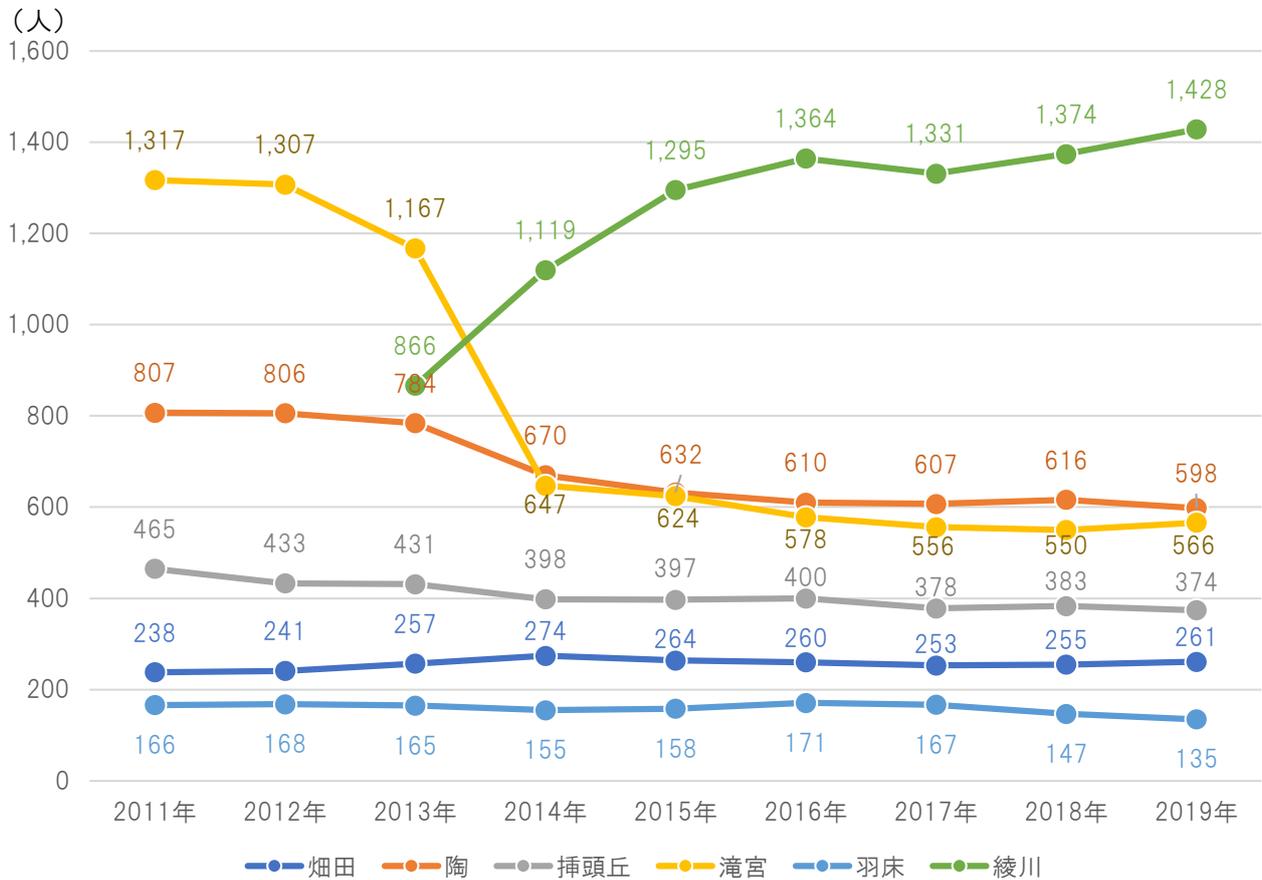
[ことでん路線図（綾川町内のみ）]



資料：綾川町都市計画マスタープラン

- 最も乗降客数が多いのは、ことでん綾川駅 1,428 人となっている。
- 次いで、ことでん陶駅 598 人となっている。
- 利用傾向としては、綾川駅は年々利用者数が増加しているが、その他の駅は横ばいとなっている。

[綾川町内駅の乗降車数の推移]



資料: 国土交通省国土数値情報

## ② 町営バス

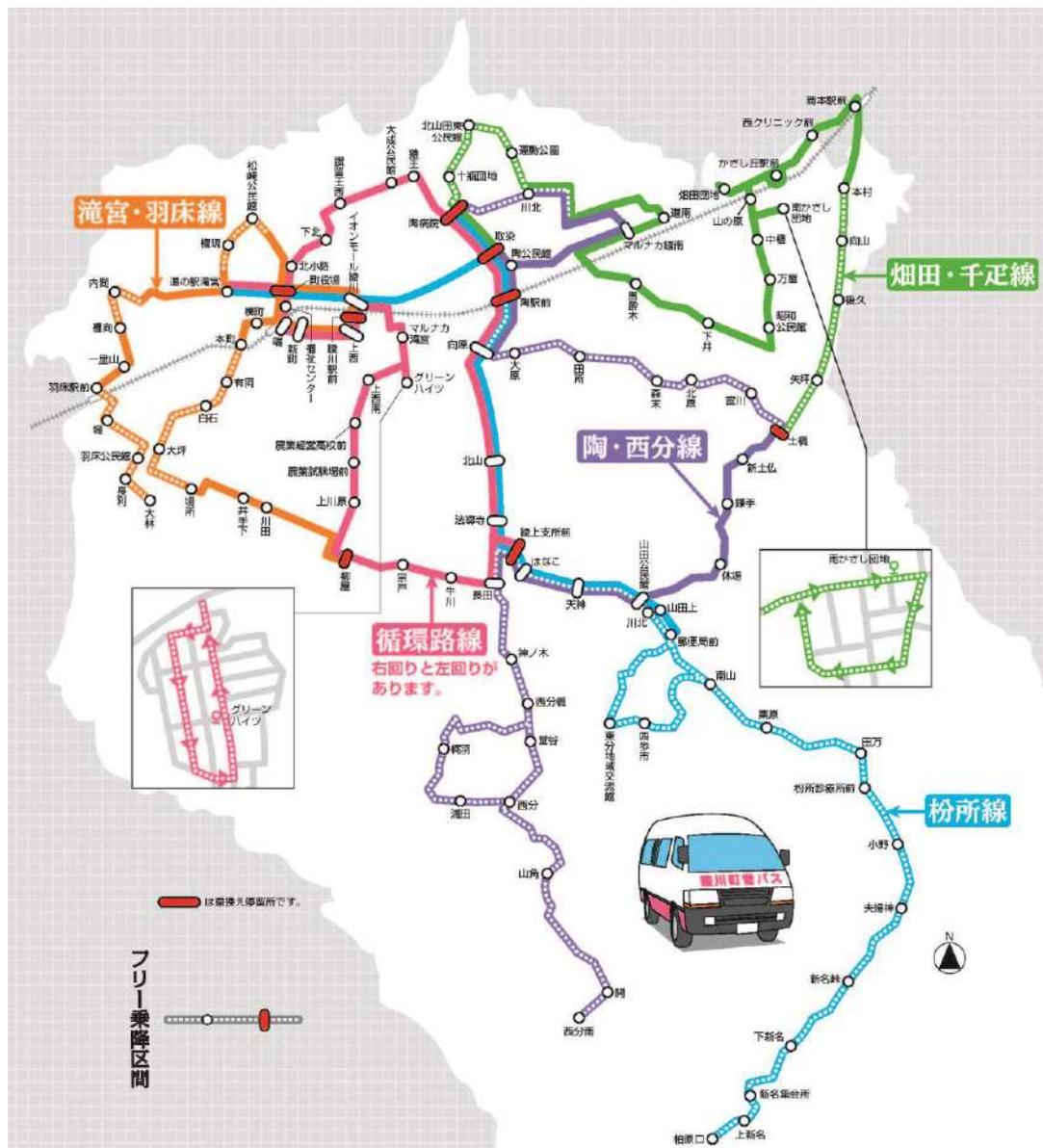
- 町営バスは6路線（滝宮・羽床線、畑田・千疋線、陶・西分線、粉所線、循環路線右回り・左回り）となっている。
- 一部路線では「フリー乗降区間」が存在し、バス停以外でも乗降が可能。

路線名	上下便数/1日	運賃	運行日
滝宮・羽床線	9便	1回の乗車につき100円 もしくは回数乗車券の利用 (※1)	月曜日～土曜日 (※2)
畑田・千疋線	8便		
陶・西分線	10便		
粉所線	10便		
循環路線右回り・左回り	8便		

※1 回数乗車券は町役場会計室、またはバス車内で購入可能

※2 日曜日・祝祭日・振替休日・年末年始(12月31日～1月3日)は全便運休

[町営バス路線図]



資料：綾川町町営バスご利用のご案内(詳細版)

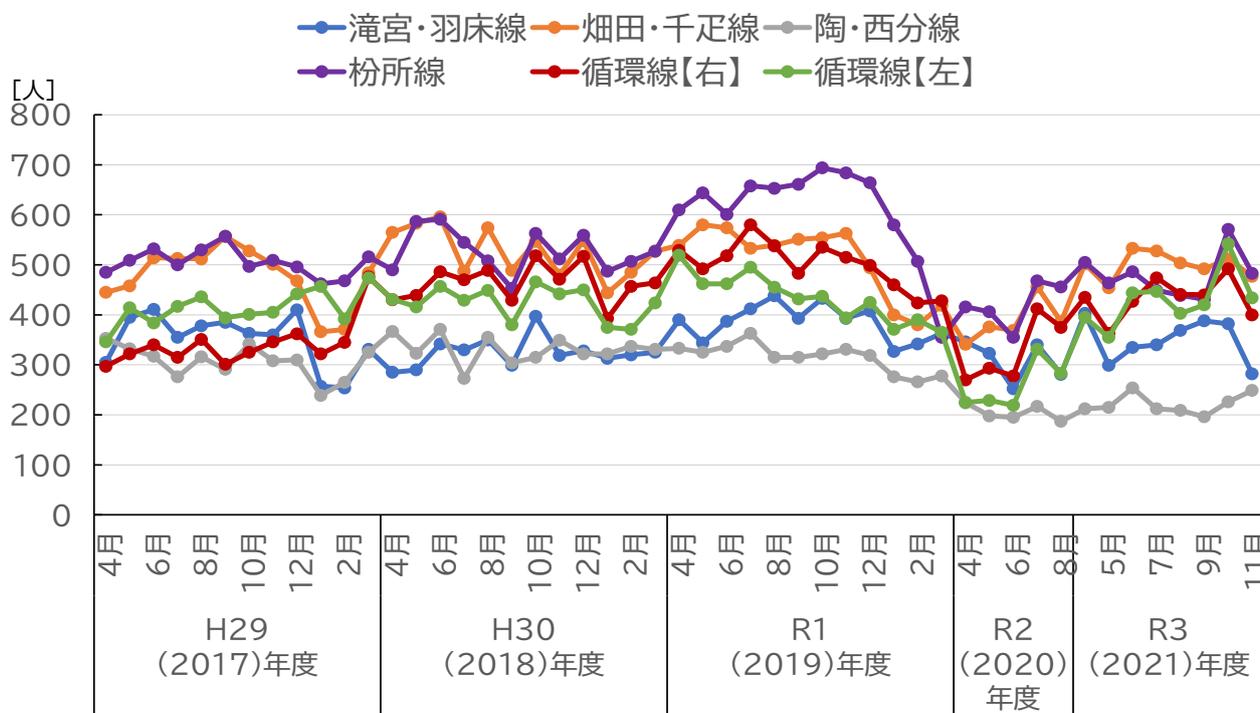
- 全体利用者数は平成 29（2017）年度以降増加傾向にあり、令和元（2019）年度には 33,055 人となっている。しかし、令和元年後半よりコロナウイルス等の影響により利用者は減少している。
- 路線別利用者数は、粉所線の利用者が最も多く、次いで畑田・千疋線となっている。

[全体利用者数の推移]



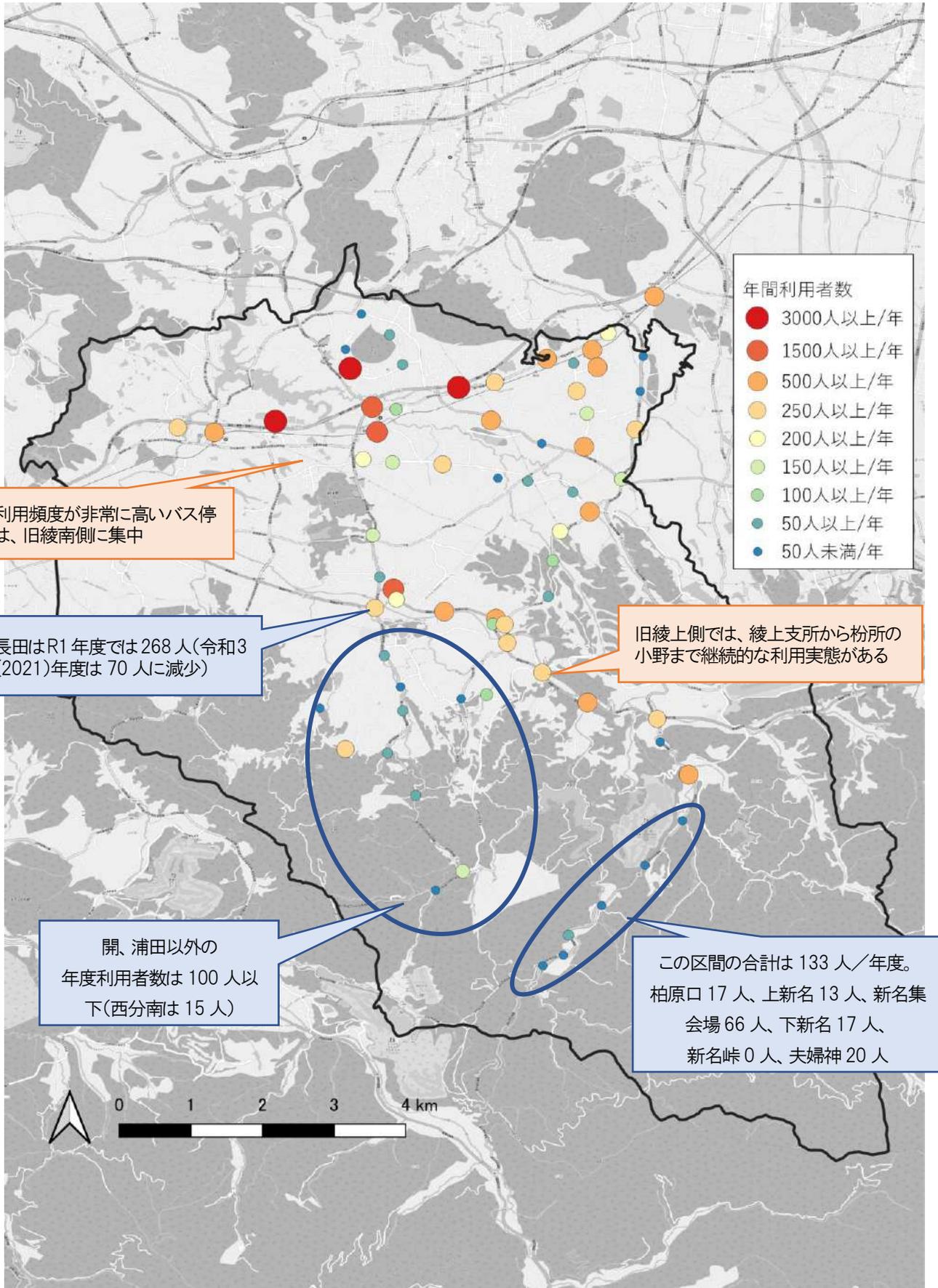
資料：町営バス運行実績

[路線別利用者数]



資料：町営バス運行実績

[利用実態（令和元（2019）年度 コロナ前）]



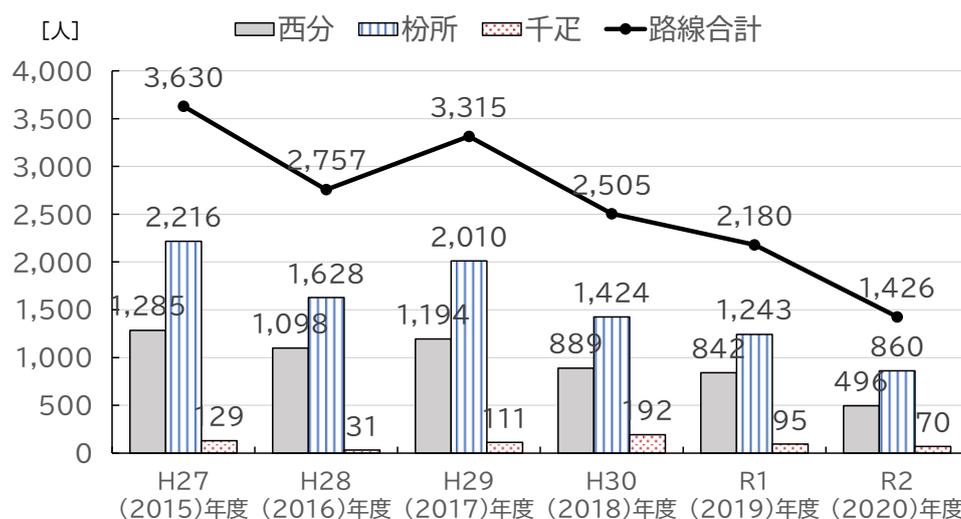
資料：町営バス運行実績

### ③ デマンドタクシー

- 予約制の乗り合いタクシーとして、3路線が存在し、1日に上下合計8便が運行している。
- 乗降者数は平成29（2017）年度以降、減少傾向である。
- 令和4（2022）年度より、自宅まで送迎（ドアトゥフィックス）を行う実証実験を行っている。

利用条件	綾上地区・千疋地区にお住まいの方が対象（年齢等の制限なし）
運行路線	1日8便 上り：8時発、9時発、11時発、13時発 下り：10時発、12時発、14時発、15時発 ○綾上地区、千疋方面
運行日時	月曜日～土曜日 ※日・祝・12月31日～1月3日は運休。 ※積雪や災害でも運休することがあり。
乗車料金	通常：300円（1人/1回） どこでも一律料金 半額：150円（障がい者手帳等の乗車時提示） 無料：0円（小児（満6歳未満）、または運転免許証を自主返納しバス無料券を所有する人）
乗降箇所	ご自宅から、町役場方面の病院・商店・駅・金融機関など
予約方法	受付時間：午前7時～午後4時 予約：利用日の1週間前～1時間前まで ※早朝の1便・2便は前日の午後4時に締め切り。 ※出かけるときに、電話で予約すれば、ご自宅まで迎えに行き、病院や商店等まで送迎 ※帰るときも、病院や商店等まで迎えに行き、ご自宅まで送迎

[利用人員数]



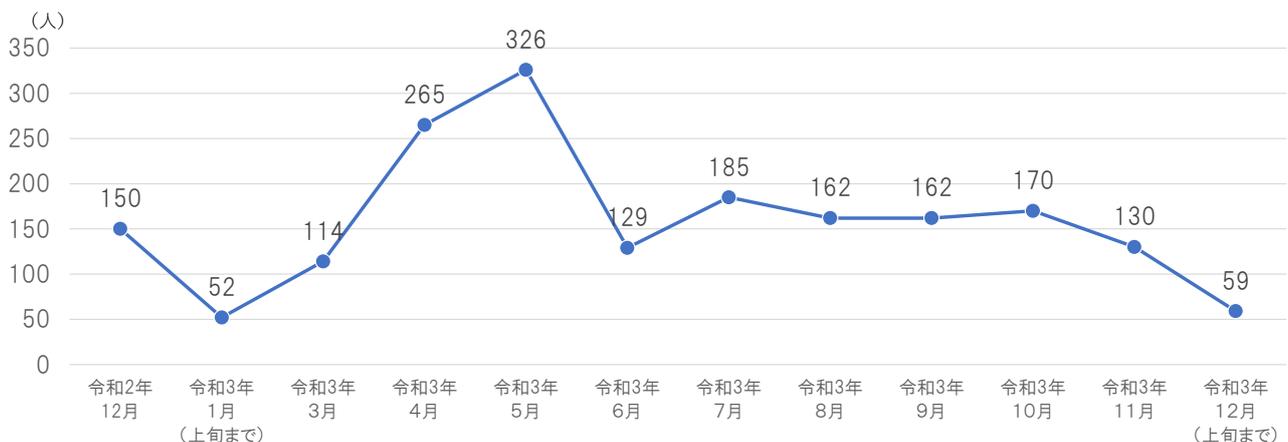
資料：デマンドタクシー乗降者数実績

④ えきバス（巡回バス）

- 令和2（2020）年12月より運行開始。令和4年3月末運行休止。
- 利用者数は、道の駅 滝宮のリニューアルオープンに伴い令和3（2021）年1月から5月にかけて増加していたが、6月に大きく減少した。以降は横ばいとなっていたが、10月以降はさらに減少し、令和4年3月末に休止した。

運行路線	道の駅滝宮～イオンモール綾川～ことでん綾川駅の3か所																																																																																																																																																																
運行日時	土・日・祝日のみ、15分間隔 ※自然災害（台風、地震、路面凍結）等の事由により、運行上の安全を考慮して止むを得ずバスを運休する場合がある。																																																																																																																																																																
乗車料金	無料																																																																																																																																																																
時刻表	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1便</th> <th>2便</th> <th>3便</th> <th>4便</th> <th>5便</th> <th>6便</th> <th>7便</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>8:20</td> <td>8:35</td> <td>8:50</td> <td>9:05</td> <td>9:35</td> <td>9:50</td> <td>10:05</td> </tr> <tr> <td>イオンモール綾川</td> <td>8:24</td> <td>8:39</td> <td>8:54</td> <td>9:09</td> <td>9:39</td> <td>9:54</td> <td>10:09</td> </tr> <tr> <td>道の駅滝宮</td> <td>8:30</td> <td>8:45</td> <td>9:00</td> <td>9:15</td> <td>9:45</td> <td>10:00</td> <td>10:15</td> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>8:35</td> <td>8:50</td> <td>9:05</td> <td>9:20</td> <td>9:50</td> <td>10:05</td> <td>10:20</td> </tr> <tr> <th></th> <th>8便</th> <th>9便</th> <th>10便</th> <th>11便</th> <th>12便</th> <th>13便</th> <th>14便</th> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>10:20</td> <td>10:50</td> <td>11:05</td> <td>11:20</td> <td>11:35</td> <td>12:35</td> <td>12:50</td> </tr> <tr> <td>イオンモール綾川</td> <td>10:24</td> <td>10:54</td> <td>11:09</td> <td>11:24</td> <td>11:39</td> <td>12:39</td> <td>12:54</td> </tr> <tr> <td>道の駅滝宮</td> <td>10:30</td> <td>11:00</td> <td>11:15</td> <td>11:30</td> <td>11:45</td> <td>12:45</td> <td>13:00</td> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>10:35</td> <td>11:05</td> <td>11:20</td> <td>11:35</td> <td>11:50</td> <td>12:50</td> <td>13:05</td> </tr> <tr> <th></th> <th>15便</th> <th>16便</th> <th>17便</th> <th>18便</th> <th>19便</th> <th>20便</th> <th>21便</th> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>13:05</td> <td>13:20</td> <td>13:50</td> <td>14:05</td> <td>14:20</td> <td>14:35</td> <td>15:05</td> </tr> <tr> <td>イオンモール綾川</td> <td>13:09</td> <td>13:24</td> <td>13:54</td> <td>14:09</td> <td>14:24</td> <td>14:39</td> <td>15:09</td> </tr> <tr> <td>道の駅滝宮</td> <td>13:15</td> <td>13:30</td> <td>14:00</td> <td>14:15</td> <td>14:30</td> <td>14:45</td> <td>15:15</td> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>13:20</td> <td>13:35</td> <td>14:05</td> <td>14:20</td> <td>14:35</td> <td>14:50</td> <td>15:20</td> </tr> <tr> <th></th> <th>22便</th> <th>23便</th> <th>24便</th> <th>25便</th> <th>26便</th> <th>27便</th> <th>28便</th> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>15:20</td> <td>15:35</td> <td>15:50</td> <td>16:35</td> <td>16:50</td> <td>17:05</td> <td>17:20</td> </tr> <tr> <td>イオンモール綾川</td> <td>15:24</td> <td>15:39</td> <td>15:54</td> <td>16:39</td> <td>16:54</td> <td>17:09</td> <td>17:24</td> </tr> <tr> <td>道の駅滝宮</td> <td>15:30</td> <td>15:45</td> <td>16:00</td> <td>16:45</td> <td>17:00</td> <td>17:15</td> <td>17:30</td> </tr> <tr> <td>ことでん綾川駅</td> <td>15:35</td> <td>15:50</td> <td>16:05</td> <td>16:50</td> <td>17:05</td> <td>17:20</td> <td>17:35</td> </tr> </tbody> </table>		1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	ことでん綾川駅	8:20	8:35	8:50	9:05	9:35	9:50	10:05	イオンモール綾川	8:24	8:39	8:54	9:09	9:39	9:54	10:09	道の駅滝宮	8:30	8:45	9:00	9:15	9:45	10:00	10:15	ことでん綾川駅	8:35	8:50	9:05	9:20	9:50	10:05	10:20		8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便	ことでん綾川駅	10:20	10:50	11:05	11:20	11:35	12:35	12:50	イオンモール綾川	10:24	10:54	11:09	11:24	11:39	12:39	12:54	道の駅滝宮	10:30	11:00	11:15	11:30	11:45	12:45	13:00	ことでん綾川駅	10:35	11:05	11:20	11:35	11:50	12:50	13:05		15便	16便	17便	18便	19便	20便	21便	ことでん綾川駅	13:05	13:20	13:50	14:05	14:20	14:35	15:05	イオンモール綾川	13:09	13:24	13:54	14:09	14:24	14:39	15:09	道の駅滝宮	13:15	13:30	14:00	14:15	14:30	14:45	15:15	ことでん綾川駅	13:20	13:35	14:05	14:20	14:35	14:50	15:20		22便	23便	24便	25便	26便	27便	28便	ことでん綾川駅	15:20	15:35	15:50	16:35	16:50	17:05	17:20	イオンモール綾川	15:24	15:39	15:54	16:39	16:54	17:09	17:24	道の駅滝宮	15:30	15:45	16:00	16:45	17:00	17:15	17:30	ことでん綾川駅	15:35	15:50	16:05	16:50	17:05	17:20	17:35
	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	8:20	8:35	8:50	9:05	9:35	9:50	10:05																																																																																																																																																										
イオンモール綾川	8:24	8:39	8:54	9:09	9:39	9:54	10:09																																																																																																																																																										
道の駅滝宮	8:30	8:45	9:00	9:15	9:45	10:00	10:15																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	8:35	8:50	9:05	9:20	9:50	10:05	10:20																																																																																																																																																										
	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	10:20	10:50	11:05	11:20	11:35	12:35	12:50																																																																																																																																																										
イオンモール綾川	10:24	10:54	11:09	11:24	11:39	12:39	12:54																																																																																																																																																										
道の駅滝宮	10:30	11:00	11:15	11:30	11:45	12:45	13:00																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	10:35	11:05	11:20	11:35	11:50	12:50	13:05																																																																																																																																																										
	15便	16便	17便	18便	19便	20便	21便																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	13:05	13:20	13:50	14:05	14:20	14:35	15:05																																																																																																																																																										
イオンモール綾川	13:09	13:24	13:54	14:09	14:24	14:39	15:09																																																																																																																																																										
道の駅滝宮	13:15	13:30	14:00	14:15	14:30	14:45	15:15																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	13:20	13:35	14:05	14:20	14:35	14:50	15:20																																																																																																																																																										
	22便	23便	24便	25便	26便	27便	28便																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	15:20	15:35	15:50	16:35	16:50	17:05	17:20																																																																																																																																																										
イオンモール綾川	15:24	15:39	15:54	16:39	16:54	17:09	17:24																																																																																																																																																										
道の駅滝宮	15:30	15:45	16:00	16:45	17:00	17:15	17:30																																																																																																																																																										
ことでん綾川駅	15:35	15:50	16:05	16:50	17:05	17:20	17:35																																																																																																																																																										

[利用状況]

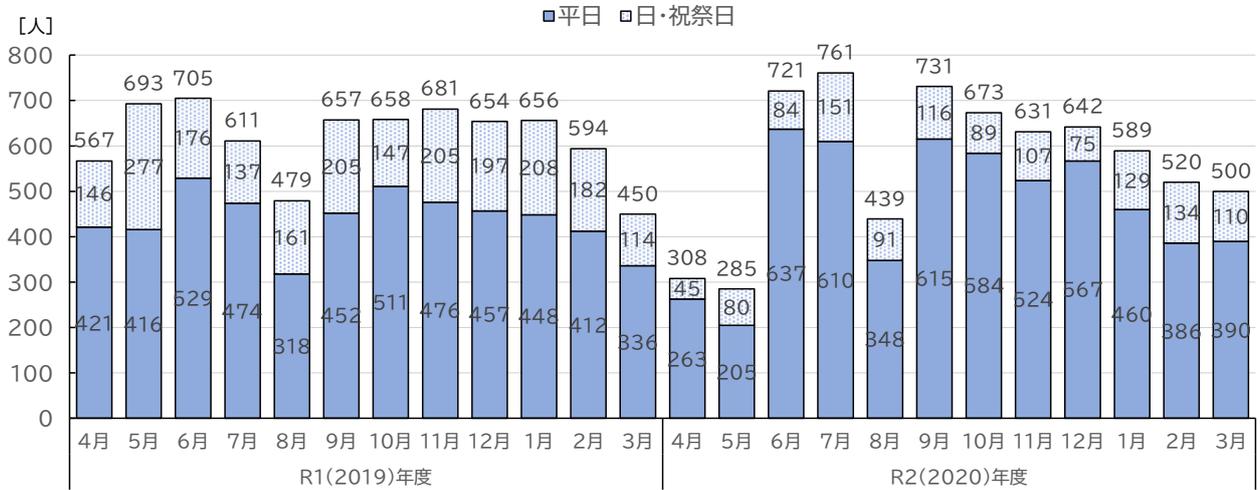


資料：綾川町



- コロナウイルス等の影響により、令和元（2019）年1月から令和2（2020）年5月にかけて減少している。
- 平日利用が多くなっている。

[月別利用者数]



資料：坂出綾川線利用人員実績

## ⑥ 丸亀・空港リムジンバス

- 1日に高松空港行き8本、丸亀・坂出行き10本が運行している。（※令和4（2022）年12月現在）

[路線図（丸亀坂出線）・運賃表]

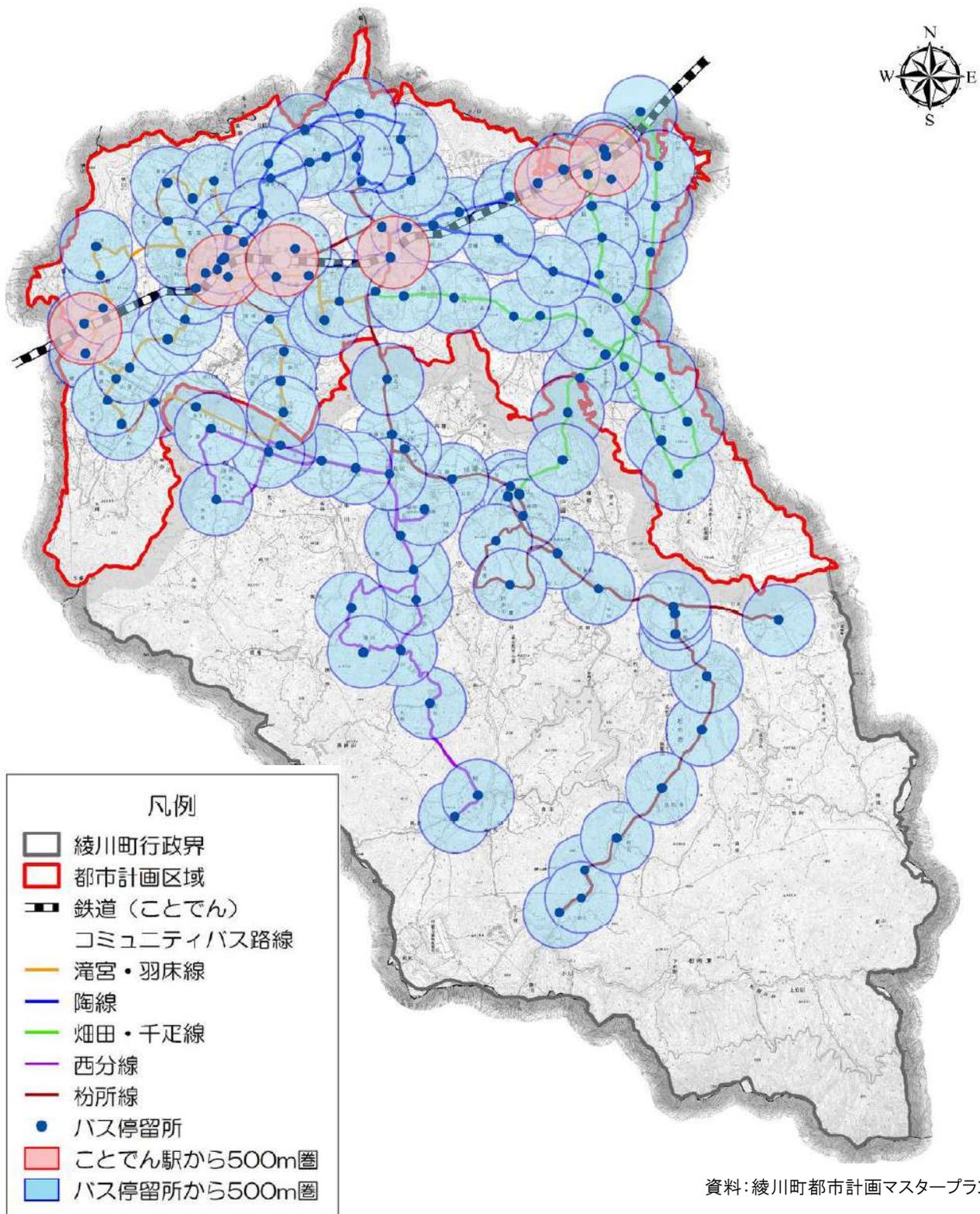


資料：琴参バス株式会社ホームページ

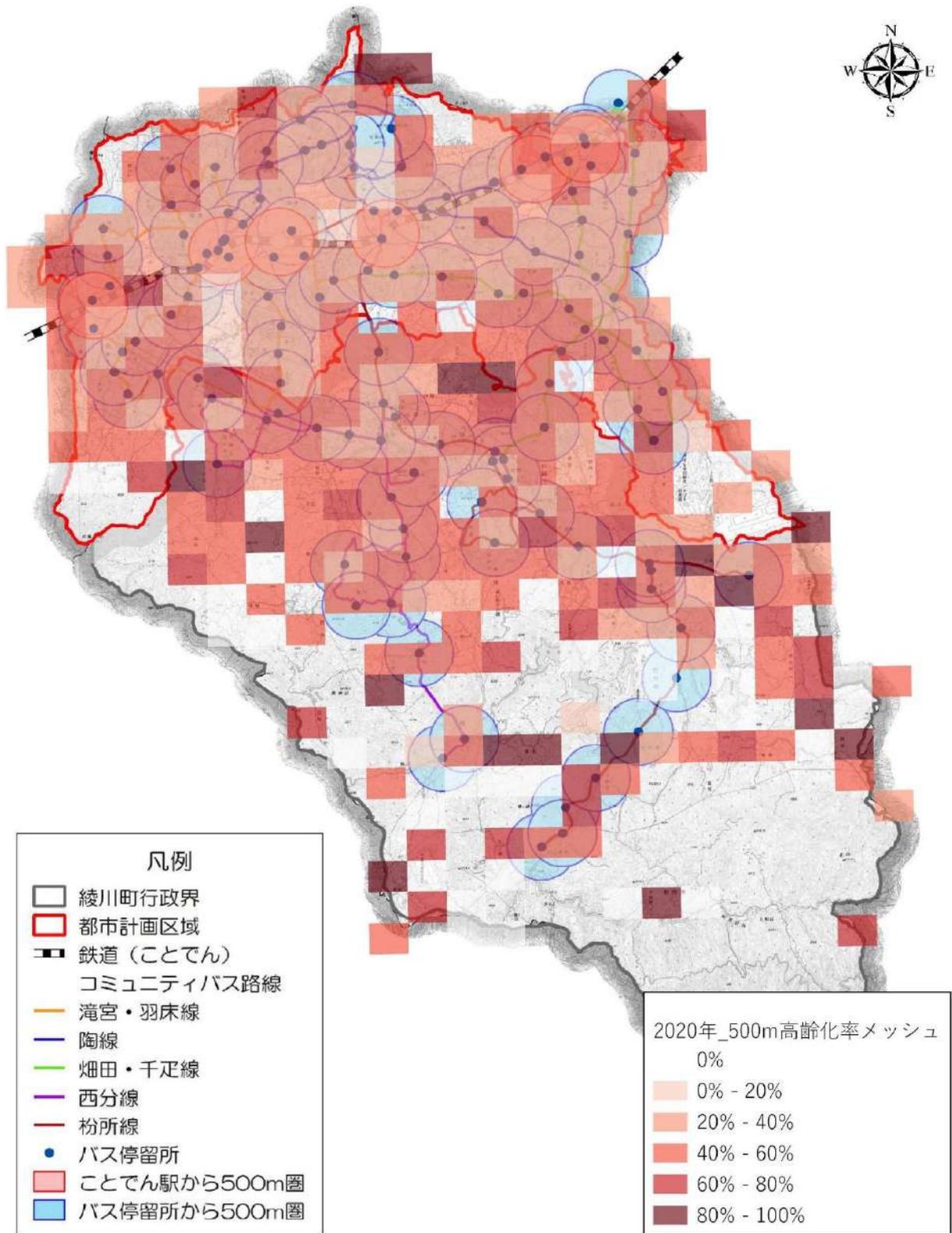
## ⑦ 公共交通のサービス圏域

- 公共交通のサービス圏域として、公共交通（鉄道、バス）の鉄道駅、バス停留所から 500m圏域をみると、都市計画区域内については、サービスがほぼ網羅されている。
- 令和2（2020）年の高齢化率のメッシュと重ね合わせると、交通空白地帯も存在している状況にある。

[公共交通サービス圏地図]



[公共交通サービス圏地図に 2020 年高齢率メッシュを重ね合わせた図]



資料:綾川町都市計画マスタープラン、国土数値情報

⑧ タクシー

- タクシーは3事業者が運行している
- 各社、ドライバー等の高齢化などが課題となっている

	車両の保有台数				社員数			平均 年齢
	大型	中型	小型	ユニバーサル デザイン車両	運転手	事務	整備	
有限会社 綾南交通	1	6	6	2	-	-	-	-
大東タクシー	1	3	2	0	3	1	1	55
大丸タクシー	0	6	1	0	4	1	1	65

※綾南交通のみアンケート回答がないため、社員数等は不明

事業者名	住所	営業日	営業時間
有限会社 綾南交通	〒761-2305 綾川町滝宮 548 番地 6 (滝宮駅 徒歩約1分)	年中無休	7:00~24:00 (時間外は予約で対応)
大東タクシー	〒761-2101 綾川町畑田 696-13 (挿頭丘駅徒歩約4分)	年中無休	7:00~21:00
大丸タクシー	〒761-2204 綾川町山田下 2211 番地 1 (陶駅徒歩約37分)	年中無休	8:00~20:00

## ⑨ 助成制度

- 高齢者や障がい者等の方に向けた外出支援や経費負担の軽減のため、タクシーを利用した場合のタクシー利用の助成を行っている。

綾川町あんしんタクシー助成事業			
事業 期間	令和3（2021）年 4月1日から開始 ※新型コロナウイルス 感染拡大のため、 事業期間は未定	対象者	綾川町に住所を有する以下のいずれかの方 ①満75歳以上の高齢者 ②身体障害者手帳（1級・2級）をお持ちの方 ③療育手帳（㊤・A）をお持ちの方 ④精神障害者保健福祉手帳（1級・2級）をお持ちの方 ⑤事業期間中に妊娠届を提出した方、もしくは出産予定 か出産後1年に満たない方
支援 内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1枚500円相当として使用できるタクシーチケットを配布。</li> <li>・①②③④に該当する方：500円×24枚 ⑤に該当する方：500円×48枚</li> </ul>		

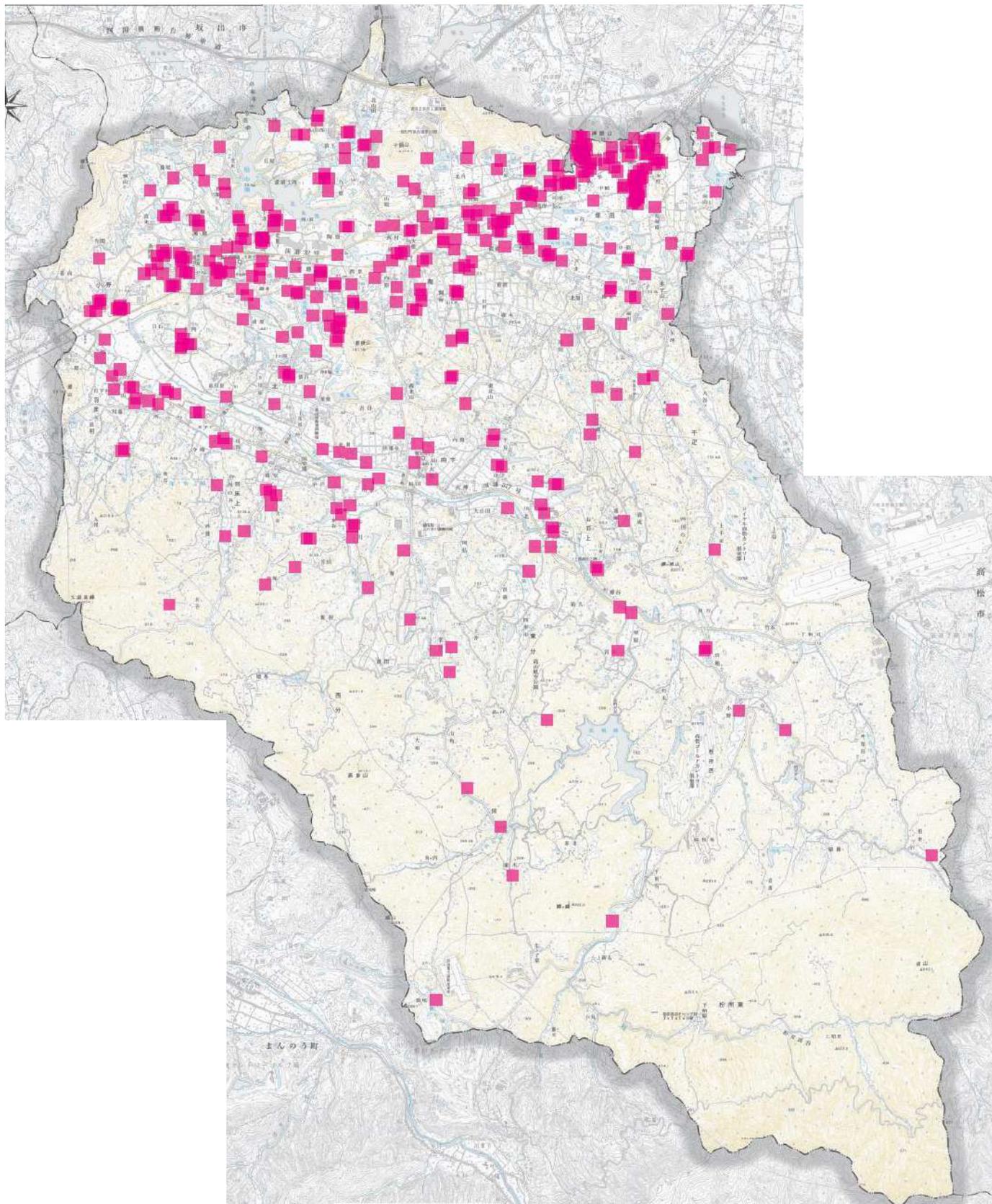
運転免許証自主返納支援事業			
事業 期間	平成24（2012）年 4月より実施	対象者	○綾川町民（外国人含む）で、有効期間内のすべての運 転免許証を自主返納された方。 ○香川県が発行する運転免許卒業カードを所有する方。
支援 内容	車に代わる交通手段として『町民バス無料乗車カード』の発行を実施。		

綾川町セーフティ IruCa			
事業 期間	平成31（2019）年 4月より実施	対象者	綾川町民（外国人含む）で、有効期間内の運転免許証を 自主返納された70歳未満の方。
支援 内容	『綾川町セーフティ IruCa』を利用することにより、IruCaを導入している公共交通（電 車・バス）の運賃が半額となる。		

ゴールド IruCa			
事業 期間	平成29（2017）年 10月より実施	対象者	綾川町に在住する70歳以上の方。
支援 内容	『ゴールド IruCa』を利用することにより、IruCaを導入している公共交通（電車・バス） の運賃が半額となる。		

- 山間部よりも中心部での利用が多い。

[綾川町あんしんタクシー助成事業利用者のプロット]



資料:綾川町

⑩ 店舗利用型 パーク・アンド・ライド駐車場

事業 期間	平成25(2013)年 12月より実施	対象者	主に平日、綾川駅から電車、バスを利用する通勤・通 学者
協力 店舗	イオンモール綾川	利用 条件	1か月あたり協力店舗の商品券を3,000円分購入 (※月の途中での利用開始、中止の場合でも1ヶ月分 の商品券購入が必要)
駐車場 形態	未舗装、屋根なし	利用 可能時間	平日、休日を問わず24時間利用可能
募集 台数	30台	利用 期間	1ヶ月単位とし、一度のお申し込みで3か月まで利用 可能(※更新可能)

【駐車場位置図】



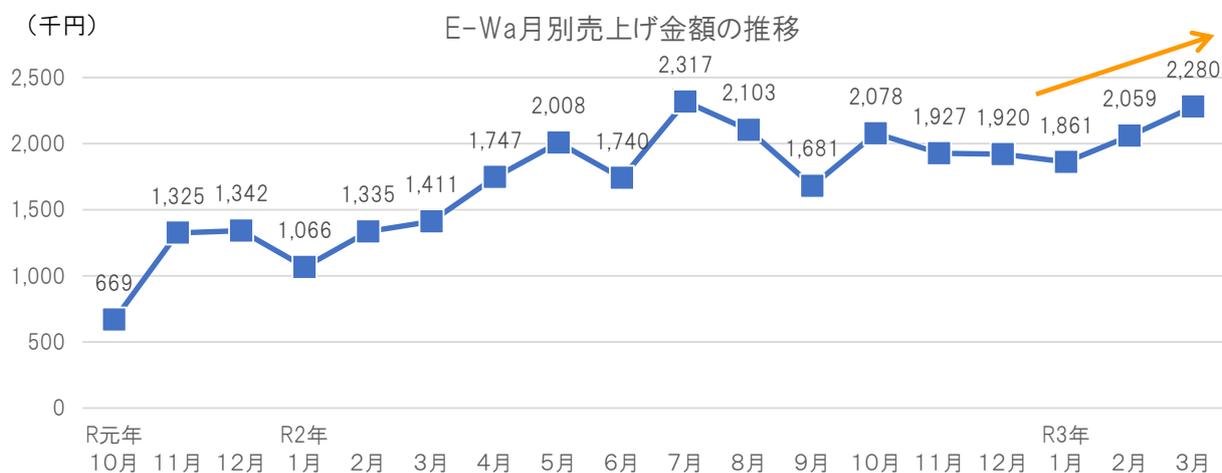
資料:綾川町



⑪ あやがわ移動スーパー E-Wa(イーワ) ※以降、表記をE-Waで統一

- E-Waの利用者は増減があるものの全体的に一定の利用者がおり、増加傾向にある。
- また、月別の売上金額についても増加傾向にある。

概要	綾川町の支援を受けて、綾川町商工会とイオン綾川店が連携して誕生した「移動スーパー」	事業期間	令和元（2019）年10月より
提供サービス	【移動販売サービス】 ○地域の集会所などに移動販売車で伺い、生鮮食品・食料品・日用品などを販売。 ○誰でも利用が可能。 ○販売価格は、イオン綾川店と同じで、イオン綾川店が実施する割引も適用可能。 ○現金のほか、イオンクレジット・電子マネーワオン・綾川町商品券も利用可能。		
	【注文販売サービス】 ○移動販売サービスで取り扱っていない商品についても、移動販売時に注文可能。 ○注文した商品は、次の移動販売時に配達。		
	【見守り支援サービス】 移動スーパーに来なくなったなど、安否の確認が必要と考えられる場合は、販売員が状況確認を行い、町健康福祉課に連絡するなどの見守り支援サービスを実施。		
	【販売日・販売ルート】 月曜～土曜日 10：00～15：40		



資料：買物支援事業実施状況報告

【E-Wa 販売ルート図】



資料:綾川町

## 2-4. 町民ニーズ、関係事業者等の意向把握

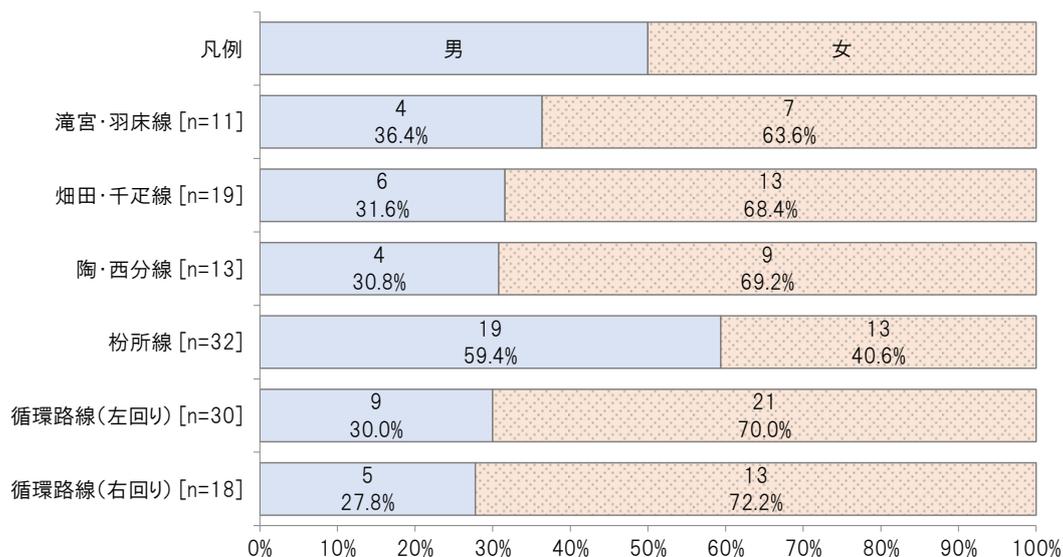
### (1) 町営バス利用実態調査

- ✓ 実施日：令和3（2021）年11月19日（n=154）
- ✓ 調査員がバス車両に乗車し直接ヒアリング、OD調査（始発～終発）
- ✓ ビンゴ形式調査票、全6路線（調査員がOD記入）

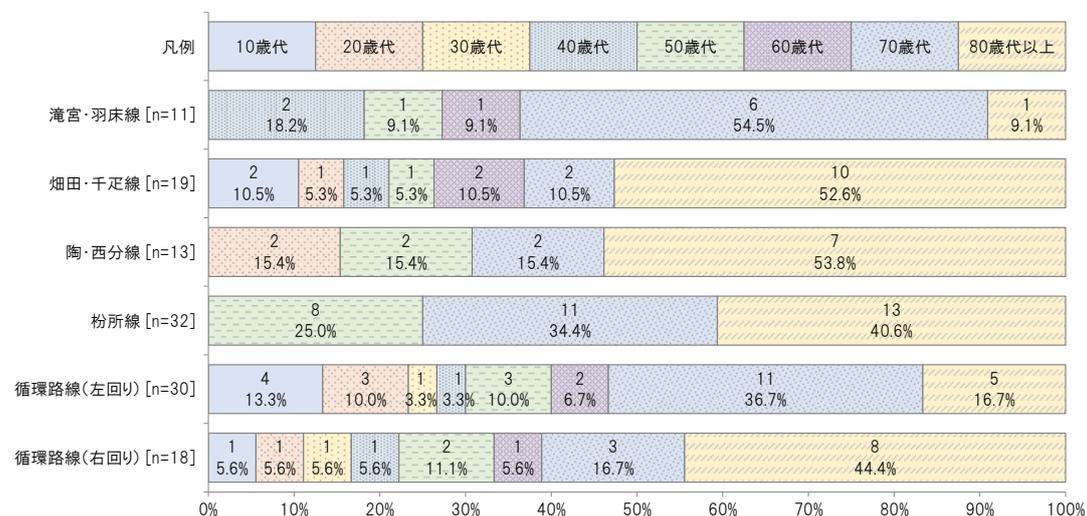
#### ① 調査結果概要

- 性別をみると、粉所線は、男性が59.4%で最も多い。それ以外の路線は女性が多くなっている。
- 年齢をみると、滝宮・羽床線では、40歳代からの利用となっており、70歳代の利用が最も多い。
- 畑田・千疋線は、10歳代からの利用となっており、80歳代以上の利用が最も多い。
- 陶・西分線は、20歳代からの利用となっており、80歳代以上の利用が最も多い。
- 粉所線は、50歳代からの利用となっており、80歳代以上の利用が最も多い。
- 循環路線（左回り）は、10歳代からの利用となっており、70歳代の利用が最も多い。
- 循環路線（右回り）は、10歳代からの利用となっており、80歳代の利用が最も多い。

#### 問 性別

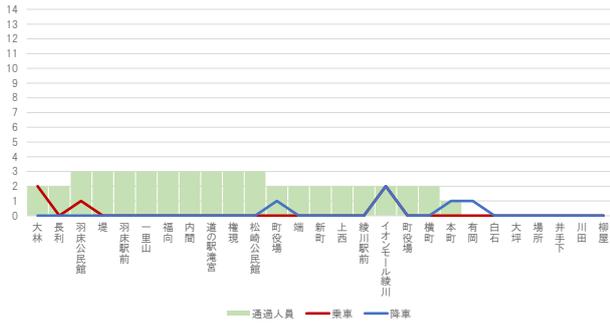


#### 問 年齢

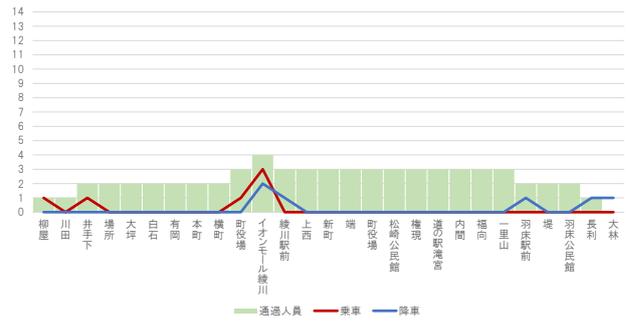


問 乗車・降車バス停

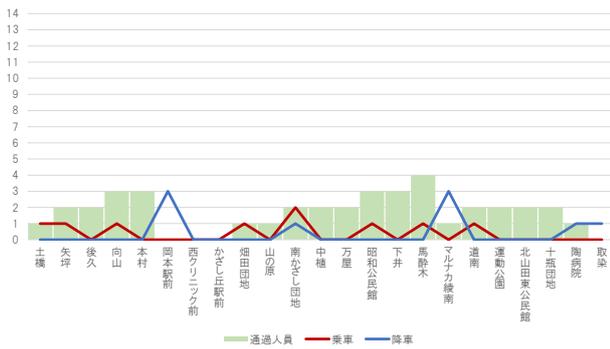
滝宮・羽床線：上り便



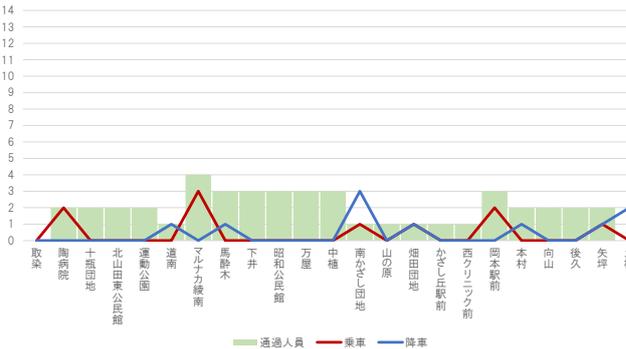
滝宮・羽床線：下り便



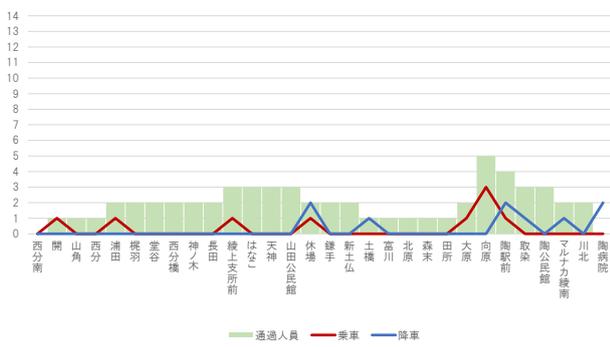
畑田・千疋線：上り便



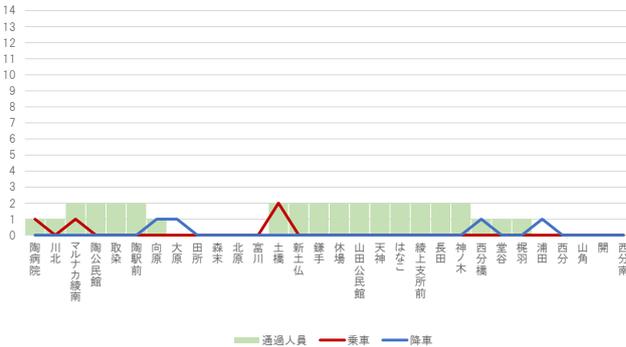
畑田・千疋線：下り便



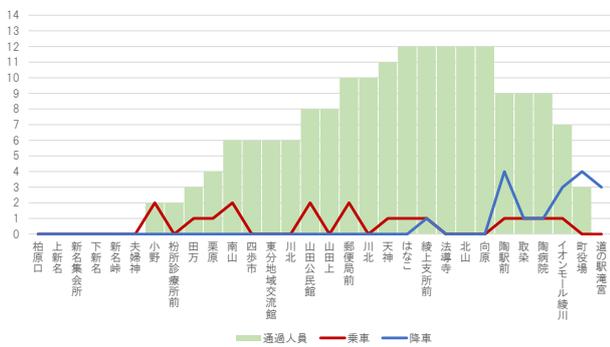
陶・西分線：上り便



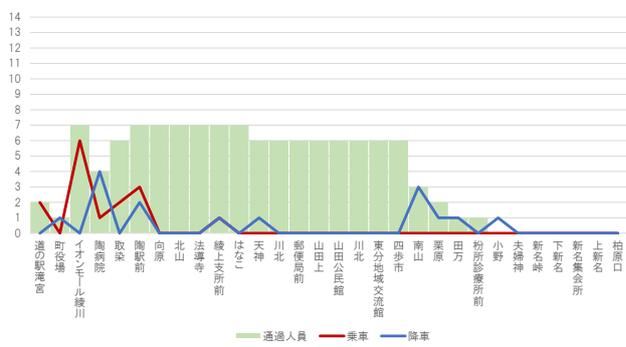
陶・西分線：下り便



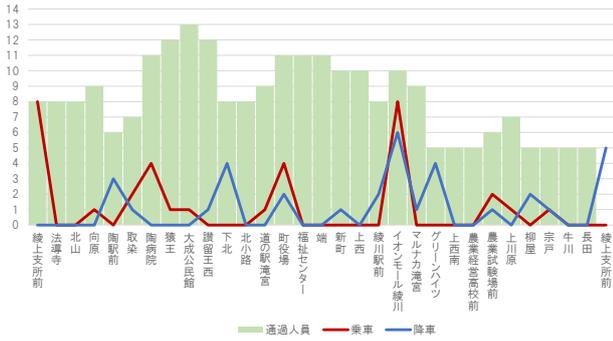
粉所線：上り便



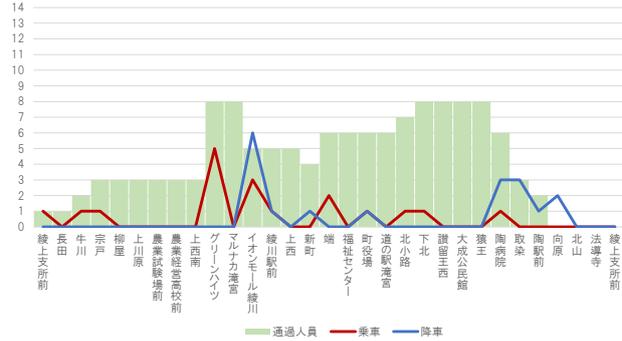
粉所線：下り便



循環路線（左回り）

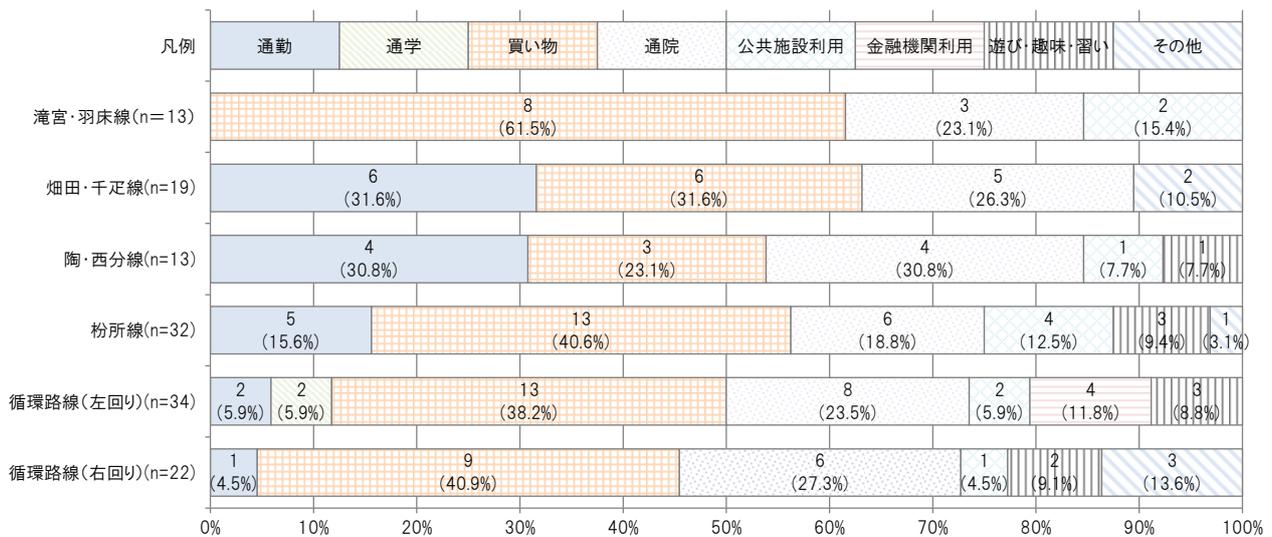


循環路線（右回り）

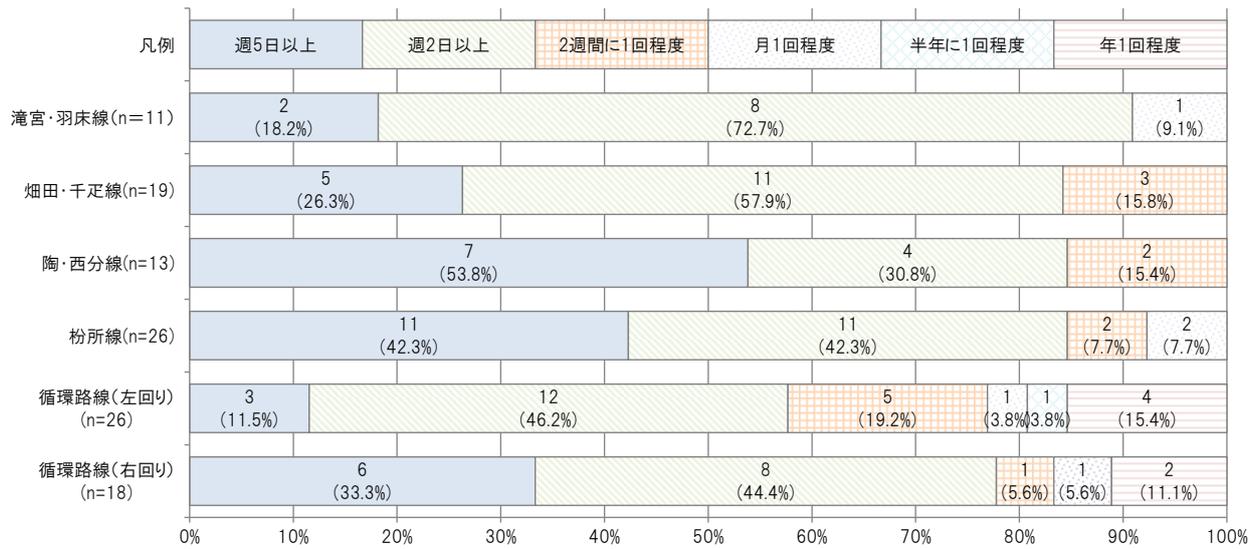


	問 利用目的	問 利用頻度	問 満足度
滝宮・羽床線	買い物が61.5%で最も多い。	週2日以上が72.7%で最も多い。	満足が100%となっている。
畑田・千疋線	通勤と買い物がともに31.6%で最も多い。	週2日以上が57.9%で最も多い。	満足が64.0%で最も多く、やや満足と合わせると、満足度は80.0%となる。
陶・西分線	通勤と通院がともに30.8%で最も多い。	週5日以上が53.8%で最も多い。	満足は92.3%となっている。
粉所線	買い物が40.6%で最も多い。	週2日以上、週5日以上がともに42.3%となっている。	満足が69.2%で最も多く、やや満足と合わせると、満足度は88.4%となる。
循環路線（左回り）	買い物が38.2%で最も多い。	週2日以上が46.2%となっており、最も多い。	満足が61.5%で最も多く、やや満足と合わせると、満足度は96.1%となる。
循環路線（右回り）	買い物が40.9%で最も多い。	週2日以上が44.4%となっており、最も多い。	※無回答

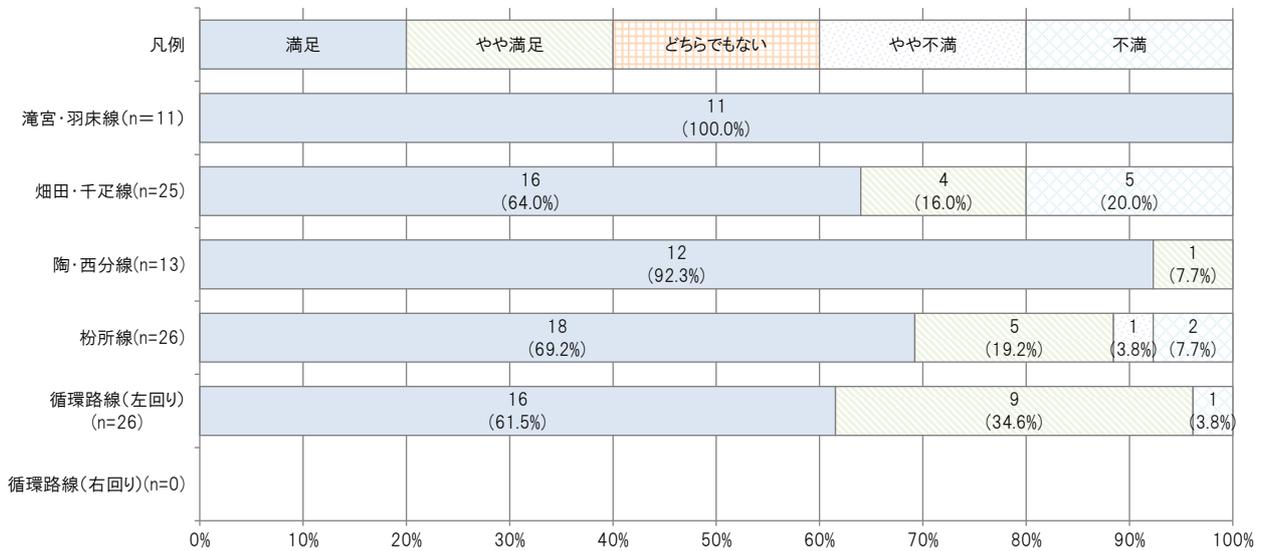
利用目的



## 利用頻度



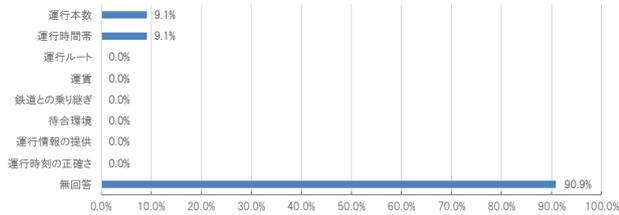
## 満足度



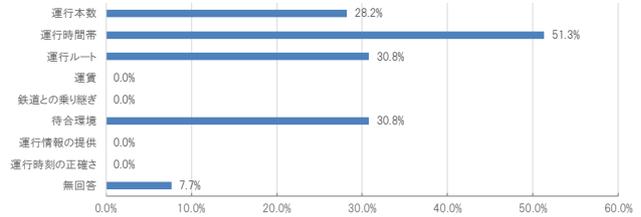
## 問 改善してほしいサービス(複数回答)

- 各線で集計を行った結果、「運行時間帯」は、滝宮・羽床線、畑田・千疋線、陶・西分線、循環路線（右回り）で最も多くなっている。
- 「運行本数」は、循環路線（左回り）、「待合環境」は、粉所線となっている。

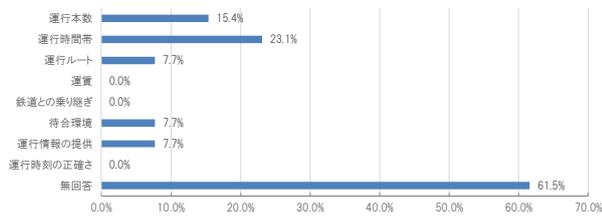
滝宮・羽床線 (n=11)



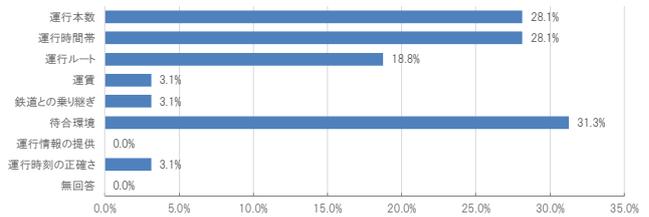
畑田・千疋線 (n=19)



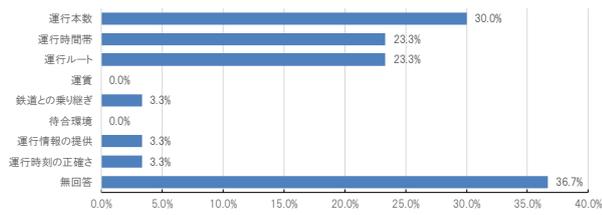
陶・西分線 (n=13)



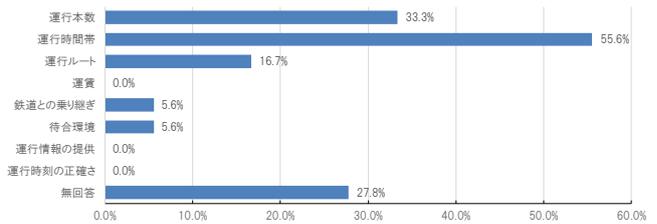
粉所線 (n=32)



循環路線（左回り）(n=30)



循環路線（右回り）(n=18)

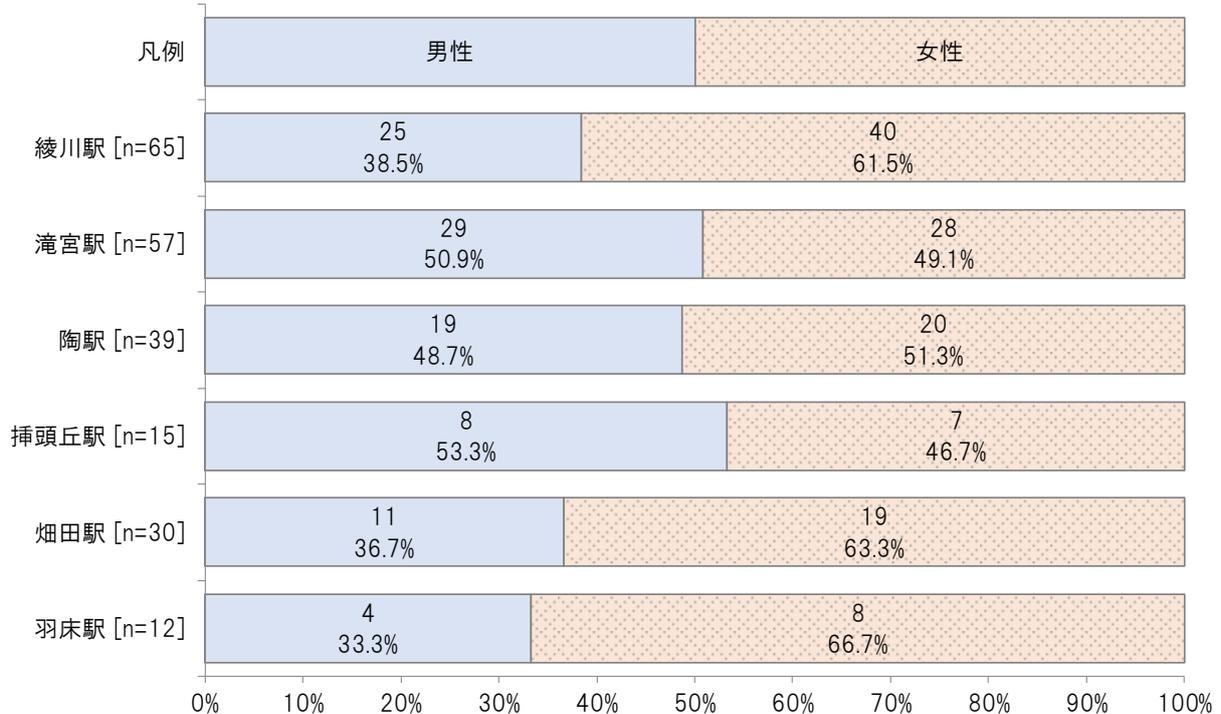


## (2) 鉄道利用者

- ✓ 実施日：令和3（2021）年11月19日（n=218）
- ✓ 鉄道（羽床駅、滝宮駅、綾川駅、陶駅、畑田駅、挿頭丘駅）調査
- ✓ 鉄道利用者に対して、調査員がヒアリング、調査票を渡し対象者本人が自筆で記入
- ✓ 基本的に改札口にて実施

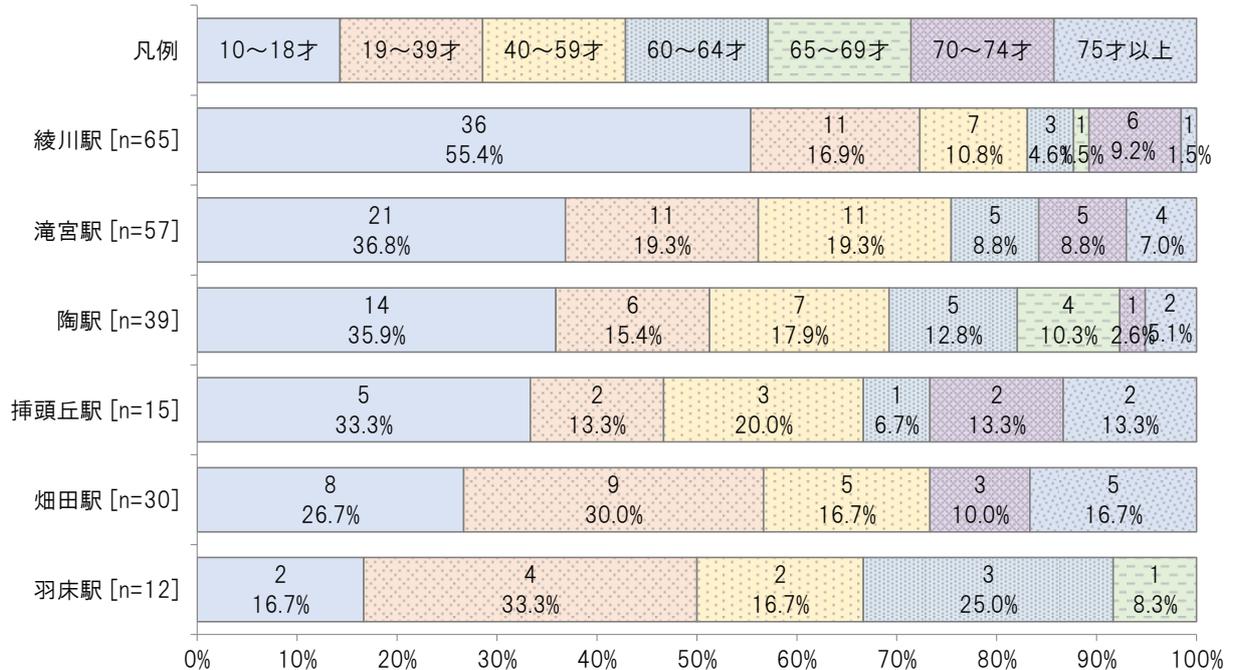
### 問 性別

- 男性は、滝宮駅、挿頭丘駅が多く、女性はそれ以外の駅で多くなっている。



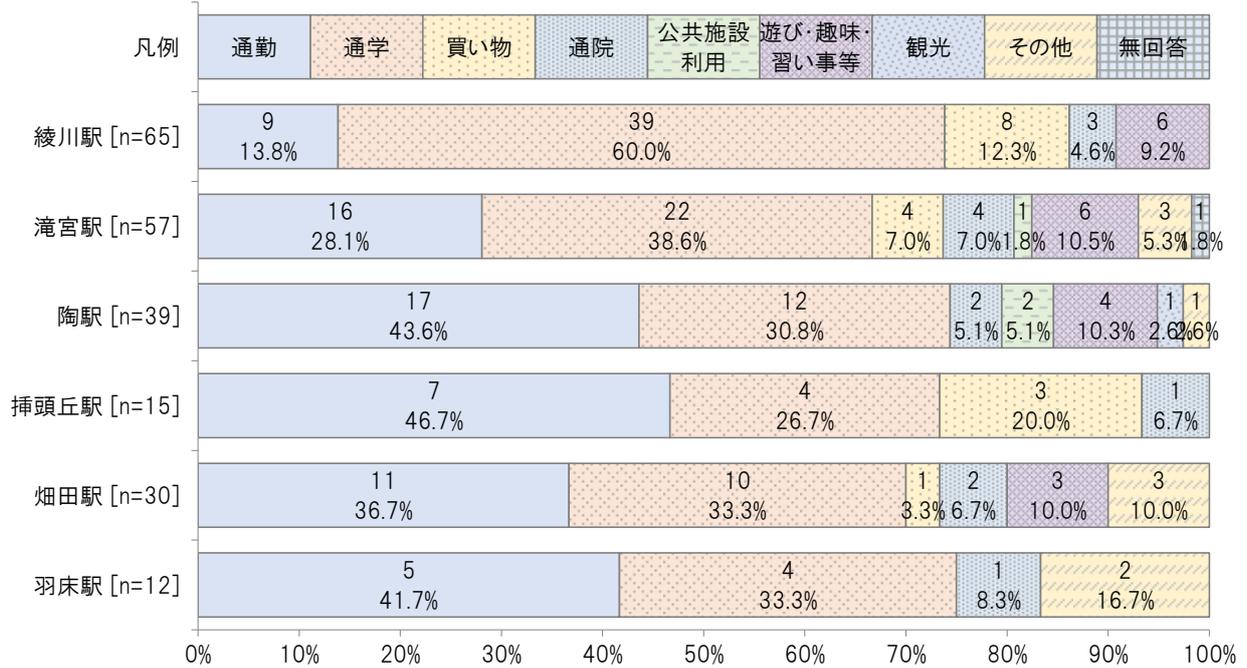
### 問 年齢

- 全路線の中で綾川駅は、10～18才が55.4%で最も多い。



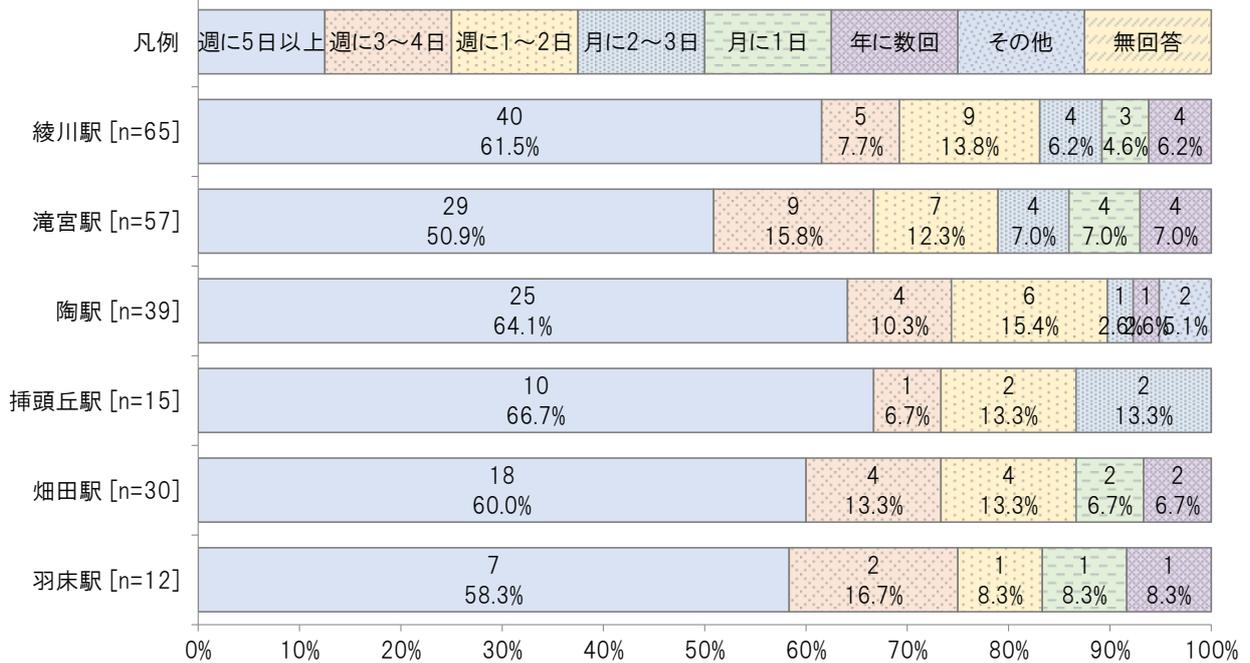
## 問 鉄道を利用している目的

- 通勤・通学が主となっている。



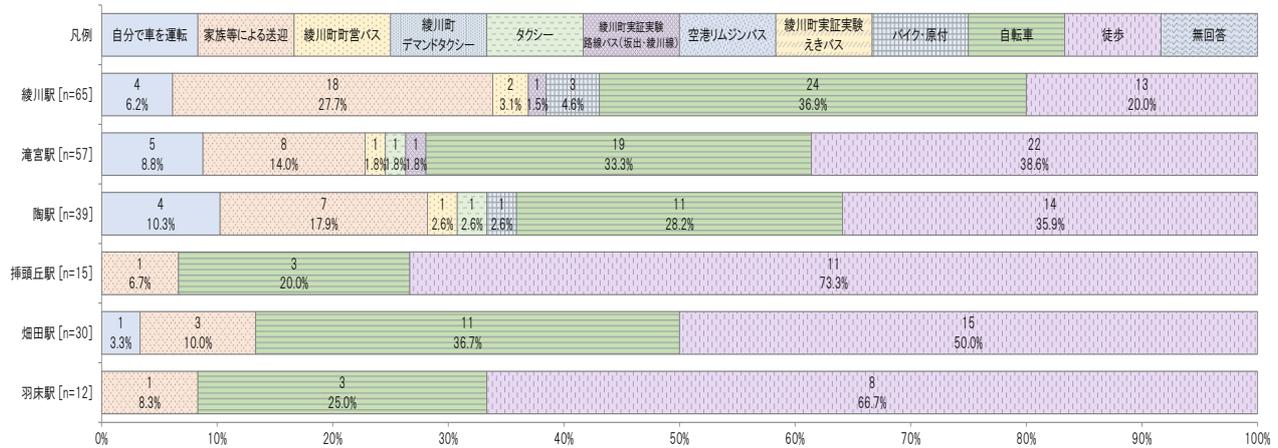
## 問 鉄道を利用される頻度

- 目的が通勤・通学であることから、「週に5日以上」が最も多い。



## 問 鉄道駅までの交通手段

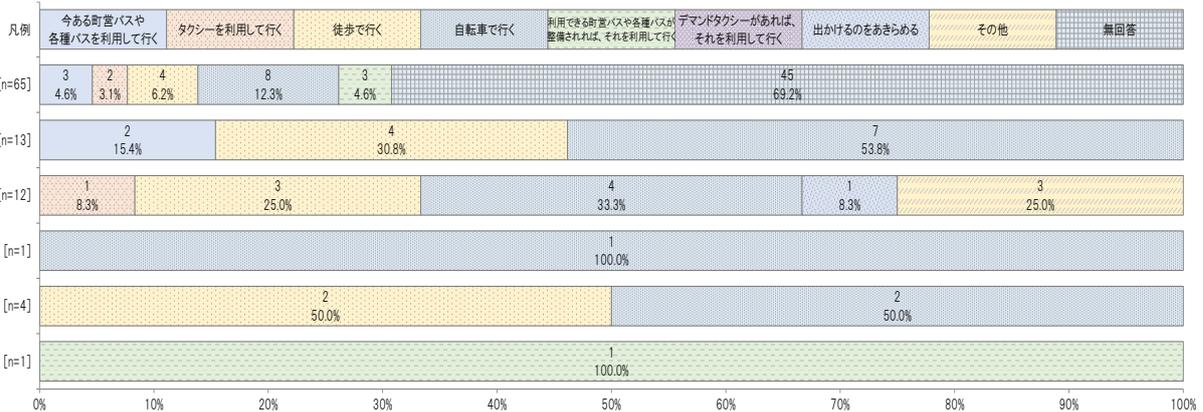
- 駅までの交通手段として、「徒歩」「自転車」「家族等による送迎」が高く、公共交通等の利用は少ない傾向にある。



## 鉄道駅まで自動車（送迎含む）やバイク、原付で行かれた方 対象

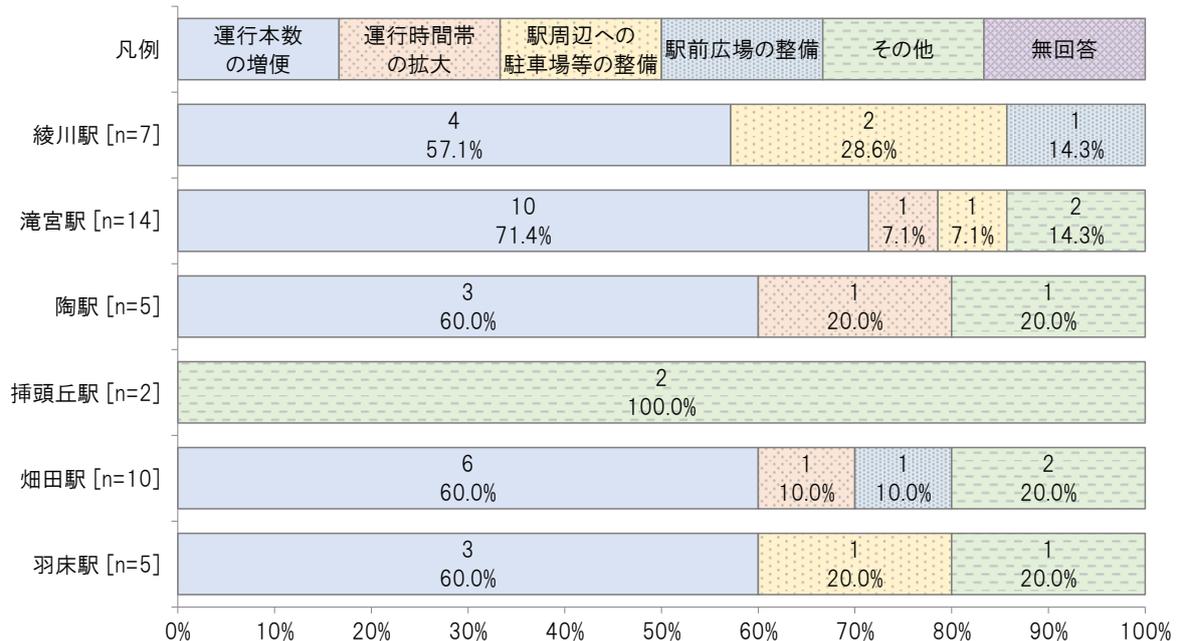
### 問 今後それらの交通手段が使えなくなったとしたら、どのように鉄道駅まで行きますか。

- 「自転車で行く」が全体的に多くなっている。



## 問 鉄道の運行内容や駅的环境等についての要望

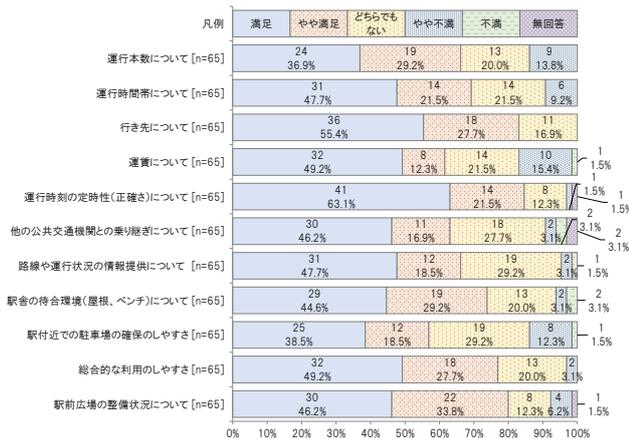
- 「運行本数の増便」が最も多くなっている。



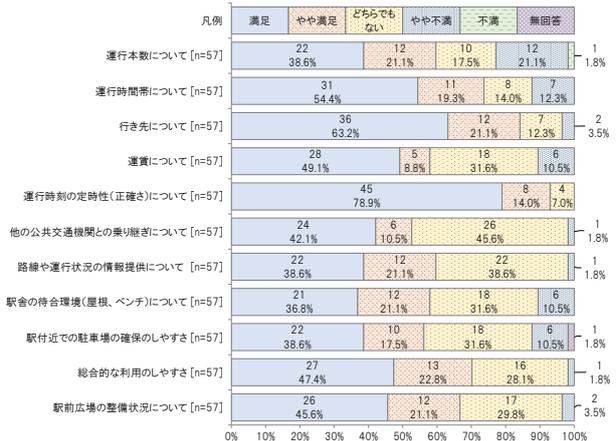
## 問 鉄道に関する項目の満足度

- 綾川駅は、「運転時刻の定時制（正確さ）」についての満足度（満足+やや満足）が 84.6%と最も高くなっている。一方で不満度（不満+やや不満）は「運賃について」が 16.9%となっている。
- 滝宮駅は、「行き先について」の満足度が 84.2%と最も高くなっている。一方で、「運行本数について」の不満度は 22.8%となっている。
- 陶駅は、「運行時刻の定時性（正確さ）」について」の満足度が 88.9%と最も高くなっている。一方で、「駅舎の待合環境（屋根、ベンチ）について」「駅付近での駐車場の確保のしやすさ」の不満度は 14.8%となっている。
- 挿頭丘駅は、「運転時刻の定時制（正確さ）」、「行き先」、「路線や運行状況の情報提供について」の満足度が 80.0%と最も高くなっている。一方で、「他の公共交通機関との乗り継ぎについて」の不満度は 33.3%となっている。
- 畑田駅は、「運行時刻の定時性（正確さ）」について」の満足度が 70.0%と最も高くなっている。一方で、「駅前広場の整備状況について」の不満度は 23.3%となっている。
- 羽床駅は、「運行時刻の定時性（正確さ）」について」の満足度が 75.0%と最も高くなっている。一方で、「運行本数について」「運行時間帯について」「駅付近での駐車場の確保のしやすさ」の不満度は 25.0%となっている。

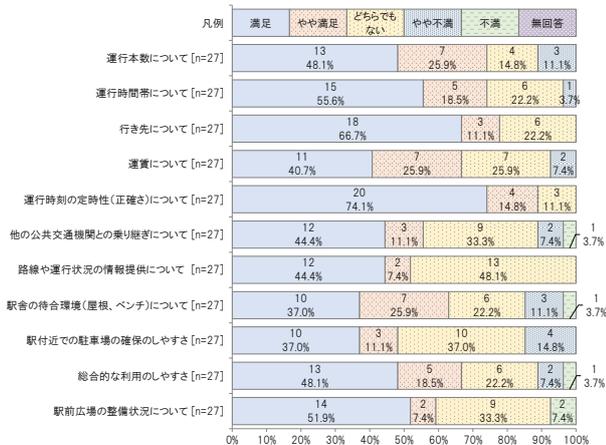
綾川駅



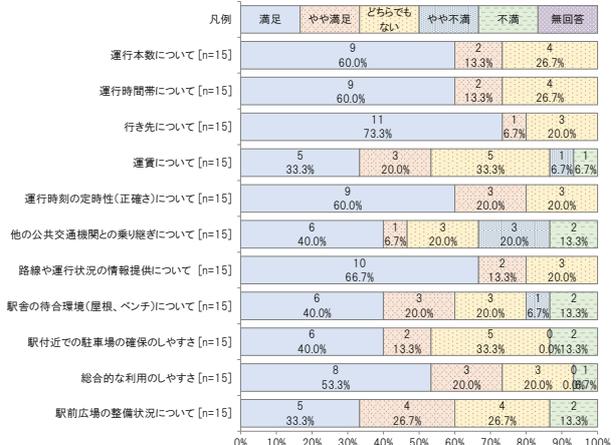
滝宮駅



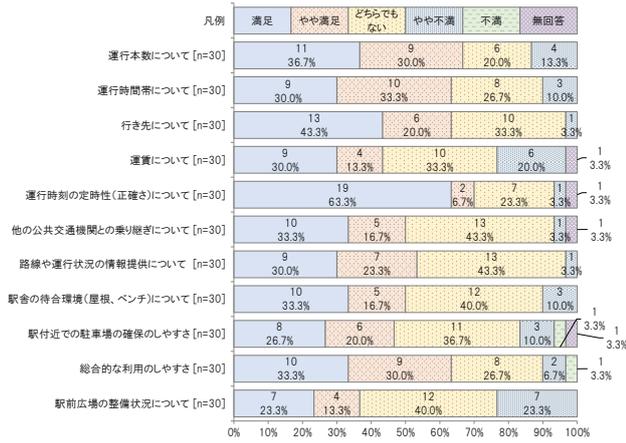
陶駅



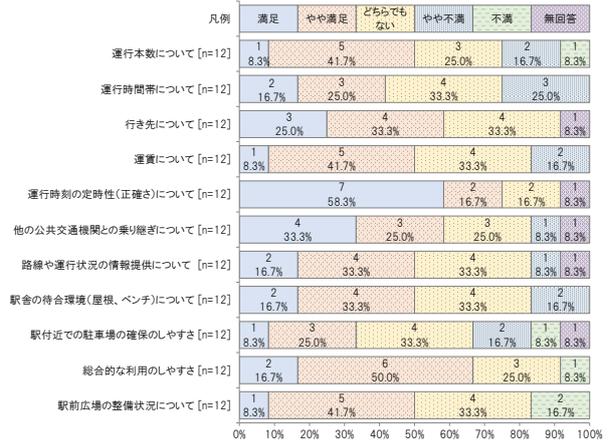
挿頭丘駅



## 畑田駅



## 羽床駅

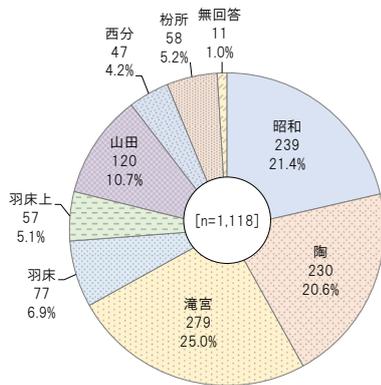


### (3) 町民アンケート (抜粋)

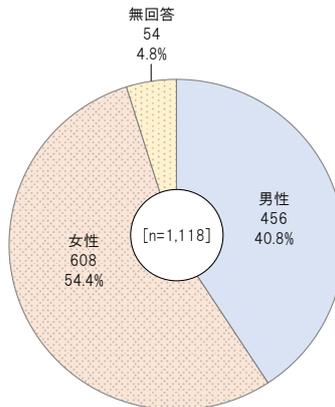
対象者	町内に住む高校生以上の町民から、地区別・年齢別に無作為抽出
実施期間	令和3(2021)年8月31日～令和3(2021)年9月17日(×切日)
配布数・回収率	配布2,084通、回収数1,109通(10月2日時点)、回収率53.2%

#### 問1 あなたご自身のことについてお聞きします。

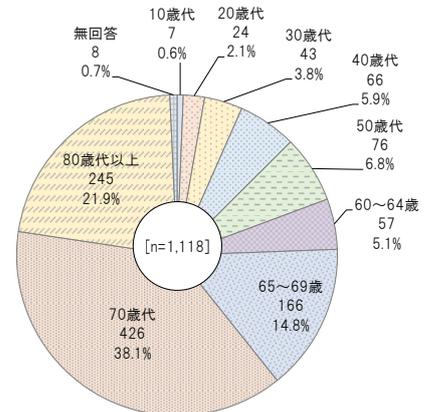
(1) お住まい(旧小学校区)



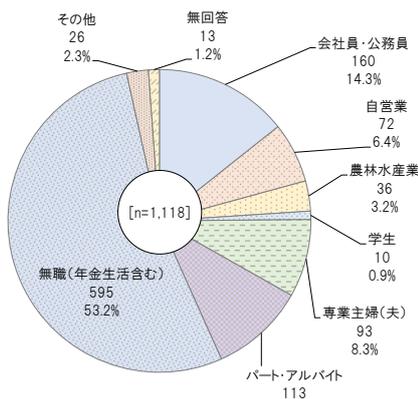
(2) 性別



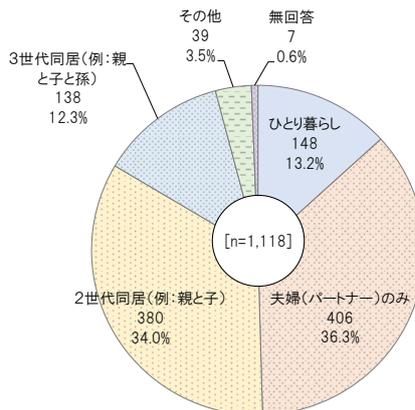
(3) 年齢



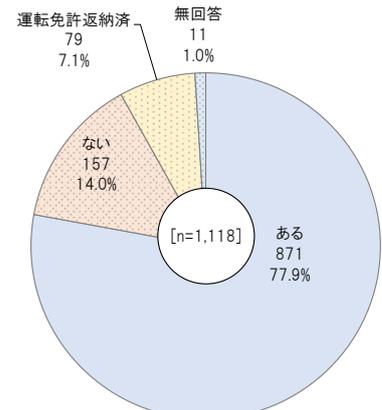
(4) 職業



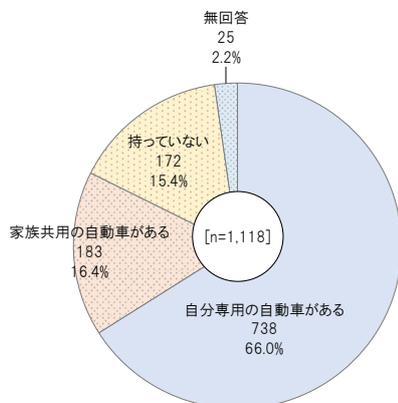
(5) 家族構成



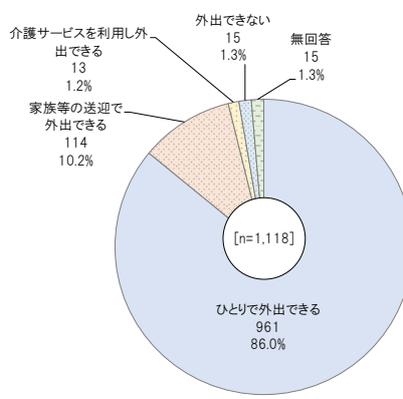
(6) 自動車運転免許



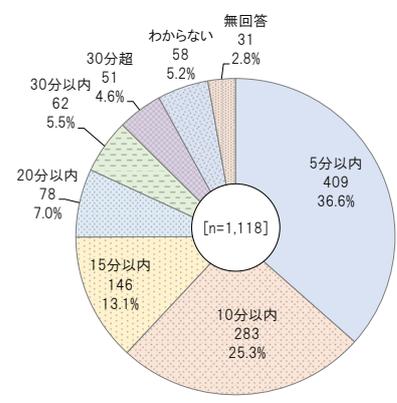
(7) 自動車の所有状況



(8) 外出について

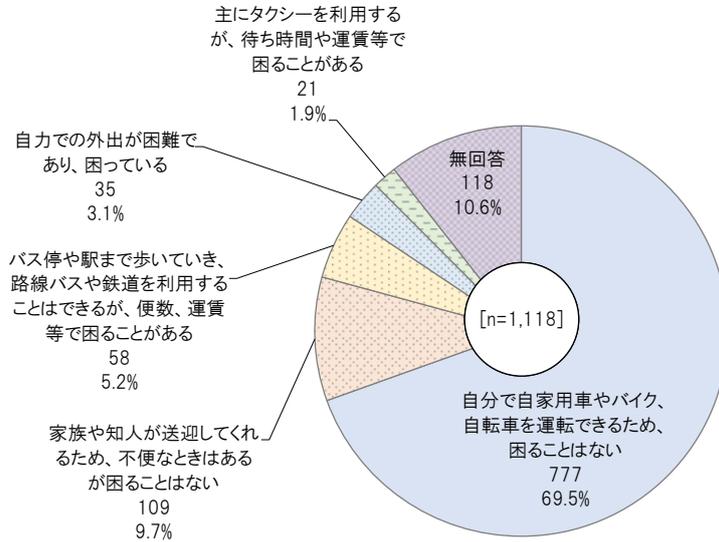


(9) 最寄りのバス停又は駅までの徒歩での所要時間

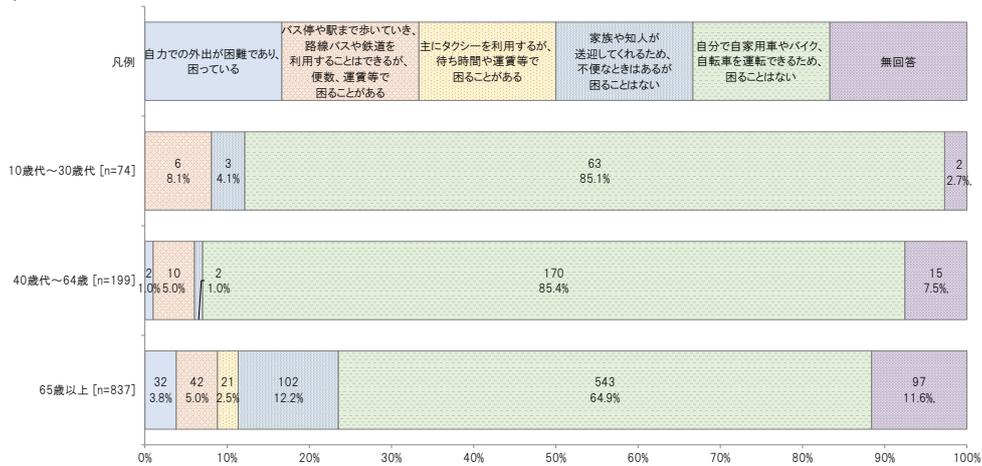


### 問3 普段、外出する時に交通手段がなくて困ることがありますか。(単数回答)

- 「自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない(69.5%)」が半数以上を占めている。
- 10歳代~30歳代、40歳代~64歳、65歳以上共通して、「自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない」が最も多くなっている。
- 地区別の意向は、全体の集計結果と同様の結果となっている。



#### (年齢別クロス)



#### (地区別クロス)

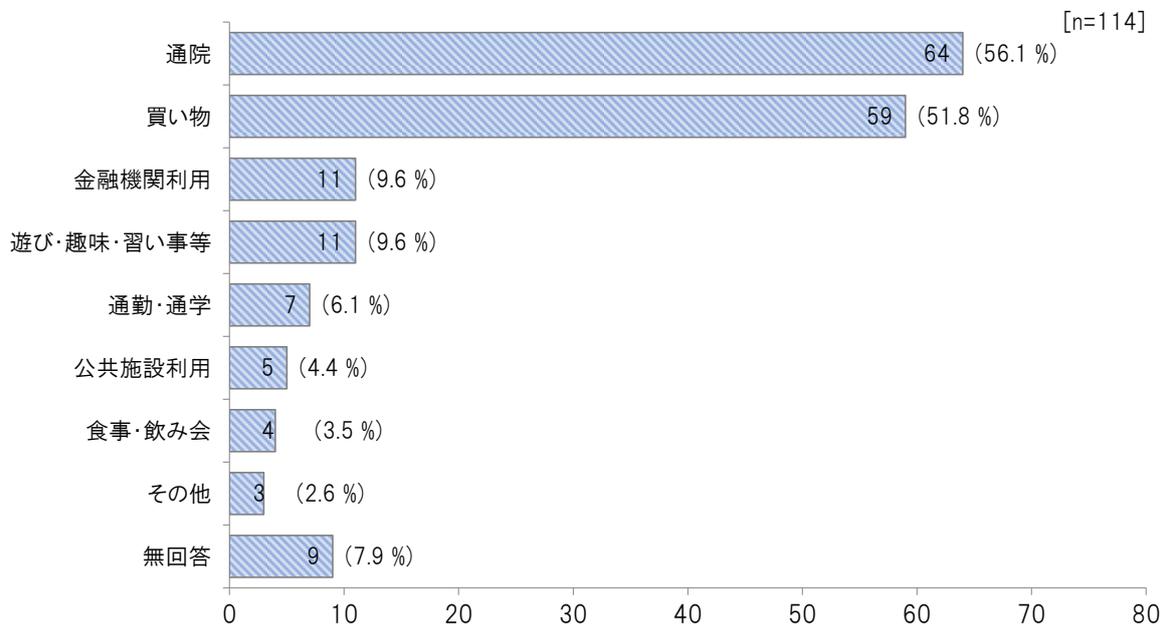
	合計	自力での外出が困難であり、困っている	バス停や駅まで歩いていき、路線バスや鉄道を利用することはできるが、便数、運賃等で困ることがある	主にタクシーを利用するが、待ち時間や運賃等で困ることがある	家族や知人が送迎してくれるため、不便なときはあるが困ることはない	自分で自家用車やバイク、自転車を運転できるため、困ることはない	無回答
全体	1,107	35	57	21	109	772	113
	100.0%	3.2%	5.1%	1.9%	9.8%	69.7%	10.2%
昭和	239	7	20	2	19	162	29
	100.0%	2.9%	8.4%	0.8%	7.9%	67.8%	12.1%
陶	230	6	5	6	25	175	13
	100.0%	2.6%	2.2%	2.6%	10.9%	76.1%	5.7%
滝宮	279	13	15	8	24	184	35
	100.0%	4.7%	5.4%	2.9%	8.6%	65.9%	12.5%
羽床	77	2	3	2	12	50	8
	100.0%	2.6%	3.9%	2.6%	15.6%	64.9%	10.4%
羽床上	57	2	1	0	6	43	5
	100.0%	3.5%	1.8%	0.0%	10.5%	75.4%	8.8%
山田	120	2	10	3	11	78	16
	100.0%	1.7%	8.3%	2.5%	9.2%	65.0%	13.3%
西分	47	1	1	0	6	34	5
	100.0%	2.1%	2.1%	0.0%	12.8%	72.3%	10.6%
粉所	58	2	2	0	6	46	2
	100.0%	3.4%	3.4%	0.0%	10.3%	79.3%	3.4%

1位 2位 3位

問4 問3で「自力での外出～」、「バス停や駅まで～」、「主にタクシー～」に○を付けた方にお聞きします。

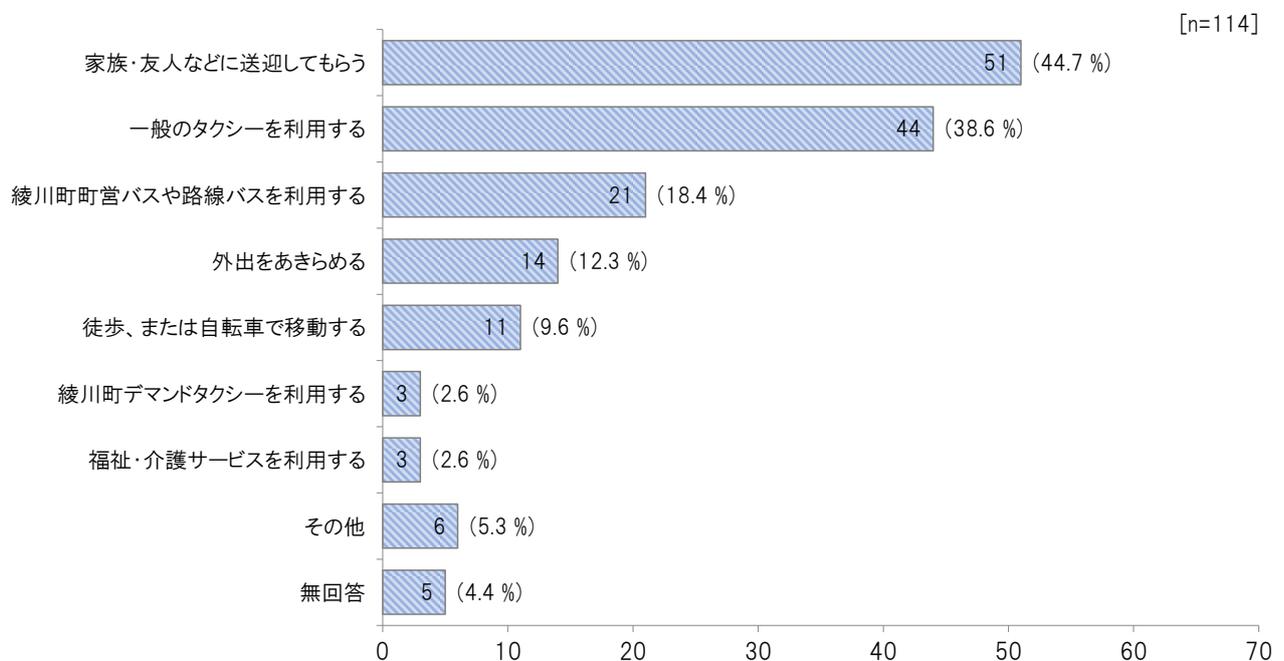
(1) どのような目的で外出する時に困ることが多いですか。(複数回答)

- 「通院 (56.1%)」が最も多く、次いで「買い物 (51.8%)」「金融機関利用 (9.6%)」「遊び・趣味・習い事等 (9.6%)」となっている。



(2) 困る時には、どのようにされていますか。(複数回答)

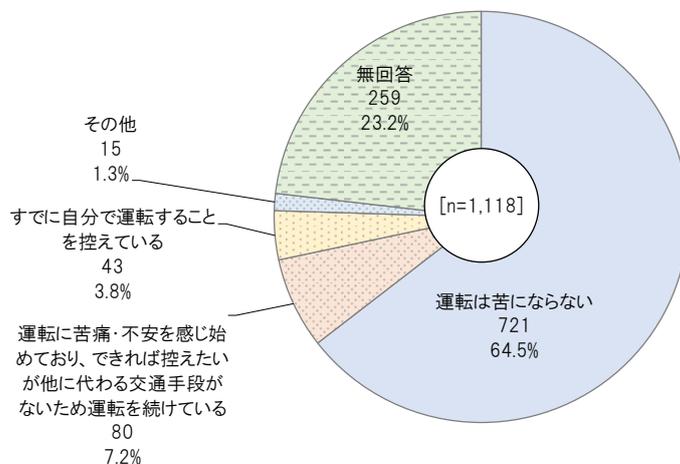
- 「家族・友人などに送迎してもらう (44.7%)」が最も多く、次いで「一般のタクシーを利用する (38.6%)」「綾川町町営バスや路線バスを利用する (18.4%)」となっている。



問5 自動車運転免許をお持ちの方にお聞きします。

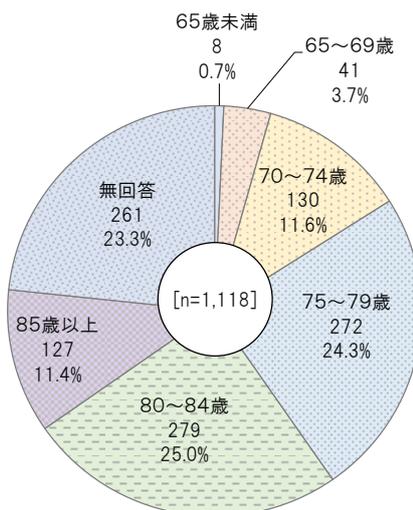
(1) 運転について、どのようにお考えかお答えください。(単数回答)

- 「運転は苦にならない (64.5%)」が半数以上を占める。



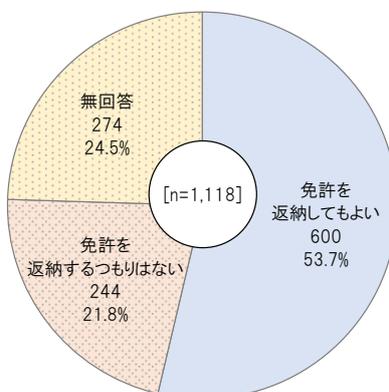
(2) 何歳まで運転を続けたいと思われますか。(単数回答)

- 「80~84歳 (25.0%)」が最も多く、次いで「75~79歳 (24.3%)」となっている。



(3) 運転免許の返納について、将来的にどのようにお考えかお答えください。(単数回答)

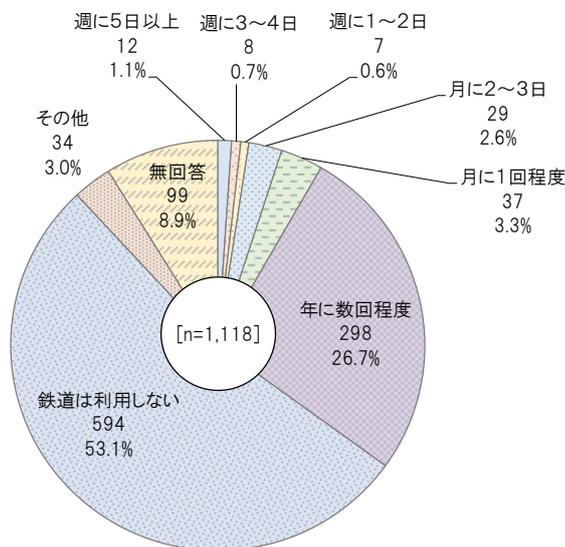
- 「免許を返納してもよい」が53.7%と半数を占める。



問6 「鉄道（ことでん・JR）」についてお聞きします。

(1) あなたは、どのくらいの頻度で鉄道を利用されますか。(単数回答)

- 「鉄道は利用しない(53.1%)」が最も多く、鉄道を利用する人は「年に数回程度(26.7%)」の利用が最も多い。
- 週単位で利用している人は滝宮地区が最も多く、月単位では、昭和地区が最も多い。



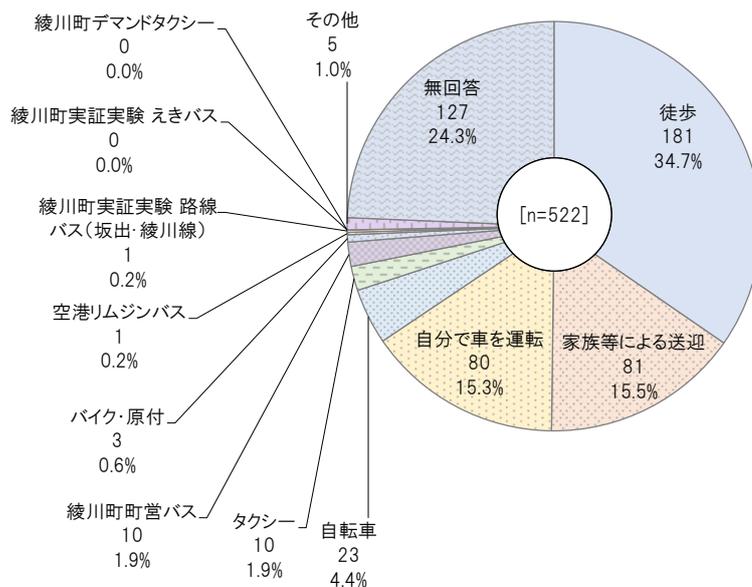
(地区別クロス)

	合計	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	月に1回程度	年に数回程度	鉄道は利用しない	その他	無回答
全体	1,107	12	8	7	29	37	297	590	34	93
	100.0%	1.1%	0.7%	0.6%	2.6%	3.3%	26.8%	53.3%	3.1%	8.4%
昭和	239	3	2	2	15	10	66	107	10	24
	100.0%	1.3%	0.8%	0.8%	6.3%	4.2%	27.6%	44.8%	4.2%	10.0%
陶	230	1	5	0	3	8	66	128	6	13
	100.0%	0.4%	2.2%	0.0%	1.3%	3.5%	28.7%	55.7%	2.6%	5.7%
滝宮	279	4	1	4	8	11	80	147	8	16
	100.0%	1.4%	0.4%	1.4%	2.9%	3.9%	28.7%	52.7%	2.9%	5.7%
羽床	77	1	0	0	1	3	16	42	6	8
	100.0%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	3.9%	20.8%	54.5%	7.8%	10.4%
羽床上	57	1	0	0	0	1	15	32	2	6
	100.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	26.3%	56.1%	3.5%	10.5%
山田	120	1	0	1	1	1	28	75	2	11
	100.0%	0.8%	0.0%	0.8%	0.8%	0.8%	23.3%	62.5%	1.7%	9.2%
西分	47	0	0	0	0	3	13	22	0	9
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%	27.7%	46.8%	0.0%	19.1%
粉所	58	1	0	0	1	0	13	37	0	6
	100.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	22.4%	63.8%	0.0%	10.3%

1位	2位	3位
----	----	----

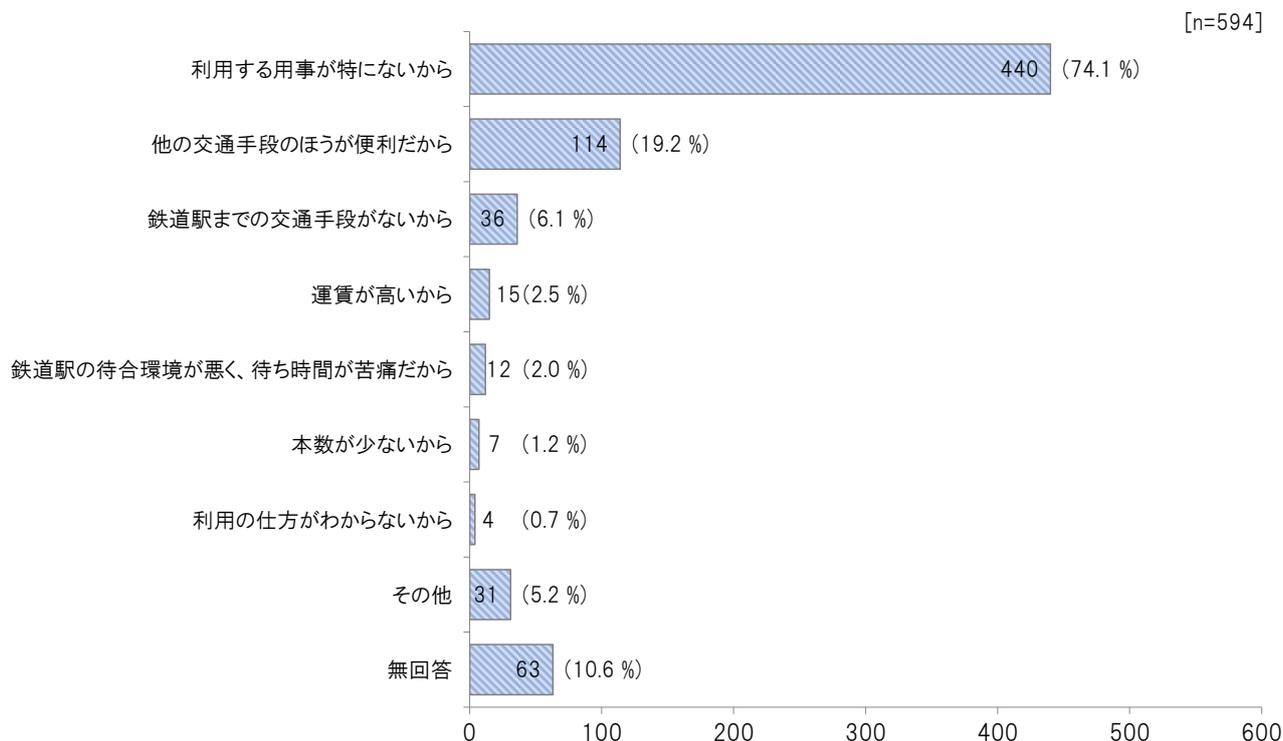
(3) 鉄道駅に行くまでに利用する主な交通手段を教えてください。

- 「徒歩(34.7%)」が最も多く、「家族等による送迎(15.5%)」
- 「自分で車を運転(15.3%)」となっている。



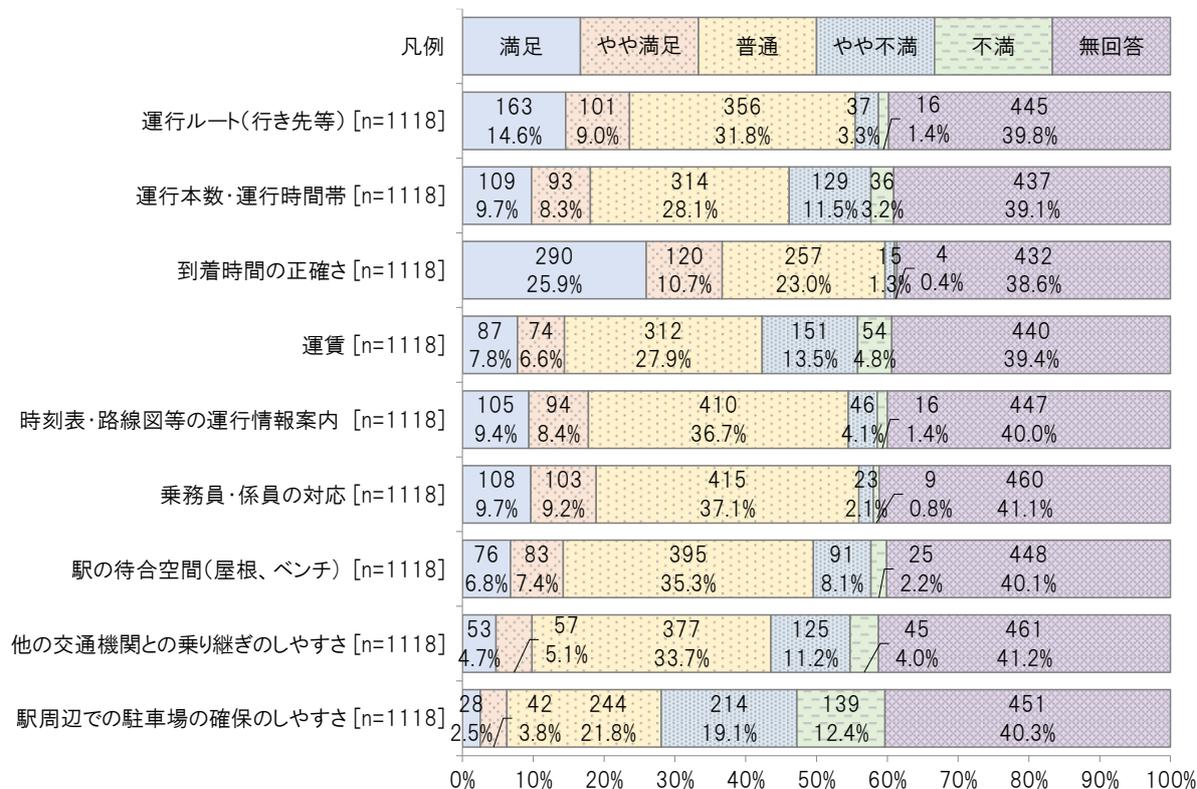
(4) 鉄道を利用しない方(問6(1)に「鉄道は利用しない」とお答えされた方)にお聞きします。鉄道をご利用されていない理由は何ですか。(複数回答)

- 「利用する用事が特にないから(74.1%)」が最も多く、次いで「他の交通手段のほうが便利だから(19.2%)」「鉄道駅までの交通手段がないから(6.1%)」となっている。



(5) 鉄道の運行サービスについて、それぞれどの程度満足されていますか。鉄道を利用されない方もわかる範囲でお答えください。(全ての項目について単数回答)

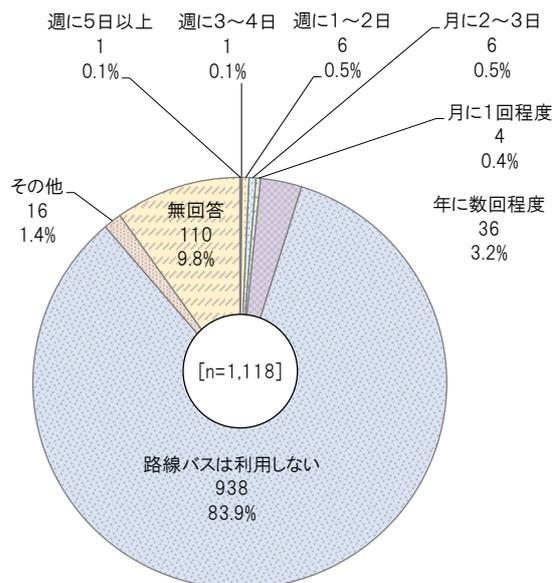
- 満足度（満足+やや満足）が高い項目は「到着時間の正確さ（36.6%）」となっている。
- 不満度（不満+やや不満）が高い項目は「駅周辺での駐車場の確保のしやすさ（31.5%）」となっている。



### 問7 「綾川町実証実験 路線バス（坂出・綾川線）」についてお聞きします。

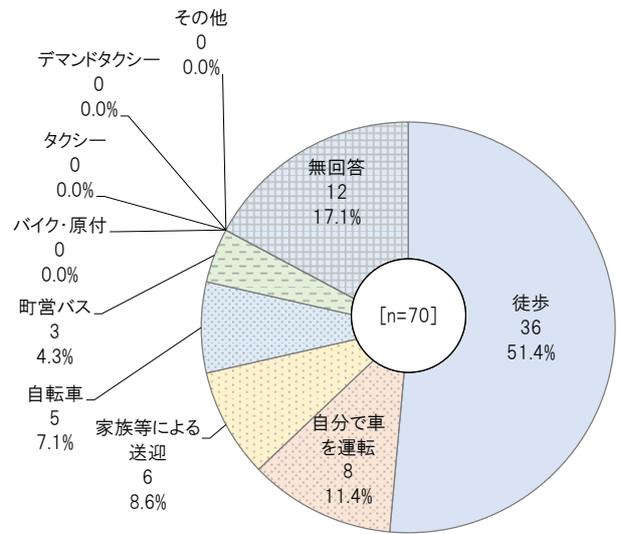
(1) あなたは、どのくらいの頻度で路線バスを利用されますか。(単数回答)

- 「路線バスは利用しない(83.9%)」が最も多い。
- 一方で利用する人の頻度は「年に数回程度(3.2%)」が最も多く、次いで「週に1~2日(0.5%)」「月に2~3回(0.5%)」となっている。
- 年齢別でも、ほぼ路線バスはされていない。

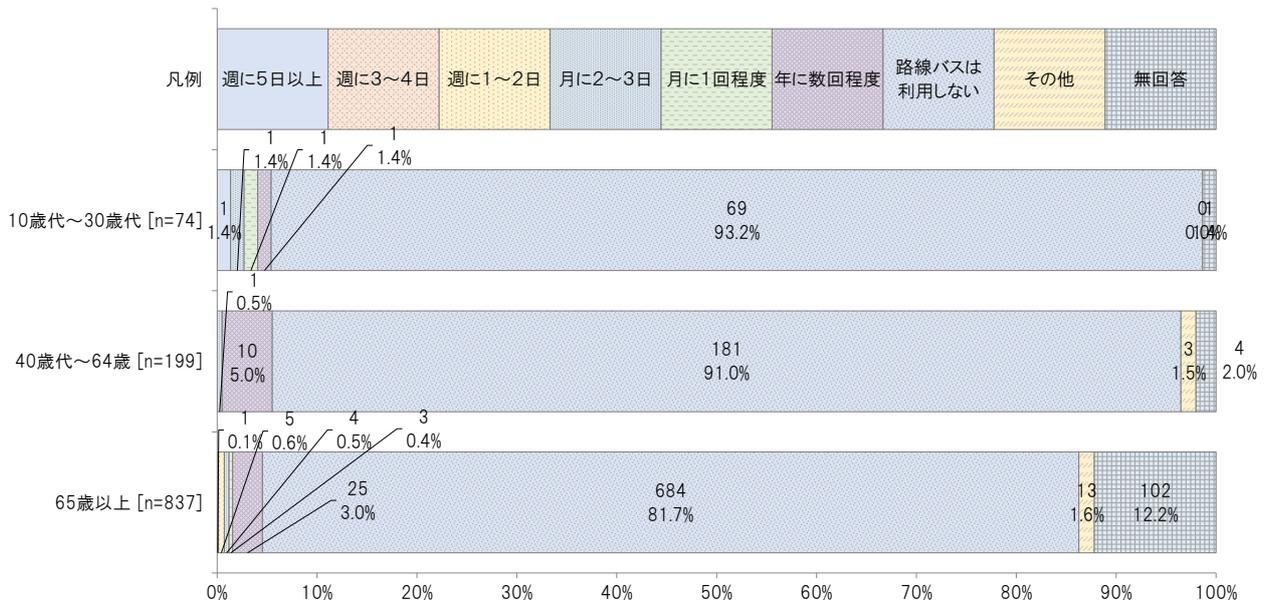


(3) バス停に行くまでに利用する主な交通手段を教えてください。(単数回答)

- 「徒歩 (51.4%)」が最も多く、次いで「自分で車を運転 (11.4%)」「家族等による送迎 (8.6%)」となっている。



(年齢別クロス)



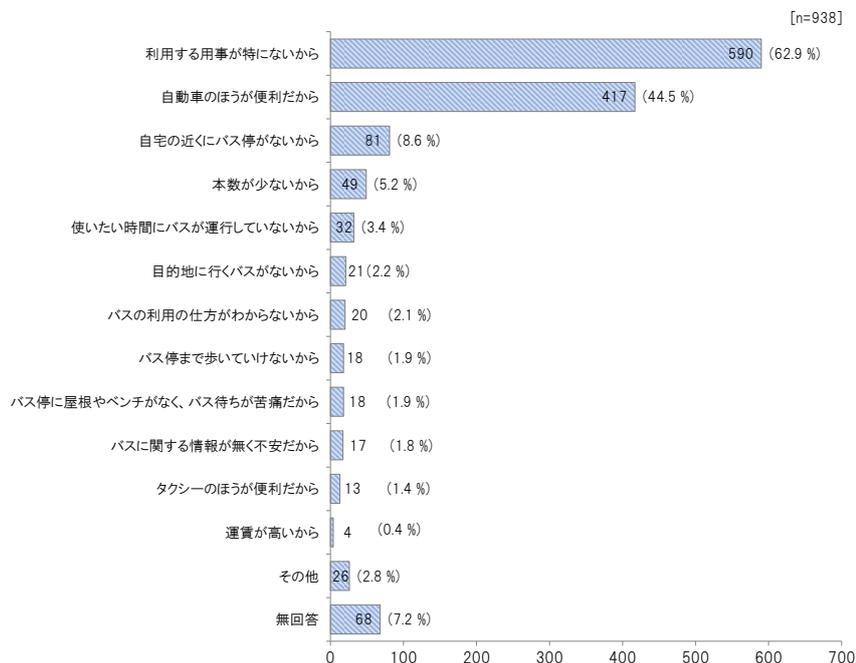
(地区別クロス)

	合計	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	月に1回程度	年に数回程度	路線バスは利用しない	その他	無回答
全体	1,107	1	1	6	6	4	36	933	16	104
	100.0%	0.1%	0.1%	0.5%	0.5%	0.4%	3.3%	84.3%	1.4%	9.4%
昭和	239	0	1	2	0	0	11	195	3	27
	100.0%	0.0%	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	4.6%	81.6%	1.3%	11.3%
陶	230	0	0	1	0	0	3	203	2	21
	100.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	1.3%	88.3%	0.9%	9.1%
滝宮	279	0	0	3	2	2	11	238	9	14
	100.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.7%	0.7%	3.9%	85.3%	3.2%	5.0%
羽床	77	0	0	0	0	0	5	62	0	10
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	80.5%	0.0%	13.0%
羽床上	57	0	0	0	1	0	2	48	2	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	3.5%	84.2%	3.5%	7.0%
山田	120	0	0	0	3	2	2	101	0	12
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	1.7%	1.7%	84.2%	0.0%	10.0%
西分	47	0	0	0	0	0	0	39	0	8
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.0%	0.0%	17.0%
粉所	58	1	0	0	0	0	2	47	0	8
	100.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	81.0%	0.0%	13.8%

1位 2位 3位

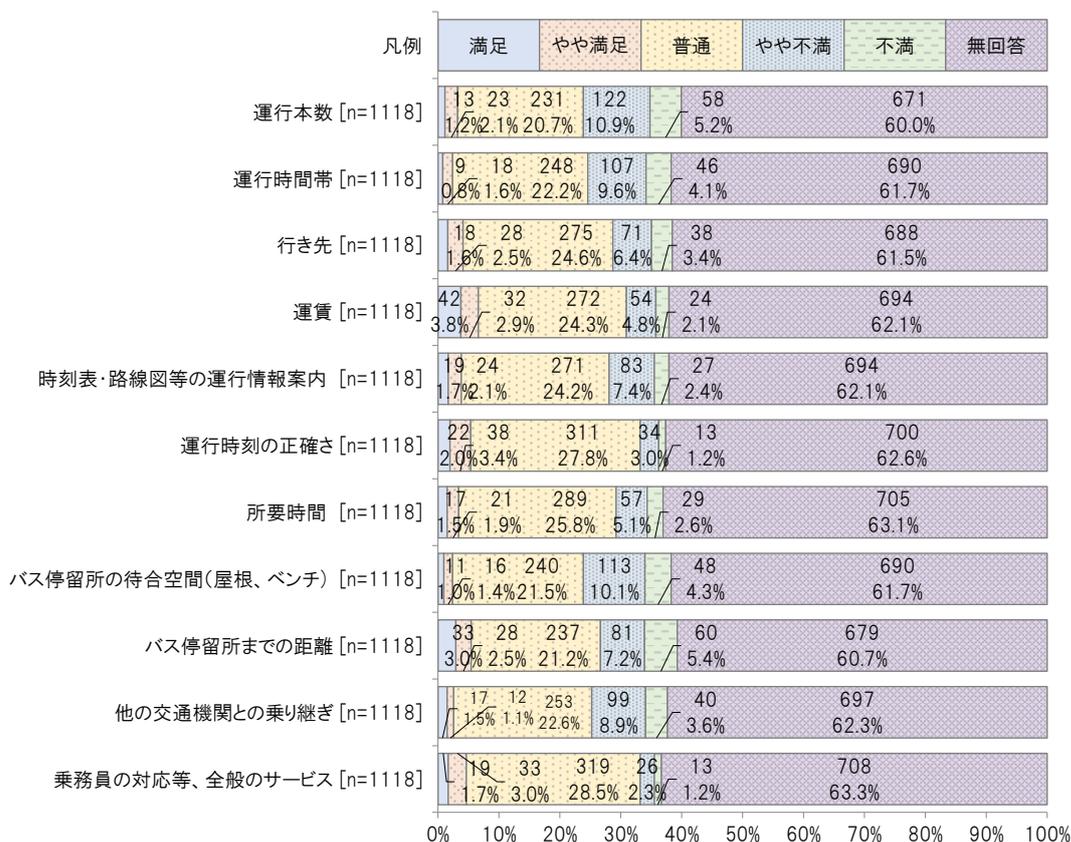
(4) 綾川町実証実験 路線バス（坂出・綾川線）を利用しない方（問7（1）に「路線バスは利用しない」とお答えされた方）にお聞きします。路線バスをご利用されていない理由は何ですか。（複数回答）

- 「利用する用事が特になから（62.9%）」が最も多く、次いで「自動車のほうが便利だから（44.5%）」「自宅の近くにバス停がないから（8.6%）」となっている。



(5) 綾川町実証実験 路線バス（坂出・綾川線）の運行サービスについて、それぞれどの程度満足されていますか。利用されない方もわかる範囲でお答えください。（全ての項目について単数回答）

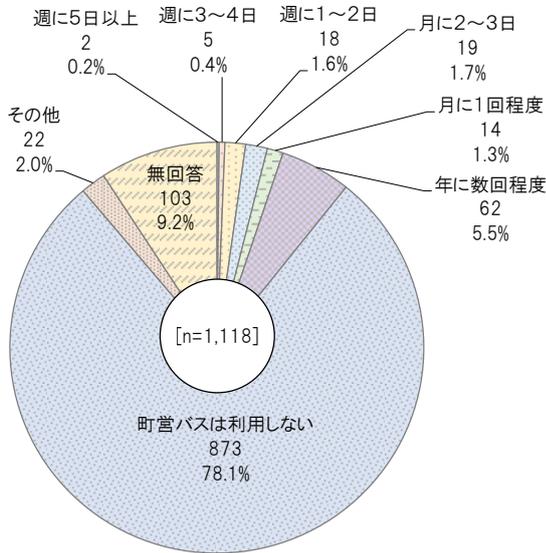
- 満足度（満足+やや満足）が最も高い項目は「運賃（6.7%）」となっている。
- 不満度（不満+やや不満）が最も高い項目は「運行本数（16.1%）」となっている。



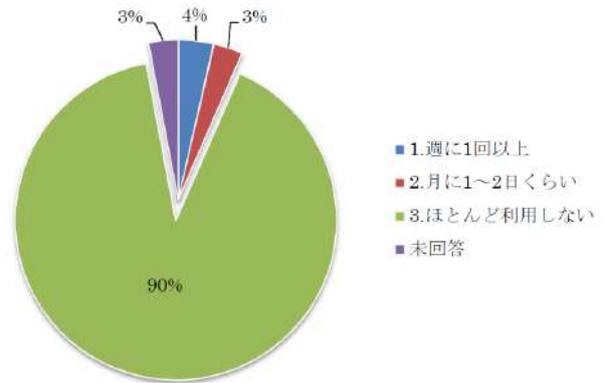
問8 「綾川町 町営バス」についてお聞きします。

(1) あなたは、どのくらいの頻度で町営バスを利用されますか。(単数回答)

- 「町営バスは利用しない (78.1%)」が最も多い。一方で町営バスを利用する人の頻度は「年に数回程度 (5.5%)」が最も多く、「月に2~3日 (1.7%)」となっている。
- 平成 29 (2017) 年度のアンケート結果と同様の傾向にある。
- 年齢別でも町営バスは利用されていない。

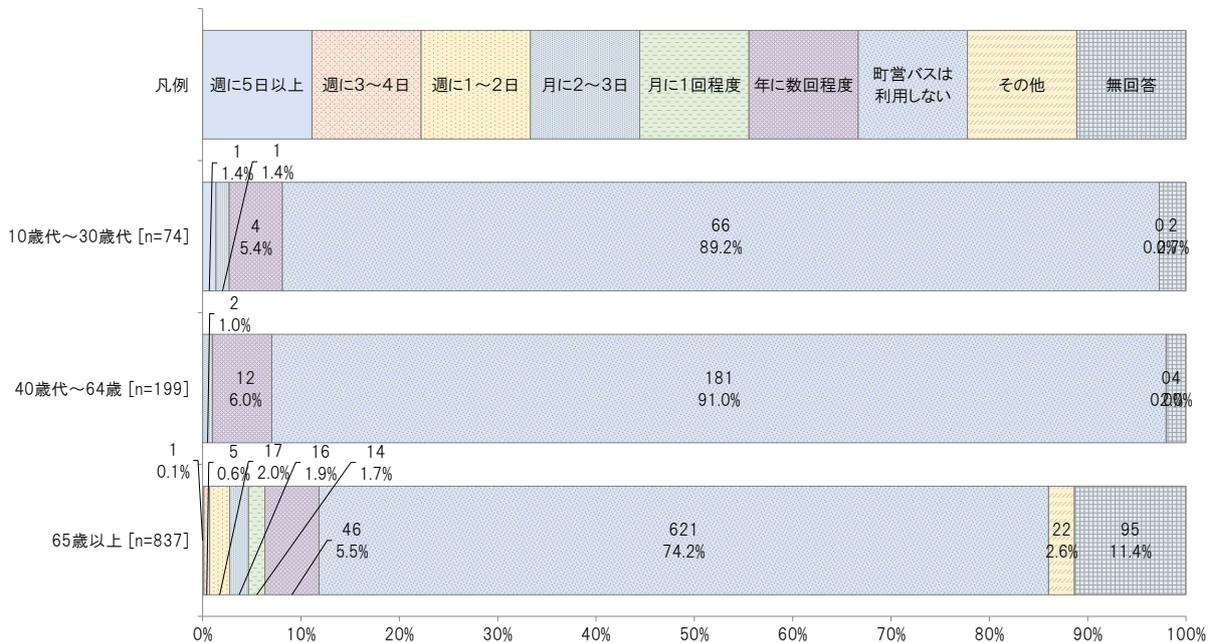


(平成 29 (2017) 年度アンケート)  
問：町営バスの利用について



[n=343]

(年齢別クロス) ※ (1) の項目のクロス



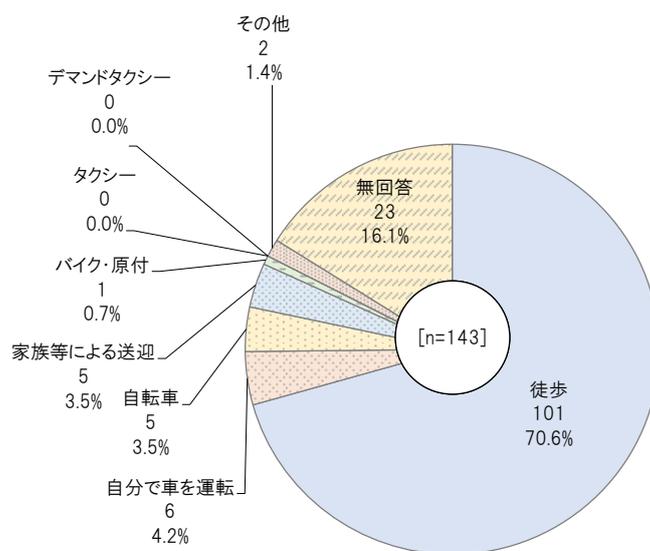
(地区別クロス) ※(1)の項目のクロス

	合計	週に5日以上	週に3~4日	週に1~2日	月に2~3日	月に1回程度	年に数回程度	町営バスは利用しない	その他	無回答
全体	1,107	2	5	18	19	14	61	871	22	95
	100.0%	0.2%	0.5%	1.6%	1.7%	1.3%	5.5%	78.7%	2.0%	8.6%
昭和	239	0	2	4	3	6	10	192	4	18
	100.0%	0.0%	0.8%	1.7%	1.3%	2.5%	4.2%	80.3%	1.7%	7.5%
陶	230	0	2	2	5	1	10	190	4	16
	100.0%	0.0%	0.9%	0.9%	2.2%	0.4%	4.3%	82.6%	1.7%	7.0%
滝宮	279	0	1	5	6	1	17	213	10	26
	100.0%	0.0%	0.4%	1.8%	2.2%	0.4%	6.1%	76.3%	3.6%	9.3%
羽床	77	0	0	0	1	2	6	58	0	10
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	2.6%	7.8%	75.3%	0.0%	13.0%
羽床上	57	0	0	0	1	0	4	48	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	7.0%	84.2%	0.0%	7.0%
山田	120	1	0	5	3	1	8	89	1	12
	100.0%	0.8%	0.0%	4.2%	2.5%	0.8%	6.7%	74.2%	0.8%	10.0%
西分	47	0	0	1	0	1	2	39	0	4
	100.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	2.1%	4.3%	83.0%	0.0%	8.5%
粉所	58	1	0	1	0	2	4	42	3	5
	100.0%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	3.4%	6.9%	72.4%	5.2%	8.6%

1位 2位 3位

(3) バス停に行くまでに利用する主な交通手段を教えてください。(単数回答)

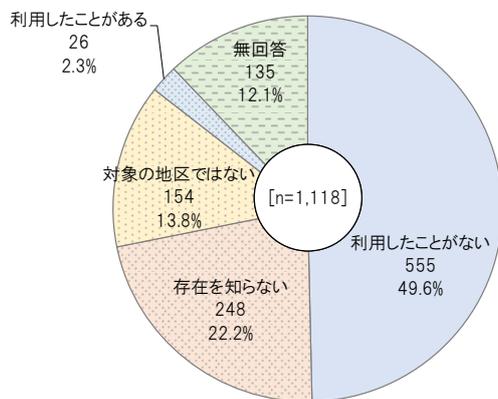
- 「徒歩(70.6%)」が最も多く、次いで「自分で車を運転(4.2%)」「自転車(3.5%)」となっている。



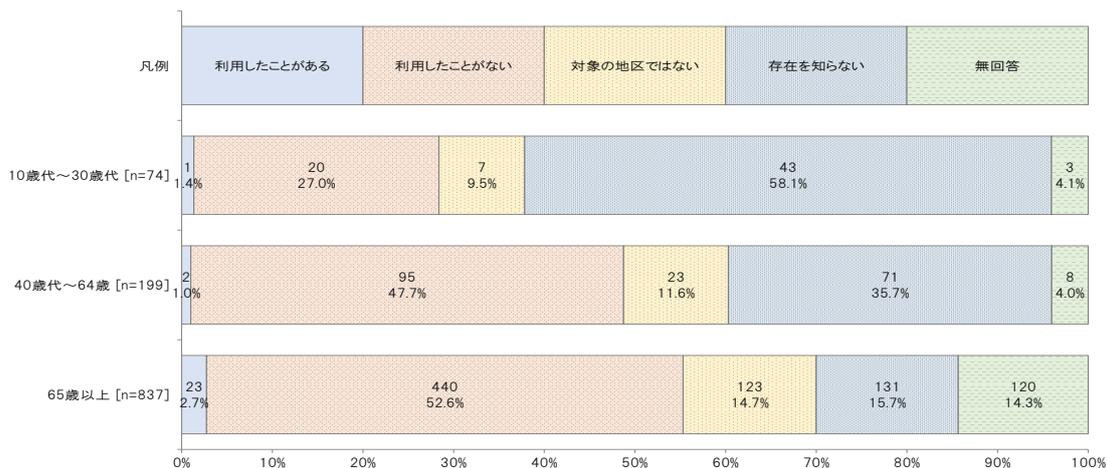
問9 「(綾上方面・千疋方面で運行中の) 綾川町デマンドタクシー」についてお聞きします。

(1) あなたは、デマンドタクシーを利用したことがありますか。(単数回答)

- 「利用したことがある」は2.3%と1割にも満たない。
- 一方で「利用したことがない(49.6%)」が最も多く、次いで「存在を知らない(22.2%)」となっている。
- 年齢別で見ると、年齢があがるほど、存在を知っている人が多くなる。
- 地区別で見ると、粉所地区での利用が多くなっている。



(年齢別クロス)



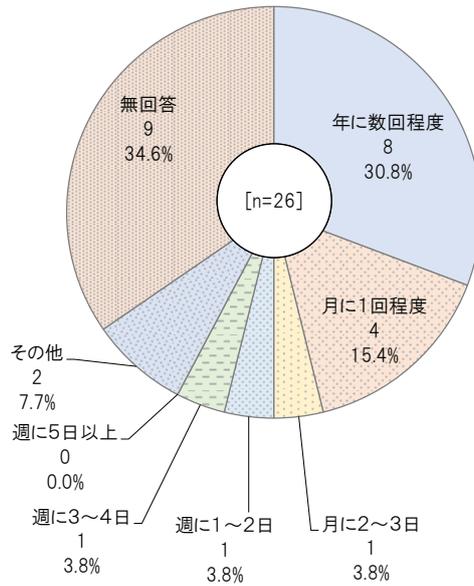
(地区別クロス)

	合計	利用したことがある	利用したことがない	対象の地区ではない	存在を知らない	無回答
全体	1,107	26	552	154	245	130
	100.0 %	2.3 %	49.9 %	13.9 %	22.1 %	11.7 %
昭和	239	2	113	36	68	20
	100.0 %	0.8 %	47.3 %	15.1 %	28.5 %	8.4 %
陶	230	3	98	39	62	28
	100.0 %	1.3 %	42.6 %	17.0 %	27.0 %	12.2 %
滝宮	279	4	112	59	61	43
	100.0 %	1.4 %	40.1 %	21.1 %	21.9 %	15.4 %
羽床	77	1	29	14	17	16
	100.0 %	1.3 %	37.7 %	18.2 %	22.1 %	20.8 %
羽床上	57	1	41	3	9	3
	100.0 %	1.8 %	71.9 %	5.3 %	15.8 %	5.3 %
山田	120	5	83	1	18	13
	100.0 %	4.2 %	69.2 %	0.8 %	15.0 %	10.8 %
西分	47	2	37	1	4	3
	100.0 %	4.3 %	78.7 %	2.1 %	8.5 %	6.4 %
粉所	58	6	39	1	6	4
	100.0 %	13.8 %	67.2 %	1.7 %	10.3 %	6.9 %

1位 2位 3位

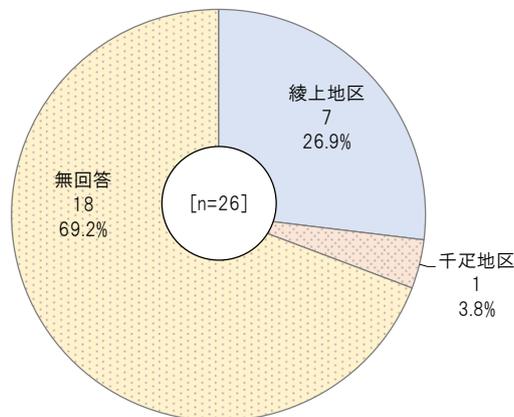
(2) 利用したことがある場合、どのくらいの頻度で利用されますか。(単数回答)

- 「年に数回程度(30.8%)」が最も多く、次いで「月に1回程度(15.4%)」「月に2~3日(3.8%)」「週に1~2日(3.8%)」となっている。



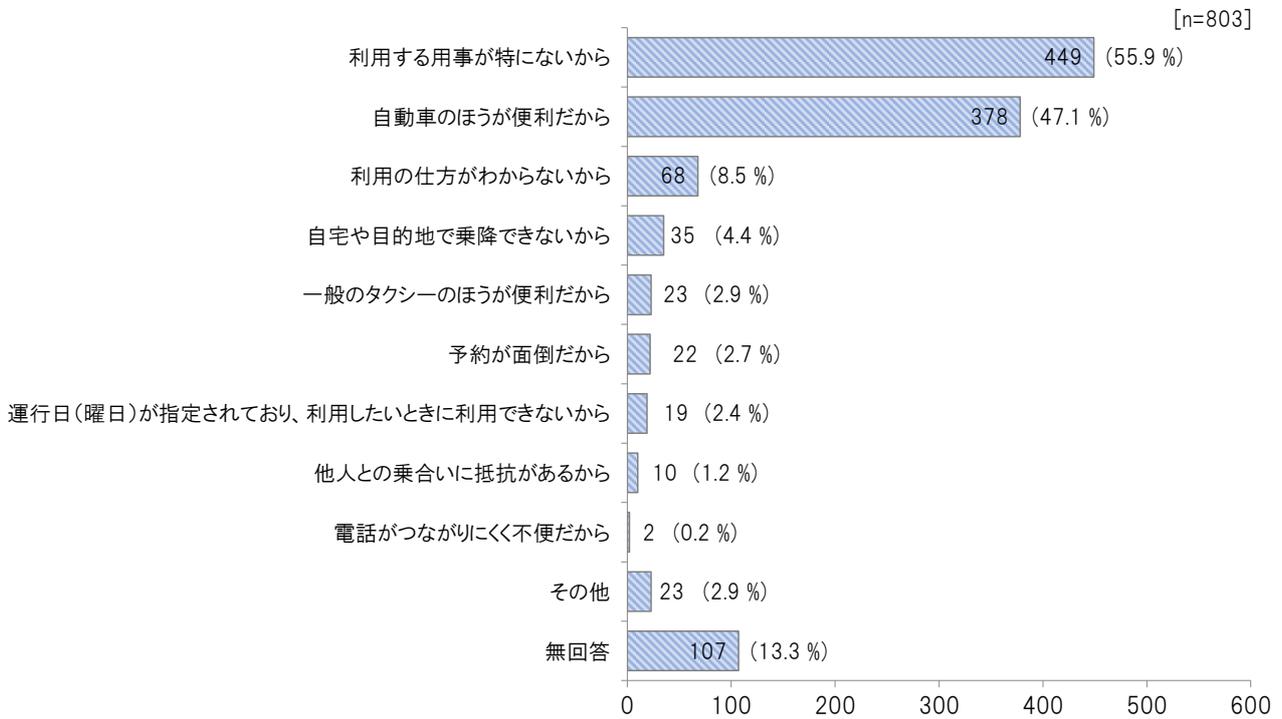
(3) デマンドタクシーを利用する際の運行路線と目的地をご記入ください。(頻繁に行く場所)

- 「綾上地区」と「千疋地区」とでは、「綾上地区」の方が多くなっている。



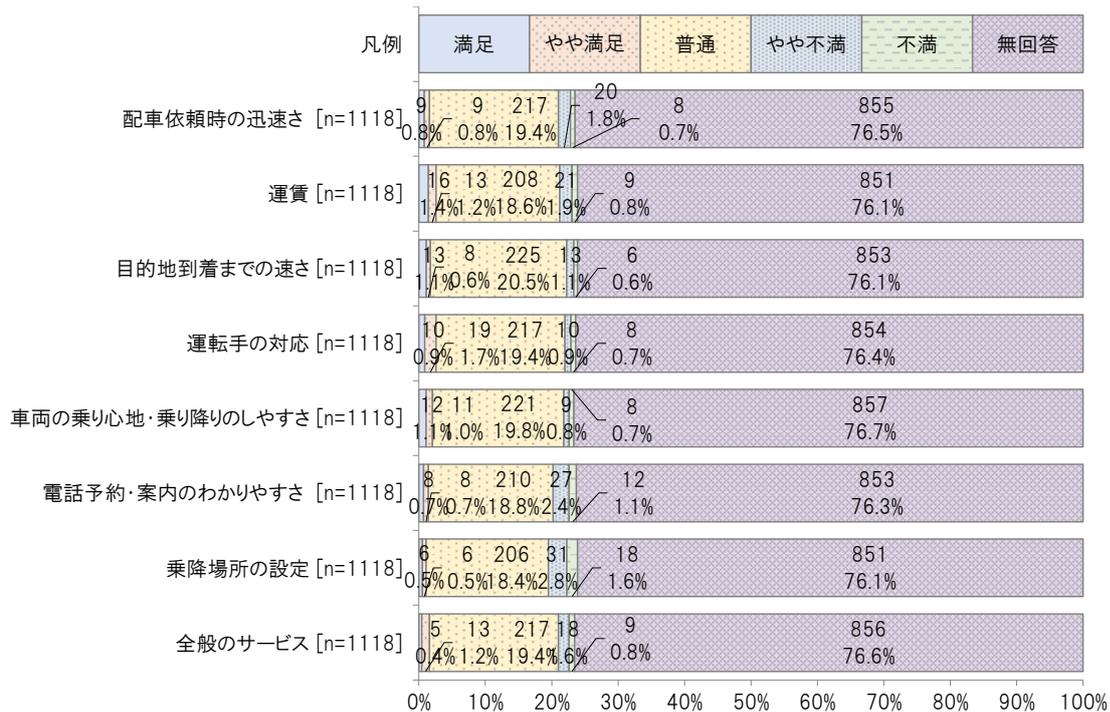
(4) デマンドタクシーを利用しない方(問9の(1)で「2.利用しない」とお答えされた方)にお聞きします。デマンドタクシーをご利用されていない理由は何ですか。(複数回答)

- 「利用する用事が特にならないから(55.9%)」が最も多く、次いで「自動車のほうが便利だから(47.1%)」「利用の仕方がわからないから(8.5%)」となっている。



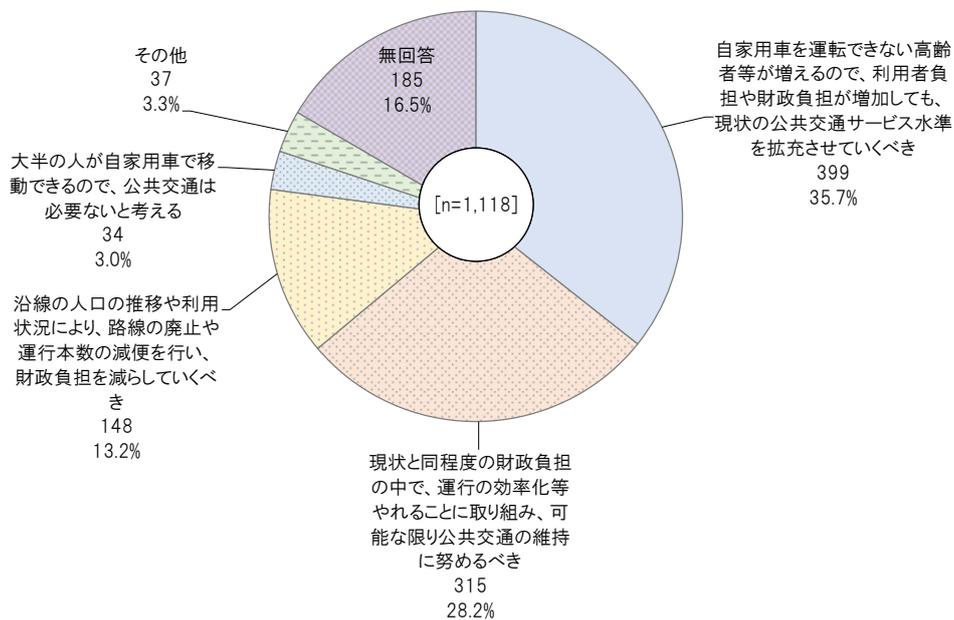
(5) デマンドタクシーにおける運行サービスについて、それぞれの程度満足されていますか。利用しない方もわかる範囲でお答えください。(全ての項目について単数回答)

- 満足度(満足+やや満足)が最も高い項目は「運賃(2.6%)」「運転手の対応(2.6%)」となっている。
- 不満度(不満+やや不満)が最も高い項目は「乗降場所の設定(4.4%)」となっている。

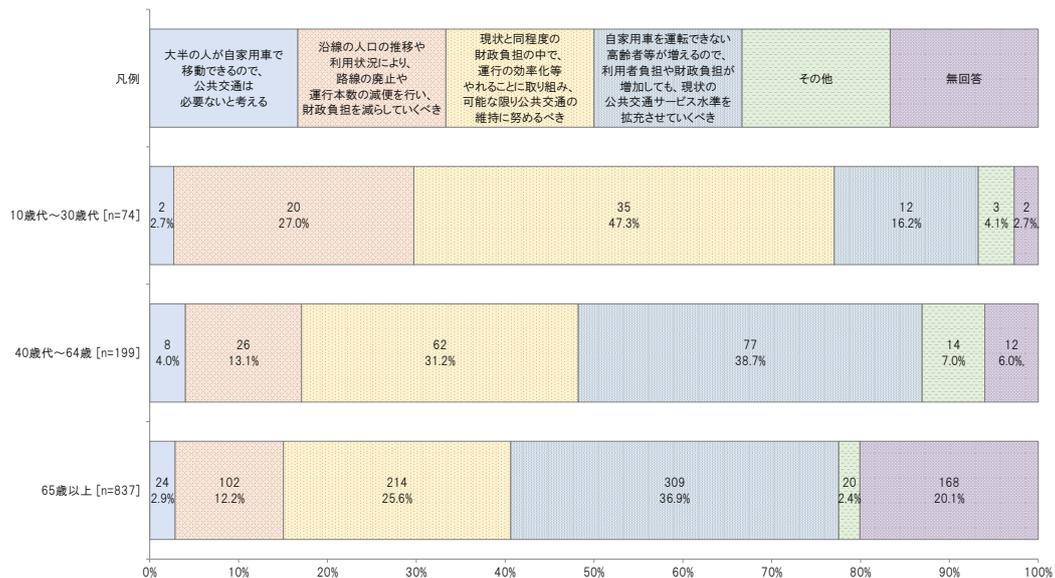


問11 公共交通について、今後どのような方向で取り組む必要があるとお考えですか。(単数回答)

- 今後の取組の方向性として、「自家用車を運転できない高齢者等が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき(35.7%)」が最も多く、次いで「現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等やれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき(28.2%)」「沿線の人口の推移や利用状況により、路線の廃止や運行本数の減便を行い、財政負担を減らしていくべき(13.2%)」となっている。
- 年齢別にみると、10～30歳代は、「現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等やれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき」が最も多い。一方で、40歳代以上は、「自家用車を運転できない高齢者等が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」が最も多くなっている。
- 各種交通サービスを利用していない人は「自家用車を運転できない高齢者等が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」が最も多くなっている。



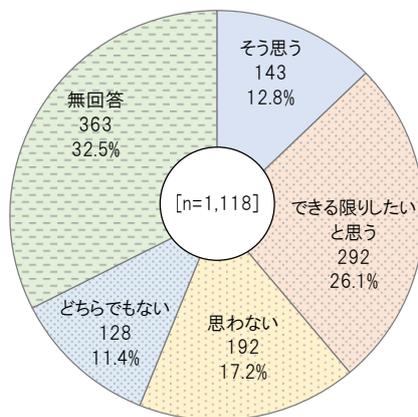
(年齢別クロス)



問12 自家用車を利用されている方にお聞きします。

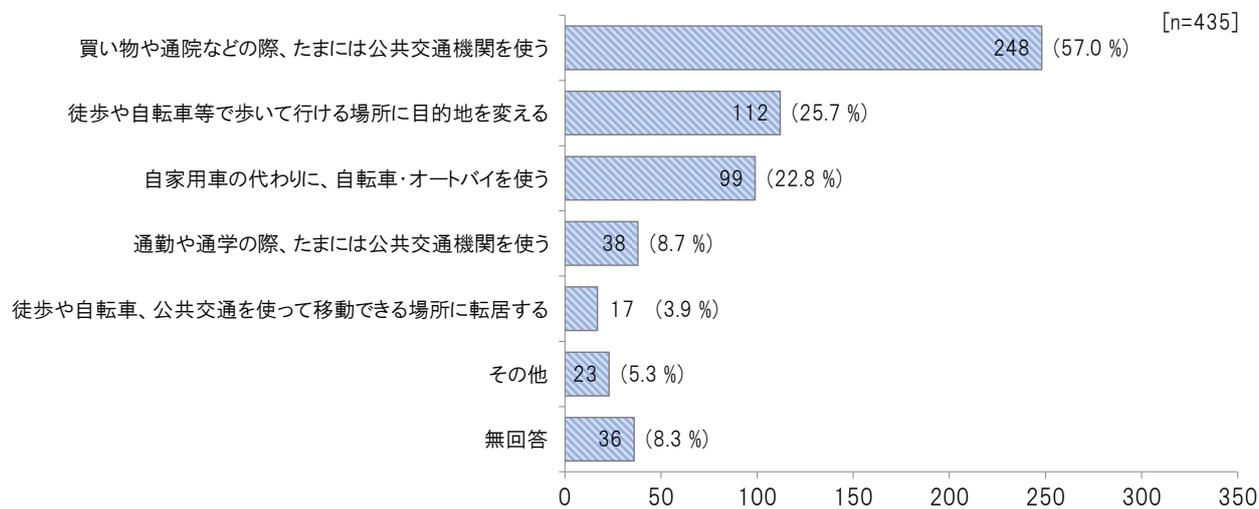
既存の公共交通の維持、自身の健康増進、地球環境の改善等のために、今後、自家用車に過度に頼らない生活をしたいと思いますか。(単数回答)

- 今後、自家用車に過度に頼らない生活を「できる限りしたいと思う(26.1%)」が最も多く、次いで「思わない(17.2%)」「そう思う(12.8%)」となっている。
- 「総じてしたいと思う(そう思う+できる限りしたいと思う)」の回答は38.9%となっている。



上記で「そう思う」「できる限りしたいと思う」を選択した回答対象

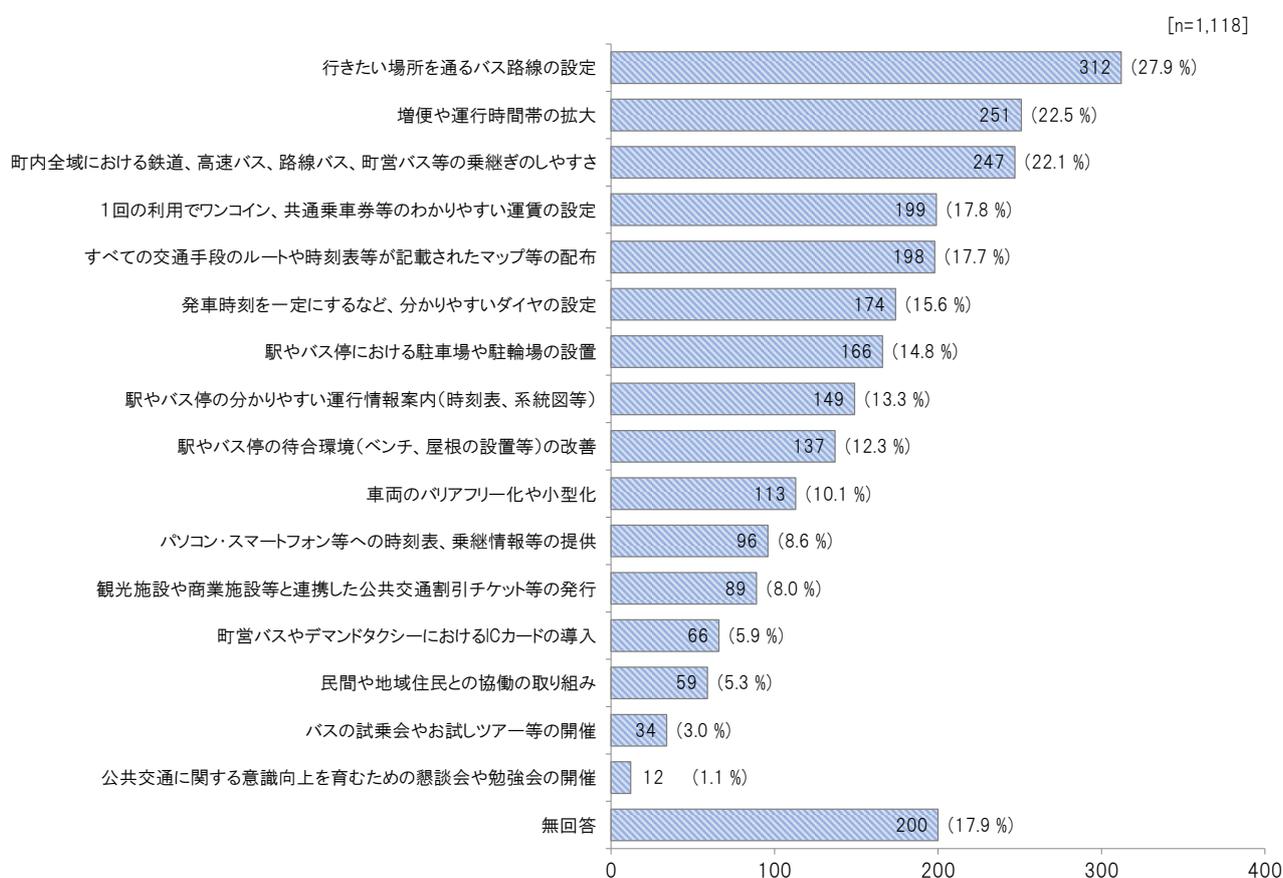
- 「買い物や通院などの際、たまには公共交通機関を使う(57.0%)」が最も多く、次いで「徒歩や自転車等で歩いて行ける場所に目的地を変える(25.7%)」「自家用車の代わりに、自転車・オートバイを使う(22.8%)」となっている。



問13 公共交通が使いやすくなり、利用者を増やすためには、どのような取組みが効果的だと思いますか。

(複数回答)

- 「行きたい場所を通るバス路線の設定 (27.9%)」が最も多く、次いで「増便や運行時間帯の拡大 (22.5%)」「町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ (22.1%)」となっている。
- 年齢別にみると、共通して「行きたい場所を通るバス路線の設定」がもっと多くなっており、次いで、10歳代～30歳代は「駅やバス停における駐車場や駐輪場の設置」、40歳代～64歳は「町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ」、65歳以上は「増便や運行時間帯の拡大」が多くなっている。
- 地区別にみると、西分地区は「増便や運行時間帯の拡大」、羽床地区は「町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ」、山田地区は、「町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ」が多くなっている。



(年齢別クロス)

	合計	増便や運行時間帯の拡大	発車時刻を一定にするなど、分かりやすいダイヤの設定	行きたい場所を通るバス路線の設定	車両のバリアフリー化や小型化	町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ	1回の利用でワンコイン、共通乗車券等のわかりやすい運賃の設定	町営バスやデマンドタクシーにおけるICカードの導入	すべての交通手段のルートや時刻表等が記載されたマップ等の配布
全体	1,110	250	174	312	113	247	197	66	197
	100.0 %	22.5 %	15.7 %	28.1 %	10.2 %	22.3 %	17.7 %	5.9 %	17.7 %
10歳代～30歳代	74	23	7	27	6	23	15	3	9
	100.0 %	31.1 %	9.5 %	36.5 %	8.1 %	31.1 %	20.3 %	4.1 %	12.2 %
40歳代～64歳	199	48	25	66	14	56	52	9	39
	100.0 %	24.1 %	12.6 %	33.2 %	7.0 %	28.1 %	26.1 %	4.5 %	19.6 %
65歳～80歳代以上	837	179	142	219	93	168	130	54	149
	100.0 %	21.4 %	17.0 %	26.2 %	11.1 %	20.1 %	15.5 %	6.5 %	17.8 %

	パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗継情報等の提供	観光施設や商業施設等と連携した公共交通割引チケット等の発行	公共交通に関する意識向上を育むための懇談会や勉強会の開催	民間や地域住民との協働の取り組み	バスの試乗会やお試しツアー等の開催	駅やバス停の待合環境（ベンチ、屋根の設置等）の改善	駅やバス停の分かりやすい運行情報案内（時刻表、系統図等）	駅やバス停における駐車場や駐輪場の設置	無回答
全体	96	89	12	58	34	136	148	166	195
	8.6 %	8.0 %	1.1 %	5.2 %	3.1 %	12.3 %	13.3 %	15.0 %	17.6 %
10歳代～30歳代	24	9	0	4	2	5	4	25	4
	32.4 %	12.2 %	0.0 %	5.4 %	2.7 %	6.8 %	5.4 %	33.8 %	5.4 %
40歳代～64歳	31	10	2	10	4	19	33	43	23
	15.6 %	5.0 %	1.0 %	5.0 %	2.0 %	9.5 %	16.6 %	21.6 %	11.6 %
65歳～80歳代以上	41	70	10	44	28	112	111	98	168
	4.9 %	8.4 %	1.2 %	5.3 %	3.3 %	13.4 %	13.3 %	11.7 %	20.1 %

1位	2位	3位
----	----	----

(地区別クロス)

	合計	増便や運行時間帯の拡大	発車時刻を一定にするなど、分かりやすいダイヤの設定	行きたい場所を通るバス路線の設定	車両のバリアフリー化や小型化	町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ	1回の利用でフンコイン、共通乗車券等のわかりやすい運賃の設定	町営バスやデマンドタクシーにおけるICカードの導入	すべての交通手段のルートや時刻表等が記載されたマップ等の配布
全体	1,107	250	173	311	113	246	198	63	197
	100.0%	22.6%	15.6%	28.1%	10.2%	22.2%	17.9%	5.7%	17.8%
昭和	239	48	37	81	27	48	39	14	49
	100.0%	20.1%	15.5%	33.9%	11.3%	20.1%	16.3%	5.9%	20.5%
陶	230	54	36	65	23	63	40	13	43
	100.0%	23.5%	15.7%	28.3%	10.0%	27.4%	17.4%	5.7%	18.7%
滝宮	279	66	53	68	35	48	52	13	54
	100.0%	23.7%	19.0%	24.4%	12.5%	17.2%	18.6%	4.7%	19.4%
羽床	77	16	10	19	5	20	17	5	11
	100.0%	20.8%	13.0%	24.7%	6.5%	26.0%	22.1%	6.5%	14.3%
羽床上	57	11	8	20	5	16	7	5	12
	100.0%	19.3%	14.0%	35.1%	8.8%	28.1%	12.3%	8.8%	21.1%
山田	120	27	15	29	10	29	25	6	7
	100.0%	22.5%	12.5%	24.2%	8.3%	24.2%	20.8%	5.0%	5.8%
西分	47	15	5	8	4	6	8	2	8
	100.0%	31.9%	10.6%	17.0%	8.5%	12.8%	17.0%	4.3%	17.0%
粉所	58	13	9	21	4	16	10	5	13
	100.0%	22.4%	15.5%	36.2%	6.9%	27.6%	17.2%	8.6%	22.4%

	パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗継情報等の提供	観光施設や商業施設等と連携した公共交通割引チケット等の発行	公共交通に関する意識向上を育むための懇談会や勉強会の開催	民間や地域住民との協働の取り組み	バスの試乗会やお試しツアー等の開催	駅やバス停の待合環境(ベンチ、屋根の設置等)の改善	駅やバス停の分かりやすい運行情報案内(時刻表、系統図等)	駅やバス停における駐車場や駐輪場の設置	無回答
全体	96	88	12	58	33	134	148	162	197
	8.7%	7.9%	1.1%	5.2%	3.0%	12.1%	13.4%	14.6%	17.8%
昭和	23	26	2	11	4	22	40	33	34
	9.6%	10.9%	0.8%	4.6%	1.7%	9.2%	16.7%	13.8%	14.2%
陶	17	16	1	9	4	27	31	35	35
	7.4%	7.0%	0.4%	3.9%	1.7%	11.7%	13.5%	15.2%	15.2%
滝宮	28	19	2	15	13	38	38	35	53
	10.0%	6.8%	0.7%	5.4%	4.7%	13.6%	13.6%	12.5%	19.0%
羽床	4	3	1	4	1	14	10	13	19
	5.2%	3.9%	1.3%	5.2%	1.3%	18.2%	13.0%	16.9%	24.7%
羽床上	6	5	2	4	2	6	10	9	7
	10.5%	8.8%	3.5%	7.0%	3.5%	10.5%	17.5%	15.8%	12.3%
山田	10	8	1	10	3	14	9	22	29
	8.3%	6.7%	0.8%	8.3%	2.5%	11.7%	7.5%	18.3%	24.2%
西分	3	4	1	2	4	4	4	5	14
	6.4%	8.5%	2.1%	4.3%	8.5%	8.5%	8.5%	10.6%	29.8%
粉所	5	7	2	3	2	9	6	10	6
	8.6%	12.1%	3.4%	5.2%	3.4%	15.5%	10.3%	17.2%	10.3%

1位	2位	3位
----	----	----

## まとめ

### ■普段、外出する時に交通手段がなくて困ること

- ・ 現時点で、自家用車等を運転できることから、移動に困っていない状況にあることから、公共交通が利用されていない。
- ・ 一方で、公共交通を利用している人は、運行便数の増便、乗り継がないでも目的地に行けるルート、最寄りにバス停があること、待合スペースや駐車場・駐輪場の充実などが求められている。

### ■運転について

- ・ 現時点で車を運転する（できる）人が多いこともあり、運転が苦にならないことから、今後に対して、不安を感じていない。
- ・ 一方で、運転免許の返納に対する意向は半数程度を占めており、返納後に公共交通を利用してもらうための対策等の検討は必要である。

### ■鉄道（ことでん・JR）について

- ・ 車利用が過半数を占めており、鉄道利用者もほとんどいない。
- ・ 学生による利用はあるが、親の送迎がないと移動できない状況にあることから、乗りたい時間に間に合うような町営バスの運行ルートがあれば、問題解決につながる。
- ・ 駅までの移動が困難の方もいるため、そこまでの移動手段の確保や駅周辺での駐車場・駐輪場の確保などについての検討は必要である。

### ■綾川町実証実験 路線バス（坂出・綾川線）について

- ・ 車利用が過半数を占めており、路線バス利用者もほとんどいない。
- ・ 他の交通と連動できる運行形態（ルートや時間帯）などをとることが必要である。

### ■町営バスについて

- ・ 車利用が過半数を占めており、路線バス利用者もほとんどいない。
- ・ 運行便数の増便、乗り継がないでも目的地に行けるルート、最寄りにバス停があること、待合スペースの充実などが求められている。

### ■デマンドタクシーについて

- ・ 利用のエリアが限られていることやそもそも存在を知らないという人もおり、利用したことがある人が1割に満たない状況にある。乗降場所の設定の改善を望む声がある。
- ・ 福祉との連動などを強化し、利用しやすい状況をつくることが求められる。限られた時間での運行とせず、ニーズに合わせて、柔軟に対応できるルールづくりも必要である。

#### ■今後の取組の方向性について

- ・ 10～30歳代は、「現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等やれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき」とする意向が最も多くなっているが、公共交通を利用していない人が多いことから現状維持を望んでいる傾向にあると考えられる。
- ・ 40歳代以上は、「自家用車を運転できない高齢者等が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」とする意向が最も多くなっている。これは、今後、年齢を重ねていき、移動が困難になった際の不安が理由だと考えられる。
- ・ しかしながら、現状としては、移動に困っていない人が過半数であることから、利用者に配慮した上で、減便しながら、質を向上させるような工夫が必要であると考えられる。

#### ■公共交通が使いやすくなり、利用者が増える取組について

- ・ 各年齢共通して、「行きたい場所を通るバス路線、増便や運行時間帯の拡大」に対する意向が最も多い。次いで、10歳代～30歳代は「駅やバス停における駐車場や駐輪場の設置」が多くなっている。親の送迎や、駅まで車や自転車で移動して、そこから電車で移動する人もいるため、駅周辺の充実の検討が必要である。
- ・ 40歳代～64歳は「町内全域における鉄道、高速バス、路線バス、町営バス等の乗継ぎのしやすさ」が多くなっている。目的地に乗継しないと行けないルートになっているため、改善や検討が必要である。
- ・ 65歳以上は「増便や運行時間帯の拡大」が多くなっている。朝の診察等、希望する時間帯にバスがないことや診察後に帰りの便がないこともあることから、運行時間帯などは検討が必要である。

## (4) 事業者ヒアリング

町内の交通関係の事業者に対して、ヒアリングを実施した。結果は以下の通りである。

### (デマンドタクシーについて)

- デマンドタクシーの拠点（乗車場所）は、バス停以外の集会所や公民館等であり、バス停の3倍程度はある。
- デマンドタクシーの利用方法がわかりにくいといった声が多い。
- 利用料金が安いと、採算が合わない。
- 路線型で運行しているが、利用者からは、拠点に行くまでがづらいと言われる。理想としては自宅まで迎えに行ってもらえると良い。バス路線まで出て来れない人も多い。
- デマンドタクシーの利用者は基本的に同じ人しかいない。畑田・千疋地区では利用者がほとんどいない。
- 取組についてもっと周知・PRすべき。
- デマンドタクシーは決まった時刻表があり、利用者のニーズに柔軟に対応できない。
- 路線バスが走っているところ以外がデマンドとなっているので運行範囲の検討は必要。

### (町営バスについて)

- バス路線が複雑なので、もう少しわかりやすい路線にすべき。
- 駅にある掲示板に各バス等の案内が掲示されているが、外部から人にとってはわかりにくい。また、どのようなルートがあって、どこに行けるかなどがもう少し丁寧に記載されている方が良い。
- 通勤・通学の利用者はもちろんのこと、イオンに来ている人が使いやすいものにしていくべきではないか。
- すべての交通サービスや路線図を掲載したパンフレットなどもあると良い。

### (坂出・綾川線について)

- 延伸した際の条件が厳しく、伸ばした分だけ、利用者がいないと補助金がもらえない。国から補助金をもらえる路線にしようという考えからスタートしたが、実証運行のままとなっている。
- 100円だと収支も合わないため、走った分だけ料金が上がる区間運賃としたいが、手が付けられない。
- 利用者は通学生徒がほとんどであり、学年があがって卒業してしまい、利用者も減る。
- 高齢者の利用は、通院が主で、中年層は買い物やイオンに来ている。
- ルートの循環ができていないため、それが課題。
- 空港リムジンバスとの機能のさび分けが必要。
- 坂出・綾川線とリムジンバスをうまく組み合わせて、学生が選べる選択肢を増やしてあげたいが、空港便が動かないと運休になったりするので、そこも課題。定期券等とうまく連動させてやっていきたい。
- 綾川町に住んでも交通がしっかりしているので、通いやすいといったことを広め、学校教育等とも連携できると良い。外からきてもらっても、遠くからでも通えるというイメージ。
- イオンモールや道の駅の中に、路線バスを乗り入れられると良い。
- JR讃岐府中駅があるが、リムジンバスは乗り入れられない。綾川駅から讃岐府中駅までの繋ぎも課題。

### (駅（鉄道）について)

- 綾川駅以外は駅施設がかなり老朽化しているので、改修が必要。駅のバリアフリー化も必要。
- 滝宮駅は有人駅となっているが、マスタープラン等をみると、綾川駅を中心として、そこを有人駅とした方が良いのではないかと。駅舎をたてて、有人化したらどうか。綾川駅は乗降者数が最も多いので、サービス向上につながるのではないかと。
- 「ことでんシネマチケット」の取組は継続予定。これ以外では、仏生山温泉などに行きやすくするための温泉切符を旅行会社と提携している。

### (高松空港リムジンバス等含むその他の交通について)

- 学生に特化した取組を行っている。
- 観音寺から綾川のイオンモールに買い物等で来てもらいやすくするための取組を進めている。また、綾川から観音寺に来てもらったら、タクシー事業と連動して、割引サービスを行っている。特に学生に対しては、学生証明書を提示することで、片道は半額になるなどの優遇もある。
- バス利用は主に学生がメイン。金銭的にメリットとなるような取組を行っている。
- コロナ禍のため、大々的な周知ができていない。

### (タクシー関連)

- コロナ禍の中、タクシーチケットを発行しているが、利用者もデマンドタクシーよりも多く、利用しやすいようである。
- 乗務員が不足している。

### (観光(来訪者増加に向けた)に関する取組)

- 観光事業との連動など、観光振興にもつなげていきたいが観光資源が少ないところは課題。
- リムジンバスで町内まで案内して、そこからは二次交通として、町内の交通を活用して観光してもらうことが良い。
- 目的地に綾川を増やしたことで、空港発の顧客、観音寺の顧客には浸透してきている。
- こういう路線があるといったことを周知できると良い。(広報などで特集できないか)
- 自然施設として府中湖は西日本の中でもブラックバスの聖地であり、釣り客など、限定した人を対象として取り組んでいくことも考えられるのではないか。
- 観光名所整備と合わせた、シェア自転車の整備など。その他エリアを指定した、自動運転の取組みの検討など。

### (乗継などがわかるアプリ・デジタル化等)

- 乗継等の問い合わせが良くあるので、乗継がわかるようなアプリがあると良い。(時間と路線を組み合わせたようなイメージ)若い方だけでなく、年配の方でも使えるシステムにして、通話機能でデマンドを呼び出しやすくするなど考えられる。
- 交通系のICカードなどは、JRやことでんと連動できると良い。(Irucaや10カードなど)
- 坂出から綾川に行って、例えば、しだれ桜を見る場合など、町営バスを使えば行けるといったことがわかるようなシステムや交通のつながりが見えるシステムがあると良い。
- Google マップを見ると思うので、そこに路線バスと町営バスの二路線を落とせると良い。路線バス、町営バスが連携してみせられるようなアプリを導入できると良い。
- 町営バスも路線が沢山あるので、乗り継いで行き先を考えることは難しい。そういった問題をGoogle マップで対応するのか、アプリ対応するのかできると良い。
- 外部から来た人への受け入れと住民の利便性が向上できるソフトの展開ができると良い。

### (交通の新しい体系の案)

- 町営バスと接続できるところまでをデマンドタクシーで行けるように対応するなどした方が良い。その分、町営バスはもう少し便数を増やして対応することも必要になる。この対応で、費用を抑えられないか。(ドアトゥドアで拠点まで移動し、接続強化したバス等で目的地に運ぶ)
- 特定のエリアでの実行、登録制度の導入などのルール化をしっかりと検討する必要がある。
- デマンドタクシーを利用した人は300円で乗継券を渡して、そのまま町営バスに乗れるようにして、バス利用のみの人は100円にするなどの価格設定は必要。
- バス路線を増やすと一路線が長くなるので、フリー乗降の区間を増やす方が良い。社会実験等を行い、検証は必要。
- デマンドタクシーは毎時に切り替える。(7時から走れば朝一番からの病院(診察)に間に合う)

### (その他)

- 交通空白地として、羽床上、井手下の下、羽床下、あたりはデマンドが来ないので、そのあたりの対応は検討が必要。
- 待合所や自転車が置けるスペースがあると良い。バス停の周辺環境を向上させてはどうか。
- システムとのサビ分けも必要。基幹を残して、それ以外はデマンドで実施するなど。
- 病院では最寄りに電車站、バス停、綾南交通タクシー配車センターがあることから、利用者も多く大変ありがたい。タクシーは24時まで営業しているが、コロナ禍のためか減便した影響で、昨年来救急車で来院患者の家族が22時以降に帰る際、困っていた。

# 3. 地域公共に関する課題の整理

## 3-1. 現状まとめ

### <公共交通に関する基礎データによる現状>

- ことでん 町営バス、デマンドタクシー、琴参バス（美正運行）により町内のほぼ全域がカバーされている。
- 「綾川あんしんタクシー助成事業」でタクシーチケットを高齢者等に配布、またAEONの種加スーパー（E-Wa）で羽床から松所までの地域の買い物支援、えきバスなど買い物目的の種加支援も充実。
- 「丸亀・坂出・空港リムジンバス」が綾川駅に停まり、高松空港へのアクセス利用も高い。
- 現在 町営バスは約33,000人/年利用で微増（コロナ前）、デマンドタクシーは約1,500人/年と年々減少。
- デマンドタクシーは定時・定路線のため面的なサービスができていない。
- ことでんと町営バスの乗り継ぎ利用者が少ない。（アンケートでは接続の不便さが指摘される）
- 自家用車依存が高く、高齢者のアンケートでもバス等の利用回答が少ない。
- 運行事業者においては、町営バスの利用者が少ないが事業運営には必要。
- 町営バスの運行費も年々増加し、約6千万と町財政を圧迫している。
- 通勤・通学先の約6割は高松市であるが、1割程度は坂出市や丸亀市へ。
- 府中湖パーキングエリアへのアクセスがしやすく、高速バスもあるため、広域種加の利用も高いことから、パークアンドライドの導入やバス停の設置などの策が必要。

### <その他の現状>

- 高松市や空港への利便性や立地を生かして定住策を推進。
- 国道32号沿道には商業施設等が連担し利便性が高い。
- 国道沿道から離れると、農地と住宅地が混在し、スプロール化が進行。（需要の分散化）
- 道の駅滝宮が令和3（2021）年3月にリニューアルされ、併設された農産物直売所が人気。
- 「うどん」や「いちご」の特産品を中心に産業振興や、農業体験・農泊等の観光振興にも取り組んでおり、域内連携に力を入れている。

### <将来への懸念>

- 人口減少、財源縮小の進行に対して町営バス等の運行が財源圧迫。
- 20年後には高齢化率41%に達するため、運転に不安を抱える高齢者等の増加が懸念。
- 特に70歳以上で免許返納が増えていくが、70歳以上が令和2（2020）年時点で28%、20年後で32.5%と約3分の1となる。中山間地で交通弱者は多くなるが、一方で居住範囲が少し減少する。
- 町内の農業者も多く、いちご産業を伸ばしているが、将来的に高齢化に伴う弊害（運転できなくなり集荷の不安）も懸念。

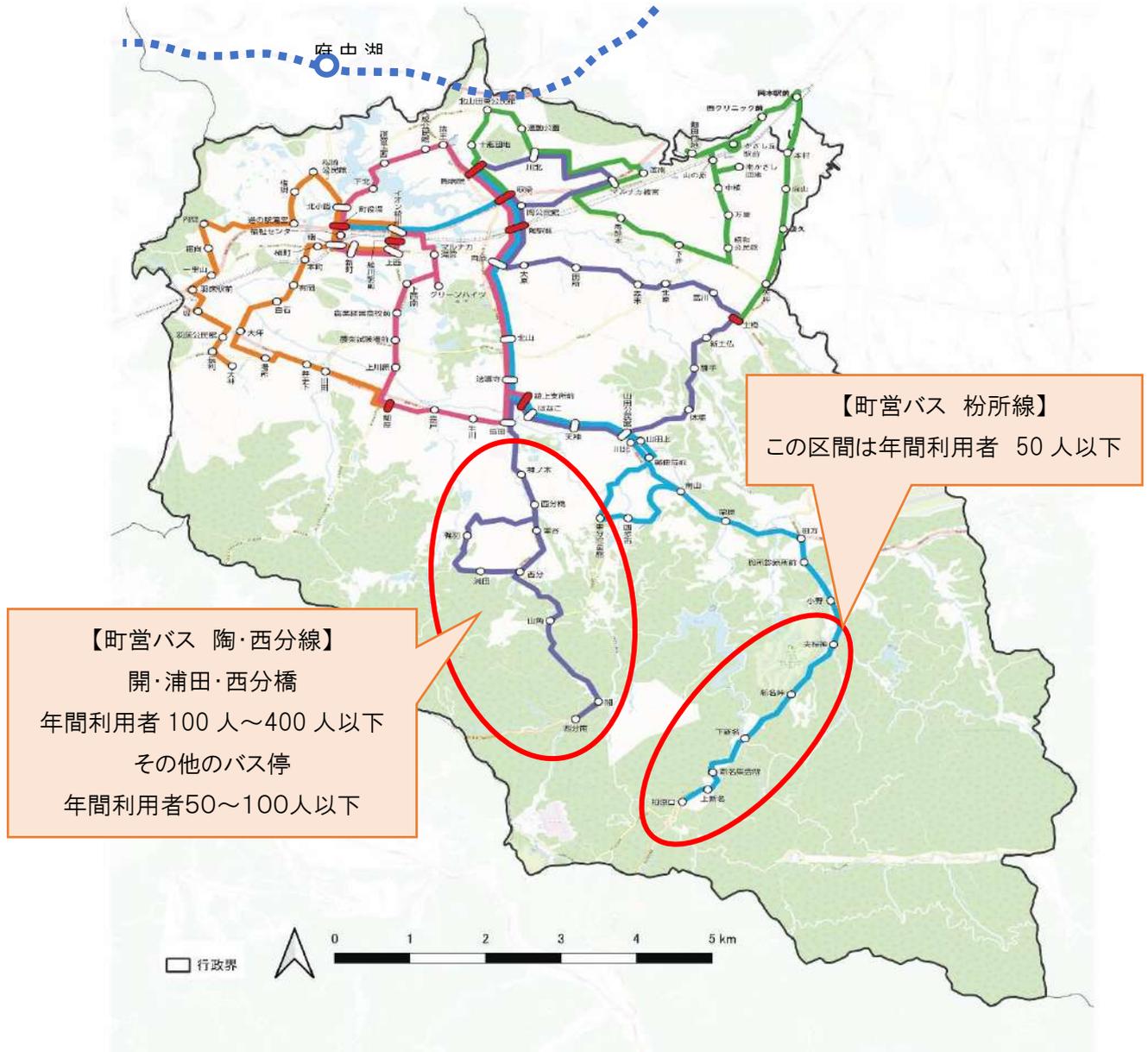
### <町民及び公共交通利用者ニーズ>

- 町営バスの利用者の満足度は高い一方で、改善してほしいサービスとして、運行時間帯、運行本数などがある。鉄道は、運行本数の増便を期待。
- 現状として、車を利用できる人が多いため、公共交通が利用されていない状況にある。
- 公共交通が必要な利用者にとっては、公共交通を利用するまでの距離が遠いことや、便数の少なさ、行きたい場所に行けないこと、路線ルートや名称が複雑でわかりにくいこと、乗継のしにくさ等の問題を抱えている。
- 今後の取組の方向性として、30歳代までは、「現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等やれることに取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき」とする回答が最も多く、40歳代以上は「自家用車を運転できない高齢者等が増えるので、利用者負担や財政負担が増加しても、現状の公共交通サービス水準を拡充させていくべき」が最も多くなっている。

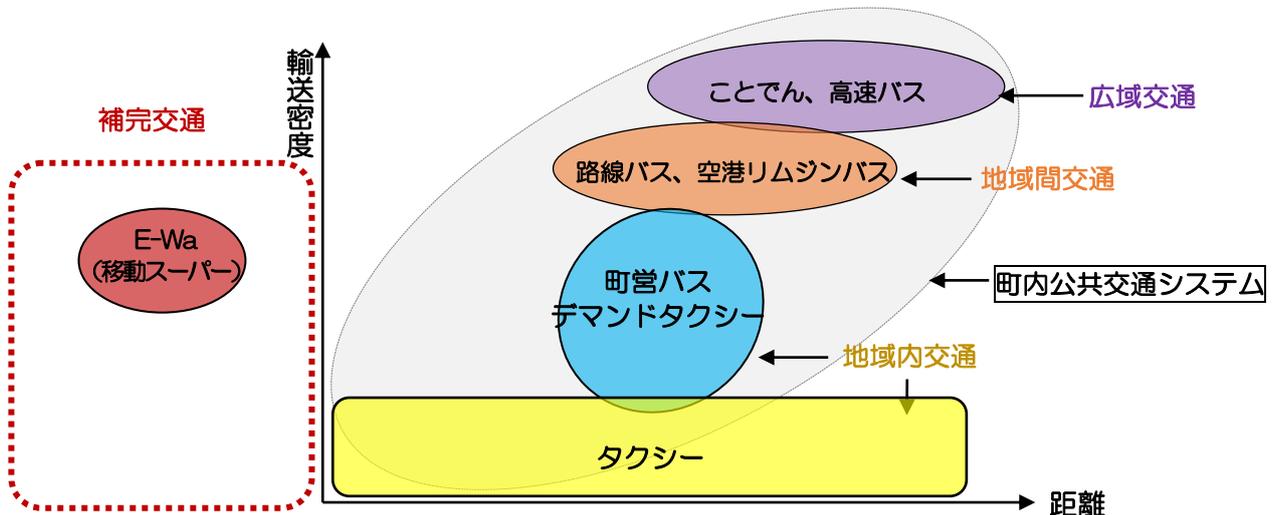
### <庁内及び事業者ヒアリング>

- 観光ルートづくりに合わせて、公共交通が連携できる取組の検討が必要。域内連携などの展開やえきバスの有効利用の検討が必要。
- 介護需要もあることから、福祉との連携も視野に入れた展開が必要。
- E-Waの需要がある一方で、拠点となるところまでの交通手段が課題。
- スクールバスを路線バスのように活用し、昼間や朝晩も一般の人が乗れるようにすることも考えられる。町営バスである程度カバーできる路線があると良い。ことでんにつながるダイヤなども検討が必要。
- 町営バスと接続できるところまでをデマンドタクシーで対応するなどの検討が必要。
- 町営バスは便数を増やして対応。（ドアトゥードアで拠点まで移動し、接続強化したバス等で目的地に運ぶ）
- 特定のエリアの選定や登録制度の導入などのルール化をしっかりと検討することが必要。フリー乗降の区間を増やし乗りやすい環境を作る。
- デマンドタクシーは毎時に切り替える。（7時から走れば朝一番からの病院（診察）に間に合う）
- 交通空白地として、羽床上、井手下の下、羽床下等はデマンドが来ないため、対応の検討が必要。
- 待合所や自転車置き場の設置が必要。バス停の周辺環境の向上を期待。

[綾川町町営バスの現状]



[公共交通システムの重複状況【現状】]



## 3-2. 公共交通を取り巻く課題

### ■利用者特性・ニーズに応じた効果的な交通システムの再編が必要

- 現在の利用者は高齢者を中心に、学生等の利用も見られ、通院や買い物、通学等が利用目的となることから、利用者のニーズに応じたルート設定や利用時間帯を考慮するとともに、結節点や拠点となるところまでの交通の充実などが必要。
- 待合所やその周辺環境の充実等を求める声もあることから、周辺環境の整備も必要。

### ■将来の交通弱者等の需要を見据えた公共交通サービスの提供が必要

- 今後、高齢者が増加することが予測されているが、高齢でも自家用車を利用する人も多く、急激に公共交通を利用する人が増えることは考えにくい。また、公共交通を利用する高齢者の課題として、バス停までの距離、運行時間、乗り換えなどが意向としてあることから、バス停を中心に結節点や拠点までの交通手段を充実させるとともに、例えば朝の診察等に間に合う時間帯やルート設定を検討するなど、現在の利用者を中心に段階的に充実を図ることで対応を図っていくことが必要だと考えられる。
- 現在はバス路線が網羅的に張り巡らされているが、例えば、特定のエリアの拠点（綾上支所）まではデマンドタクシーがドアトゥドアで運び、それ以降は運行を強化した町営バス等で移動ができるなど、バスとデマンドタクシーの利点を生かした役割分担を整理するとともに、町民に対してわかりやすい交通システムやネットワークの再編を行うことが必要。

### ■定住促進につながる町内交通利便性の向上や広域交通の利便性の向上が必要

- 綾川町から高松市をはじめ、空港などもあり、他地域へのアクセスのしやすさなどの利便性を強みにすることで、綾川町に住んだとしても、通勤・通学、買い物などがしやすく、より便利に生活できるといった「暮らし方」の情報発信ができれば、より定住性が向上すると考えられる。

### ■町の振興策にも寄与する交通体系・持続可能な地域づくりの構築が必要

- 全体的な傾向として、現在は自家用車を利用できる人が多く、公共交通を利用しない人が多い状況にある。そのような状況を踏まえて、もっと公共交通を利用してもらうための工夫やわかりやすい情報発信を行う必要がある。例えば、公共交通をお試しで利用したくなるような機会を設けることも考えられる。バス停名がわかりにくいといった意見もあるので、町民みんなでバス停名を検討するなど、愛着を持ってもらえる機会をつくることも必要だと考えられる。
- 観光ルートづくりと合わせて、公共交通の活用やルートの検討などの連携を行うことで域内連携をはじめ、地域振興につなげていくことも必要である。
- また、道の駅までの貨客混載を行っていくことも考えられる。
- スクールバスを路線バスとして活用することも視野に入れた上での検討が必要。
- 福祉に対するニーズは高いため、福祉の資格を持った人と連携を図るなど、サービスの充実の検討も必要。

## 4. 綾川町地域公共交通網形成計画が目指すもの

### 4-1. 本町における地域公共交通の目指す将来像・基本理念

- 人口減少や高齢化が進む中で、持続可能な交通施策を実現するためには、行政主体による環境づくりだけでなく、地域や住民、事業者などがそれぞれの立場で相互に連携し、一体となって環境づくりを行うことが重要です。
- 子どもから高齢者まで、全ての町民が安全で安心して豊かな生活を送ることができるよう、町民と行政が様々な場面で手を携え、民間の活力を活用しながら、「いいひと・いいまち・いい笑顔」の実現に向けて、それらをいつまでも支える公共交通網の構築を掲げました。

“いいひと・いいまち・いい笑顔”をいつまでも支える公共交通網の構築

## 4-2. 本町における地域公共交通の基本方針

### 課題

① 効果的な交通システムの再編

② 将来の交通弱者の増加

③ 定住促進につながる利便性

④ まちづくりへの貢献

### 基本方針と基本目標

#### 基本方針1. 効果的で持続可能な公共交通システムの再編【持続性】

##### 【基本目標】

- ① 小規模分散型ニーズへの対応と利用者負担が公平になる公共交通の実現
- ② 役割に無駄や重複のない公共交通の実現
- ③ 継続的に利用したくなる環境づくり

#### 基本方針2. 将来的な利用需要を踏まえたサービスや利便性の向上【利便性】

##### 【基本目標】

- ① 公共交通の利用までの移動労力の軽減、時間の短縮
- ② 交通結節点の機能強化(安全性・バリアフリー等)
- ③ 通勤通学を中心とした周辺地域へのアクセス性の向上
- ④ 生活圏を共にする広域都市圏との連携

#### 基本方針3. 移住・定住の促進のための他分野との連動【まちづくり事業との連動】

##### 【基本目標】

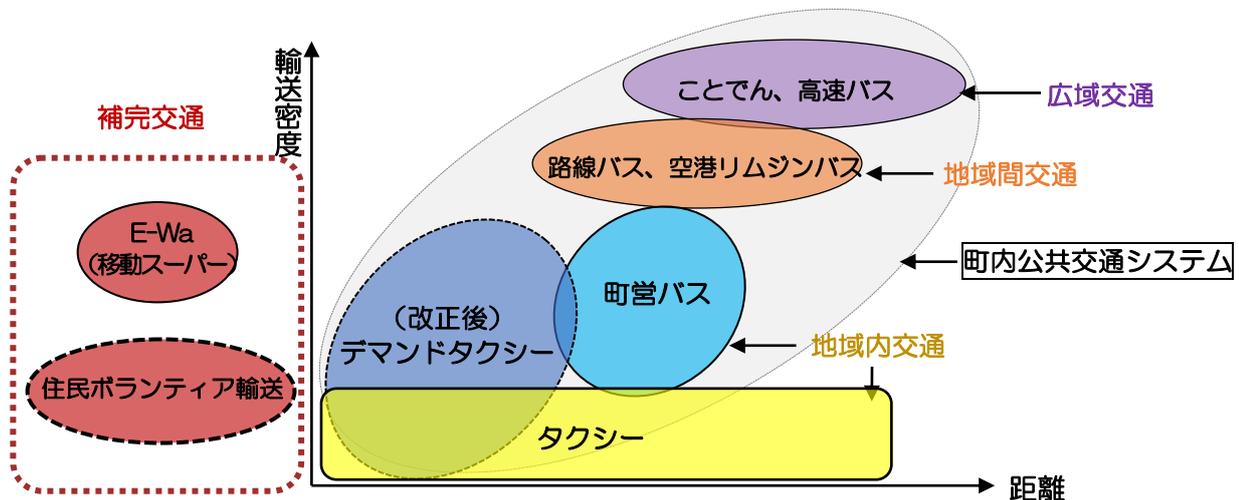
- ① 観光や地域間交流の促進に向けた公共交通の役割の模索
- ② 福祉施策を補強できる公共交通の機能の追求
- ③ 既存の公共交通の副次的利活用

### 4-3. 望ましい公共交通ネットワークのあり方

〔綾川町公共交通ネットワーク再編イメージ図【将来像】〕



〔公共交通システムの重複状況【改善後】〕



[地域公共交通確保維持事業として確保・維持を図る必要性]

路線名	確保・維持を図る必要性
デマンド型乗合タクシー (綾上地区)	綾上地区デマンド型乗合タクシーは、地域住民にとって、中心部への買い物、通院といった日常生活の移動手段として、町営バスや鉄道等を補完する重要な役割を果たしている。 一方で、交通事業者や自治体の運営努力だけでは路線（エリア）の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業で運行を維持確保する必要がある。

[国費補助事業の概要(綾川町の現状の公共交通)]

路線名	起点	経由地	終点	事業許可区分	通行態様	実施主体	国庫補助事業の活用
デマンド型乗合タクシー (綾上地区)	綾上地区内 及び中心部の拠点施設			4条乗合	区域運行	交通事業者	フィーダー補助

## 4-4. 目標達成のために実施する事業

基本目標	事業化のイメージ	実施事業（施策）
<b>基本方針1. 効果的で持続可能な公共交通システムの再編【持続性】</b>		
①小規模分散型ニーズへの対応と利用者負担が公平になる公共交通の実現	・（国道32号沿いと山間部の違いに代表される）多様な特性を持つ地域事情に応じた公共交通サービスの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町営バス路線を代表とする地域公共交通網の統合・再編</li> <li>●地域特性を考慮したデマンドタクシーの改正</li> <li>●町営バス路線との役割分担の明確化</li> </ul>
②役割に無駄や重複のない公共交通の実現	・町民との適正な役割分担による、持続可能な公共交通の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町民が主体のボランティア活動による高齢者等の輸送の検討</li> </ul>
③継続的に利用しなくなる環境づくり	・いつでも気軽に交通機関を使ってみようと思える感覚の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通を身近に感じてもらうための使い方、乗り方の情報共有の考案（移動支援プログラム等）</li> <li>●町独自のルールの設定など、制度的な工夫の実施・検討</li> </ul>
<b>基本方針2. 将来的な利用需要を踏まえたサービスや利便性の向上【利便性】</b>		
①公共交通の利用までの移動労力の軽減、時間の短縮	・拠点間を結ぶ地域公共交通の維持・再編と乗換機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町の特性である小規模分散型ニーズに対応する、ことடன்各駅と綾上支所を結節点とした交通システムの構築</li> </ul>
②交通結節点の機能強化	・交通結節点の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通結節点の安全性・バリアフリー機能等の向上（都市機能の維持）</li> </ul>
③通勤通学を中心とした周辺地域へのアクセス性の向上	・周辺都市への通勤通学、高松空港・高速バス等の広域移動に配慮した生活交通の確保維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ことடன்の確保維持</li> <li>●坂出綾川線の効果検証と設置目的の合理化</li> <li>●高松空港リムジンバスの確保維持</li> </ul>
	・ことடன்等の幹線交通を確保維持するためのフィーダー交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●交通結節点の機能強化（駅）</li> <li>●パーク＆ライド駐車場の積極的再配置</li> </ul>
④生活圏を共にする広域都市圏との連携	・広域移動に配慮した広域連携による交通システムの調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広域連携による先進的かつ効率的な交通システムの導入（地域版 MaaS）</li> </ul>
<b>基本方針3. 移住・定住の促進のための他分野との連動【まちづくり事業との連動】</b>		
①観光や地域間交流の促進に向けた公共交通の役割の模索	・観光資源をより魅力的にする観光二次交通の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レンタサイクルの導入検討</li> </ul>
②福祉施策を補強できる公共交通の機能の追求	・公共交通を利用した買物の付加価値の付与	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ICカードを利用した決済の検討</li> </ul>
	・福祉施策との連動	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者に配慮した主要バス停の待合環境の改善</li> <li>●移動スーパー事業（E-Wa）との連絡調整</li> </ul>
③既存の公共交通の副次的利活用	・地域活性化と産業維持のための新しい施策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存の公共交通を利用した農産物輸送等の副次的活用の検討（貨客混載）</li> </ul>

## 4-5. 計画の目標値

本計画期間中の計画目標については、以下の評価指標を設定し目標値を定める。評価指標として、実施施策の直接的事業結果を一部含みつつ、計画に位置付ける事業の影響を広く測るため「アウトカム」を主として採用した。

基本方針	基本目標	評価指標	指標の定義・考え方	現況値	目標値
基本方針1 効果的で持続可能な公共交通システムの再編 【持続性】	①小規模分散型ニーズへの対応と利用者負担が公平になる公共交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域公共交通の財政負担額、および収支率</li> <li>・町営バス</li> <li>・デマンドタクシー</li> <li>(※)バス会計決算(料金収入+広告料等)÷歳出総額</li> </ul>	<p>「財政負担額＝委託額」</p> <p>「収支率＝収入額÷委託額」</p> <p>(※)コロナ禍前の平成30年度と比較</p>	<p>「千円」</p> <p><b>56,341千円</b></p> <p>「%」</p> <p>令和3(2021)年度末</p> <p><b>4.3%</b></p>	<p>「千円」</p> <p><b>52,747千円</b></p> <p>「%」</p> <p>令和8(2026)年度末</p> <p><b>5.3%</b></p> <p>(※)感染拡大前の水準まで回復</p>
	②役割に無駄や重複のない公共交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通の分担率</li> <li>・鉄道</li> <li>・乗合バス</li> <li>・一般タクシー 等</li> <li>(※)国勢調査またはアンケート調査に基づく分析</li> </ul>	<p>「利用者数÷交通手段全体数」</p>	<p>「%」</p> <p><b>9.88%</b></p> <p>(※)当初は国勢調査を使用</p>	<p>「%」</p> <p><b>11.64%</b></p> <p>(※)統合再編等による5年後の改善を考慮し年間利用者の上昇率を見込み算定</p>
	③継続的に利用したくなる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報活動の効果</li> <li>・参加者数</li> <li>(※)「移動支援プログラム(乗り方講座)」等</li> <li>・記事の閲覧数 等</li> <li>(※)「広報誌掲載」等</li> </ul>	<p>「参加者数」または「閲覧数」</p>	<p>「数」</p> <p>対面： <b>過年度の計画的実施なし</b></p> <p>広報： <b>過年度は計画的実施なし</b></p>	<p>「数」</p> <p>対面： <b>計画的に年30人以上に実施</b></p> <p>広報： <b>広報誌への記事掲載(全戸配付年約9,000戸)</b></p>

基本方針	基本目標	評価指標	指標の定義・考え方	現況値	目標値
基本方針2 将来的な利用需要を踏まえたサービスや利便性の向上 【利便性】	①公共交通の利用までの移動労力の軽減、時間の短縮	●地域公共交通利用者数 ・鉄道 ・町営バス ・坂出綾川線 ・乗合デマンド	「年間利用者数」。 (※) 令和3(2021)年度末をコロナ禍前の平成30(2018)年度末と比較	「数」 令和3(2021)年度末 ・鉄道 <b>34万人</b> ・町営バス <b>2万8千人</b> ・坂出綾川線 <b>6千9百人</b> ・デマンド <b>7百人</b>	「数」 令和8(2026)年度末 ・鉄道 <b>40万人</b> ・町営バス <b>3万1千人</b> ・坂出綾川線 <b>8千7百人</b> ・デマンド <b>2千5百人</b> (※) 感染拡大前の水準まで回復
		●自動車免許の返納数	「バス無料券交付枚数」	「数」 年平均 <b>50件以上</b>	「数」 年平均 <b>50件以上</b>
	②交通結節点の機能強化	●利用者の満足度 (※) 駅で予定するバリアフリー事業に対する満足度を想定	「A～E 5段階」 (※) 障害者等が「住みやすい町」に近づいたか、計画期間満了直前に調査実施	「利用者の声」 <b>(なし)</b> (※) 調査実績なし	「利用者の声」 <b>評価B</b> (※) 平均はC以上とする
	③通勤通学を中心とした周辺地域へのアクセシビリティの向上	●パークアンドライドの利用数	「利用者数」	「数」 <b>30台</b>	「数」 <b>30台以上</b> (※) 拡大・向上を目指す
	④生活圏を共にする広域都市圏との連携	●広域連携事業 (※) 令和4(2022)年度時点でキャッシュレス化の推進、公共交通路線の広域的連携を想定	「事業検討数」	「数」 <b>2件以上</b>	「数」 <b>2件以上</b>

基本方針	基本目標	評価指標	指標の定義・考え方	現況値	目標値
基本方針3 移住・定住の促進のための他分野との連動 【まちづくり事業との連動】	①観光や地域間交流の促進に向けた公共交通の役割の模索	●移住者数 (※)「若者定住促進補助金」実績件数、平成27(2015)年度からの累計	「申請件数」 (※)便利で住みやすい町を測る (※)移住者ヒアリング、アンケートを想定	「数」 令和3(2021)年度末 1,503人	「数」 令和8(2026)年度末 1,750人 (※)年間平均50件と想定
		●交流人口 (※)R2年度にリニューアルした道の駅以外の施設・イベントは、概ねコロナ禍により交流人口減の傾向	「観光入込客」	「数」 令和3年(2021)度末 467千人 (※)町有施設・イベントのみの数値	「数」 令和8(2026)年度末 480千人 (※)イベントの感染拡大前の水準への回復を想定
	②福祉施策を補強できる公共交通の機能の追及	●他分野と連携する取り組み主体数	「人数(団体)」 (※)E-Wa(移動販売)ほか、民間ボランティアを想定	「数」 3団体 (※)E-Wa移動販売は町1・民間2業者の連携事業である	「数」 4団体 (※)事業数の変化に伴う関係者数の増加を見込む
		●バス待合環境の改善	「利用者数」 (※)対象施設の利用者数。対象施設が未決定であり数値未設定	「数」 過年度の計画の実施なし	「数」 — (※)ただし対象数の増加を見込む
		●移動販売等の実施状況	「エリア」 (※)公共交通の補完と見なし、運行エリアを指標とする	「エリア」 綾上・綾南の一部	「エリア」 綾上・綾南の一部 (※)カバーエリアの維持または拡大
	③既存の公共交通の副次的利活用	●貨客混載の実証等	「試験結果」	「試験結果」 未実証	「試験結果」 調査研究

## 4-6. 基本方針に関連する具体的な取組

### (1) 基本方針 1. 効果的で持続可能な公共交通システムの再編【持続性】

#### ① 小規模分散型ニーズへの対応と利用者負担が公平になる公共交通の実現

●町営バス路線を代表とする地域公共交通網の統合・再編					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な地域特性を持つ地域事情に対応した公共交通サービスの導入</li> <li>町営バスと他の交通との機能分担の明確化（※バス路線改正/デマンド制度改正）</li> </ul>				
事業主体	町、バス事業者、タクシー事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	調整	実施			
備考					

●地域特性を考慮したデマンドタクシーの改正														
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドアトゥフィックス等のシステム変更に伴う検討を行い、実走につなげる</li> </ul>													
	<p style="text-align: center;">■デマンド交通実証実験チラシ</p> <p><b>綾川町デマンドタクシー</b></p> <p>予約センター：ご予約・変更・キャンセルはこちらから</p> <p>綾上地区 ☎876-3388</p> <p>千足地区 ☎877-0211</p> <p>受付時間：午前7時～午後4時</p> <p>予約：利用日の1週間前～1週間前まで</p> <p>運行日：月曜日～土曜日</p> <p>デマンドタクシー（予約制乗り合いタクシー）とは？</p> <p>出かけるとき、電話で予約すれば、<b>ご自宅までお迎え</b>に行き、病院や商店等までお送りします。帰るときも、病院や商店までお迎えに行き、<b>ご自宅まで送迎</b>します。</p> <p>予約方法：ご予約は、お電話で</p> <p>ワンポイント：当日の予定がわかる場合は、行き・帰りの車をご一緒に予約されると安心です。</p> <p>目的地に着いたら… 乗客に車をお預かりし、お迎えの時刻まで待機します。</p> <p>お迎えの時刻：お迎えの時刻が15分以上遅れる場合は、電話でお知らせください。</p> <p>当日（おおよそ1時間前）：お迎えの時刻が15分以上遅れる場合は、電話でお知らせください。</p> <p>運賃：どこでも一律料金 <b>300円</b></p> <p>デマンドタクシーの運行区域：綾上地区・千足地区の方対象です。ご自宅から、<b>町役場方面の病院・商店・駅・金融機関などほとんどの場所へ</b>送迎いたします。</p> <p>デマンドタクシーの運行時刻</p> <table border="1"> <tr> <th>上り(行き)</th> <th>下り(帰り)</th> </tr> <tr> <td>1車 8:00発</td> <td>5車 10:00発</td> </tr> <tr> <td>2車 9:00発</td> <td>6車 12:00発</td> </tr> <tr> <td>3車 11:00発</td> <td>7車 14:00発</td> </tr> <tr> <td>4車 13:00発</td> <td>8車 15:00発</td> </tr> </table> <p>ご利用上の注意</p> <p>1. デマンドタクシーは、多くの方の乗り合いでのご利用となりますので、<b>時間とおりの運行の保障は出来ません</b>。発着時刻を優先したい場合は、一般のタクシーをご利用ください。</p> <p>2. 予約が乗車に遅れた場合は、他の利用者のご予約にお応えするためご了承ください。</p> <p>3. 予約した乗客の定員を超えたら、ご予約をお断り（または乗客への変更をお願い）する場合があります。</p> <p>4. 車内での飲食、喫煙はできません。</p> <p>5. 4車以上の場合は、利用できません。</p> <p>①1人で乗降できない方 ②車イスを使用する方 ③酒気を帯びている方 ④ペット同様の方 ⑤大きな荷物（荷物トランクを占領するもの）とともに乗車する方（荷物はひさのひさの上に乗るようご注意ください） ⑥乗降者が同時にいない証学券 ⑦乳児 ⑧他の利用者に迷惑を及ぼすと思われる方 ⑨介護福祉サービスは、ケアプランに基づいて提供されます。デマンドタクシーをご利用にならない方は、担当のケアマネージャーまでご相談ください。移動サービスについては、綾川町社会福祉協議会（☎076-76-9221）までご連絡ください。</p> <p>実証実験運行についてのお問い合わせ先 綾川町税務課 ☎087-676-1906</p>					上り(行き)	下り(帰り)	1車 8:00発	5車 10:00発	2車 9:00発	6車 12:00発	3車 11:00発	7車 14:00発	4車 13:00発
上り(行き)	下り(帰り)													
1車 8:00発	5車 10:00発													
2車 9:00発	6車 12:00発													
3車 11:00発	7車 14:00発													
4車 13:00発	8車 15:00発													
事業主体	町、タクシー事業者													
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年									
	検証	運行												
備考	デマンド型乗合タクシー（綾上地区）：フィーダー補助													

●町営バス路線との役割分担の明確化					
事業概要	・各路線の利用状況や利用予測などを踏まえ、各機能分担と役割の明確化				
事業主体	町、関係交通事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	調整	実施			
備考					

## ② 役割に無駄や重複のない公共交通の実現

●町民が主体のボランティア活動による高齢者等の輸送の検討					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通空白地域をはじめとしたエリアを対象に、ボランティア輸送の検討</li> <li>自家用有償運送による運行の検討</li> </ul>				
事業主体	住民、町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考	任意のタイミングで可能なエリア・規模で実験するなど。				

## ③ 継続的に利用したくなる環境づくり

●公共交通を身近に感じてもらうための使い方、乗り方の情報共有の考案（移動支援プログラム等）					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民に対するモビリティマネジメントの実施</li> <li>公共交通ガイドの作成</li> <li>施設での情報掲示</li> <li>公共交通の試乗会</li> <li>移動支援プログラムの実施</li> <li>バス停名の募集 等</li> </ul>				
事業主体	町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					



●町独自のルールの設定など、制度的な工夫の実施・検討					
事業概要	・利用率を向上させるための町独自のルール、制度の検討 (フリー乗降区間など)				
事業主体	町、交通事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考	(※) 町主体の取り組みに限る。				

## (2) 基本方針2. 将来的な利用需要を踏まえたサービスや利便性の向上【利便性】

### ① 公共交通の利用までの移動労力の軽減、時間の短縮

●町の特性である小規模分散型ニーズに対応する、ことடன்各駅と綾上支所を結節点とした交通システムの構築					
事業概要	・町営バスと鉄道の接続等を向上 ・ダイヤの連動強化。				
事業主体	町、交通事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	調整	実施			
備考					

### ② 交通結節点の機能強化

●交通結節点の安全性・バリアフリー機能等の向上					
事業概要	・各結節点のユニバーサルデザインやバリアフリー化				
事業主体	鉄道会社				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	実施予定	実施予定	予定	予定	予定
備考	(※) ことடன்各駅のバリアフリー事業を見込む。				

③ 通勤通学を中心とした周辺地域へのアクセス性の向上

●ことでの確保維持					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町営バスとのダイヤの連動強化（再掲）</li> <li>・ 路線の継続</li> <li>・ 乗車率向上のための自社努力（自治体連携事業を含む）</li> </ul>				
事業主体	鉄道会社、町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時実施	随時実施	随時実施	随時実施	随時実施
備考					

●坂出綾川線の効果検証と設置目的の合理化					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期券購入者の分析によるルート、停留所の選別、車両の最適化</li> <li>・ 料金改定</li> <li>・ 結節点強化</li> </ul>				
	<p>■坂出綾川線：路線図・運賃表</p> 				
事業主体	バス事業者、町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	実施				
備考					

●高松空港リムジンバスの確保維持					
事業概要	・広域移動に配慮した生活交通の確保				
事業主体	バス事業者				
実施期間	2023	2024	2025	2026	2027
	随時実施	随時実施	随時実施	随時実施	随時実施
備考					

●交通結節点の機能強化（駅）					
事業概要	・通勤通学等における利用を見込み、他の交通との連動を強化				
事業主体	関係交通事業者、町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	調整	実施			
備考					

●パーク＆ライド駐車場の積極的再配置					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通結節点における駐車空間の確保・整備</li> <li>・官民連携による快適な利用環境の整備</li> </ul>				
事業主体	町、関係事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					

④ 生活圏を共にする広域都市圏との連携

●広域連携による先進的かつ効率的な交通システムの導入（地域版 MaaS）

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存交通の高度化（DX）など、具体的な導入事例の情報収集</li> <li>・キャッシュレス化の検討 ほか</li> </ul>				
	<p>地域版 MaaS</p> <p>MaaS（マース：Mobility as a Service）とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。</p> 				
事業主体	町、周辺他市町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					

(3) 基本方針3. 移住・定住の促進のための他分野との連動【まちづくり事業との連動】

① 観光や地域間交流の促進に向けた公共交通の役割の模索

●レンタサイクルの導入検討					
事業概要	・主要施設においてレンタサイクルを設置し、公共交通との連動による利用促進を検討				
事業主体	町				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					

② 福祉施策を補強できる公共交通の機能の追求

●ICカードを利用した決済の検討					
事業概要	・既存のICカードと連動したシステムの検討				
事業主体	町、関係交通事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					

●高齢者に配慮した主要バス停の待合環境の改善					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨や風対策の整備</li> <li>・わかりやすい案内情報・サイン表示などの整備。デジタルサイネージを含む。</li> <li>・ユニバーサルデザインの適用（ハード・ソフト対策）</li> </ul>				
事業主体	町、バス事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					

●移動スーパー事業（E-Wa）との連絡調整					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通空白地への移動スーパー事業（E-Wa）の実施</li> <li>・E-Waを活用した副次的な移動サービスの検討</li> </ul>				
事業主体	町、イオン、商工会				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考					

③ 既存の公共交通の副次的利活用

●既存の公共交通を利用した農産物輸送等の副次的活用の検討（貨客混載）					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存公共交通の空き時間を利用した農産物輸送等の検討</li> <li>・道の駅や主要施設等との連携の検討</li> </ul>				
事業主体	町、関係事業者				
実施期間	令和5 (2023)年	令和6 (2024)年	令和7 (2025)年	令和8 (2026)年	令和9 (2027)年
	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討	随時検討
備考	（例）山間部 — 道の駅 — 高速バス（鉄道）など				

# 5. 計画の進捗状況の評価と進行管理

## (1) 計画の実施及び進行管理の体制

施策の進捗管理や目標の達成状況、施策の妥当性・効果などの確認は、「綾川町地域公共交通会議」で行うことで、地域住民・交通事業者・関係機関・綾川町が連携を図りながら、本計画に基づき目指す将来像の実現に向けて施策を推進する。

## (2) PDCA サイクルの実行

今回の計画(Plan)をもとに、計画的な施策の実施(Do)、達成状況の確認(Check)、見直し(Action)のPDCAサイクルで進捗管理を行い、本町に適した交通環境になるよう随時見直しを図る。



## (3) 評価方法

- 計画最終年度には、事業者からの提供による利用実績や町民の公共交通に関する満足度・移動行動等についての各種アンケート調査を踏まえ、計画全体及び公共交通網の評価を実施し、実施施策の見直しや新たな施策の検討を行い、次期計画を策定する。
- なお、必要に応じて計画期間内であっても計画全体及び公共交通網の見直しを行うものとする。
- 公共交通機関の利用状況及び計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度行うものとする。

## 6. 資料編

### 6-1. 地域公共交通会議

#### (1) 委員名簿

\* 敬称略・順不同

所属	役職	氏名
綾川町	町長	前田 武俊
綾川町	総務課長	宮前 昭男
綾川町	建設課長	田岡 大史
綾川町議会	議長	河野 雅廣
綾川町議会	総務委員長	福家 利智子
四国運輸局香川運輸支局	首席運輸企画専門官	天羽 和彦
香川県交流推進部交通政策課	課長	岩崎 弘和
中讃土木事務所	所長	廣瀬 治
高松西警察署	交通課長	宮崎 幸司
綾川町婦人会	会長	片山 美子
綾川町老人会	会長	野田 恵
綾川町身体障害者協会	会長	長尾 舜哉
綾川町自治会連合会	会長	松崎 哲雄
綾川町民生委員児童委員会	会長	岡田 きみ子
綾川町教育委員会	教育長	松井 輝善
綾川町商工会	会長	岡内 等
(有)綾南交通	代表取締役	村瀬 秀則
大丸タクシー(有)	代表取締役	伊賀 敏洋
(有)大東タクシー	代表取締役	西川 和徳
琴参バス(株)	代表取締役	佐藤 邦明
高松琴平電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 工務部長 兼 地域開発本部 部長	香川 佳久
香川大学創造工学部	教授	紀伊 雅敦

## (2) 開催状況

	開催日	検討事項
第1回	令和4（2022）年 6月21日9:30～ 11:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和3年度綾川町公共交通計画策定業務における町民アンケート・事業者ヒアリング結果報告</li><li>・デマンドタクシー事業における制度改正について（デマンドタクシー事業に係る地域内フィーダー系統確保維持計画について）等</li></ul>
第2回	令和4（2022）年 8月8日9:30～ 11:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・綾川町地域公共交通計画 骨子（案）について</li><li>・町の公共交通の将来イメージを描く計画の基本方針について</li><li>・公共交通におけるデマンドタクシーの役割の明確化について</li><li>・公共交通を利用しやすい環境づくり（広報案・利用方法サポート案）について</li></ul>
第3回	令和4（2022）年 11月8日 9:30～11:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・綾川町地域公共交通計画（計画素案）について</li><li>・計画の基本方針に対する目標設定について</li></ul>
第4回	令和5（2023）年 1月31日 9:30～11:00	<ul style="list-style-type: none"><li>・綾川町地域公共交通計画（案）について</li><li>・令和5年度スケジュール（案）について</li></ul>

## (3) 会議風景





## 綾川町地域公共交通計画

---

令和 5（2023）年 2 月

発 行：綾川町

編 集：綾川町役場 総務課

〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮 299 番地

TEL：087-876-1906 FAX：087-876-1948